

北海道のコンクリート橋

第 7 集

(平成22年度～平成30年度)

北海道土木技術会
コンクリート研究委員会

北海道のコンクリート橋

第 7 集

平成 22 年度～平成 30 年度

凡 例

(1) 掲載基準

平成 22 年度～平成 30 年度に完成した北海道内のコンクリート橋で橋長 15 m 以上の PC 橋を掲載した（プレテン桁を除く）。

(2) 支間割

一連の連続桁の支間割は（ ）または@印で表現し、単純桁の連数は×印などで表現した。

(3) 幅員

車道幅員と歩道幅員に分けて記載した。

(4) 定着工法

主鋼材の定着工法を記載した。

(5) 社名

発注，設計，施工の社名等は完成時のものとし，省略名で記載した。

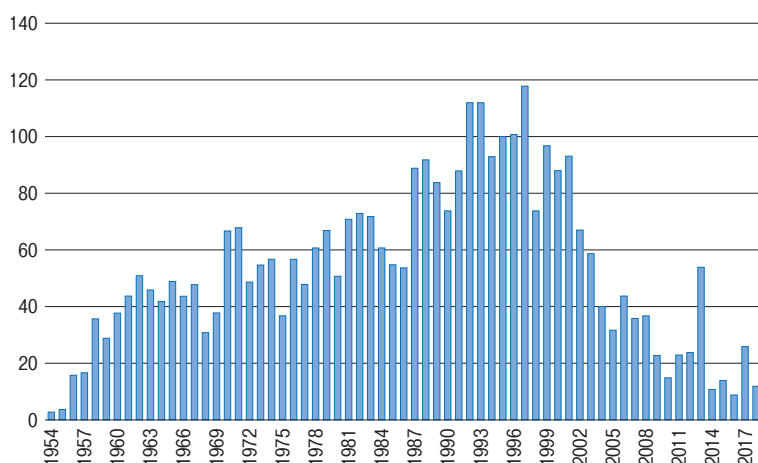
北海道土木技術会コンクリート研究委員会は半世紀に渡り継続的に「北海道のコンクリート橋」を発刊し、北海道におけるコンクリート橋を PC 橋を主体に紹介してきた。北海道におけるコンクリート橋の歴史、技術の発展はこれを見ればよいという書物といえよう。これまでの発刊の歴史は以下のようである。

- 第1集：1974年に発刊され、1958～1973年に完成した73の橋梁と十勝大橋（旧河西橋）を写真とともに掲載、それ以外の1954～1976年に完成した721の橋梁を一覧表に掲載
- 第2集：1987年に発刊され、1974～1986年に完成した86の橋梁を写真とともに掲載、これらを加えた1954～1985年に完成した1485の橋梁を一覧表に掲載
- 第3集：1993年に発刊され、1986～1992年に完成した92の橋梁を写真とともに掲載、これらを加えた1986～1992年に完成した481の橋梁を一覧表に掲載
- 第4集：1999年に発刊され、1992年～1998年に完成した89の橋梁を写真とともに掲載し、これらを加えた1992年～1998年に完成した637の橋梁を一覧表に掲載
- 第5集：2007年に発刊され、1998年～2003年に完成した87の橋梁を写真とともに掲載し、これらを加えた1998年～2003年に完成した477の橋梁を一覧表に掲載
- 第6集：2015年に発刊され、2004年～2010年に完成した85の橋梁を写真とともに掲載し、これらを加えた2004年～2010年に完成した213の橋梁を一覧表に掲載

第7集は2010年から2018年に完成した118の橋梁の写真を掲載し、それらを含む186の橋梁を一覧表に掲載している。第6集から始めた特定のテーマで集めた橋梁群を特集で示す試みを今回も導入し、函館周辺と小樽周辺の高速道路、および、北海道新幹線のプレストレストコンクリート橋梁群を特集として紹介するとともに、2016年の北海道での豪雨災害で被災した橋梁の復旧事例も特集として紹介している。

北海道のコンクリート橋の歴史を示してきた第1集から第7集を通してみると、写真で紹介された橋梁は、十勝大橋（旧河西橋）を含めると合計627橋であり、一覧表として紹介された橋梁も含めると合計3,480橋となる。技術的に日本で先駆的な橋梁、竣工当時規模で日本一であった橋梁、土木学会などから賞を受賞した橋梁などが含まれている。掲載されている橋梁数を年毎に見てみると、90年代がピーク（最大は1997年の1,182橋）で、それ以降は総じて減少傾向である（図参照）。北海道の

年毎の掲載橋梁数



コンクリート橋は成熟期を迎えているとも言えよう。これからは、新たにコンクリート橋を建造するよりも、既存の橋を維持補修していくことがますます重要になるのは言うまでもない。「北海道のコンクリート橋」も、今後は補修補強事例を紹介していくことも視野に入れる必要があるのかもしれない。第8集以降の作成関係者による検討がなされることを期待したい。

最後に、「北海道のコンクリート橋」第7集の発刊に尽力された関係者各位に心より感謝の意を表する。

（令和5年3月）

写真集「北海道のコンクリート橋」第7集には、平成22年度から平成30年度までに竣工した118橋の写真が収録されている。

第7集の特徴は、平成28年3月26日に、新青森駅・新函館北斗駅間が開業した北海道新幹線に関連したコンクリート橋も掲載したことである。

紙面の制約はあるが、本書で紹介されたコンクリート橋を一部紹介する。

高滝ノ沢橋は、急峻な渓谷上で厳寒・豪雪地帯に架橋された橋長163mアーチ支間112mの上路式RC固定アーチ橋である。施工時期が限られたなかで工期短縮を実現するため、アーチリブの架設ではロアリング工法を採用するなど工夫されている。

第2湖口橋は、サロマ湖とオホーツク海をつなぐ航路に架かる橋梁として、植生保護や景観に配慮した3径間連続PCフィンバック橋である。道内での施工実績が少なく、狭幅員なフィンバック箱桁構造の設計・施工において種々の構造要因と自然条件に起因する課題を克服し架設している。

当別大橋は、地すべり地帯に架橋された2径間連続PCTラーメン橋であり、2径間では国内最大級の支間長を有している。柱頭部の桁高が最大級の11.0mと高く、耐震性能を高めるため過密配筋となることや上部工のコンクリート打設は地上から約40mと高所でポンプ圧送性を確保することなどから高性能AE減水剤を使用して所要のワーカビリティを確保している。

築別橋は、「日本海オロロンライン」のルートにあり、旧橋が完成後50年以上経過し耐震基準の確保と塩害対策区分「S」相当への対応をはかり、厳寒期における冬季施工の効率化を実現するため、重量約190t/本のプレキャストセグメント桁を採用し、現地における抱込み式による架設桁架設工法で施工された。

桂沢ダム8号橋は、嵩上げされた新桂沢ダムの建設に伴う付替道路に架けられ、平面線形がS字曲線で縦断線形と設計高水位から異なる柱頭部の桁高を有している。極寒冷地で特別豪雪地帯における通年施工にあたってIoTを活用した遠隔監視も取り入れて施工された。

江竜橋は石狩川と雨竜川を跨ぐ8径間連続PC箱桁橋で、橋脚7基のうち6基がニューマチックケーソン工法を採用している。厳寒期を含めた張出架設工では、特にマッシブな構造の柱頭部においてセメント水和熱に起因する温度ひび割れを制御しながら施工された。

見晴大橋は、常呂川を挟む北見市中心部に位置し、桁下余裕高確保となる桁高制限により8径間連続PC箱桁橋となっている。斜ウェブにおけるコンクリート打設では初期欠陥防止のためコンクリート充填検知システムの採用など入念に施工された。

クリスタル橋は、忠別川を渡河し隣接する氷点橋の姉妹橋として「北彩都あさひかわ」事業にふさわしいデザインコンセプトのもと4径間連続PCラーメン橋として建設された。本橋を含み「2015年土木学会デザイン賞 最優秀賞」を受賞している。

朝里川温泉橋は、後志自動車道にある地上最大45mの高さに位置する全長が615.5mの8径間連続PCラーメン箱桁橋である。マスコンクリートの温度ひび割れ対策、積雪寒冷期間における給熱養生やPCグラウトの施工など気候的条件に配慮した品質管理方法を事前に検証して施工が進められた。

本書には積雪寒冷地である北海道の特性を踏まえた最近のコンクリート橋が掲載されており、今後の発展に大いに役立つことを願っている。本書の発行に尽力を頂いた編集委員、関係各位に感謝の意を表するものである。

(令和5年3月)

目 次

はじめに	1	発刊によせて	2
高滝ノ沢橋	4	第2湖口橋	6
当別大橋	8	築別橋	10
桂沢ダム8号橋	12	江竜橋	14
見晴大橋	16	クリスタル橋	18
朝里川温泉橋	20		
[特集Ⅰ]函館・江差自動車道茂辺地 木古内道路PCラーメン橋群	22	[特集Ⅱ]後志自動車道のPC橋	26
[特集Ⅲ]北海道新幹線PC橋りょう群	28	[特集Ⅳ]平成28年8月北海道豪雨災害	32
宇遠別川橋	36	占冠中央橋	37
第2無加川B	39	夕張みらい橋	40
里音別川橋	42	月見橋	43
南6条通横断橋	45	大和橋	46
新千歳空港IC橋	48	第2富良野川B	49
白銀橋	51	新小谷地川B	52
豊栄橋	54	美園橋	55
第一ポンケトナイ川橋	57	大正橋	58
東山大橋(下り線)	60	木古内Bv(Ctp1)	61
茂辺地川B(Ctp1~Ctp4)	63	第1鶴野2号線Bv(Ctp1)	64
下矢不來川橋	66	11号橋	66
ボン仁々志別橋	67	茂辺地こ線橋	68
臨海橋	69	絹丘橋	69
十間橋	70	縫別跨道橋	71
古潭橋	72	鹿部公園橋	72
錦橋	73	畚部橋	74
赤川IC橋	75	亀尾橋	75
豊漁橋	76	港栄橋	77
向ヶ丘橋	78	四線川橋	78
茅沼橋	79	慶能舞川橋	80
長命橋	81	福移橋	81
見晴橋	82	歌越別橋	83
千歳橋	84	常盤橋	84
山の神大橋	85	九線橋	86
陣川跨道橋	87	チブタシナイ沢川橋	87
西芽室橋	88	日進橋	89
東山橋(上下線)	90	武徳1号橋	90
墓園通跨道橋	91	桃内川橋	92
新光架道橋	93	木古内Bi(Ctp1)	94
長坂線Bv(Ctp1)	95	第2新川排水路B(Cstp1)	95
		新瑠璃橋	38
		毛根中島橋	41
		常盤川橋(上下線)	44
		開成橋	47
		常川上ところ橋	50
		滝江5号B	53
		オピラシケ川橋	56
		笹流橋(上下線)	59
		孫七Bv(Cstp1)	62
		本町16号線Bv(Cstp1)	65
		望郷橋	67
		夕張きぼう橋	68
		東雲相生跨線橋	70
		望来川橋	71
		新トムラウシ橋	73
		古川橋	74
		亀田中野跨道橋	76
		富良野北IC橋	77
		落合橋	79
		太刀別橋	80
		平成かもめ橋	82
		瀬戸瀬インター跨道橋	83
		弁財天大橋	85
		15号橋	86
		西上橋	88
		萩ヶ丘橋	89
		文治沢川橋	91
		恩根内川橋	92
		流溪川B(Ctp1)	94
付表[1/2]・北海道のコンクリート橋資料	96	付表[2/2]・北海道のコンクリート橋資料	108
索引	112	あとがき	115

高滝ノ沢橋

1. 形 式	上路式 RC 固定アーチ橋
2. 橋 長	163.000 m
3. 支 間 割	アーチ支間 112.000 m
4. 橋 格	第 3 種第 3 級 (B 活荷重)
5. 幅 員	8.500 m
6. 定 着 工 法	フレシネー工法
7. 架 設 工 法	ロアリング工法
8. 設計基準強度	$\sigma_{ck} = 40 \text{ N/mm}^2$ (アーチリブ, 補剛桁) $\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$ (鉛直材)
9. コンクリート体積	1,657 m ³
10. 鉄 筋 重 量	351 t
11. PC 鋼材の種類	補剛桁: SWPR7BL 12S12.7
12. PC 鋼 材 量	補剛桁: 27 t
13. 発 注 者	北海道開発局 函館開発建設部
14. 設 計 者	ドーコン
15. 施 工 者	三井住友建設
16. 工 期	平成 24 年 2 月～ 平成 26 年 2 月
17. 所 在 地	二海郡八雲町

工 事 概 要

国道 277 号は江差町を起点とし、八雲町に至る延長約 60 km の幹線道路である。渡島半島を横断し、日本海側と太平洋側を結ぶこの路線は、道央方面と檜山南部の物流、観光等を支えるほか、道央圏と道南圏の大動脈である国道 5 号や国道 278 号などの第 1 次緊急輸送道路で通行止め等が発生した際の函館と道央方面への代替路線を形成し、交通を支える重要な役割を担っている。

このうち「雲石道路」と呼ばれる箇所は、山間部に位置し、地すべり・落石・雪崩が発生しやすく、また急カーブ・急勾配が連続し幅員が狭い区間である。これらの諸問題を解消することを目的として雲石道路整備事業が進められ、平成 26 年 3 月に供用を開始した。

本橋は、「雲石道路」に位置する橋長 163 m アーチ支間 112 m の上路式 RC 固定アーチ橋である。

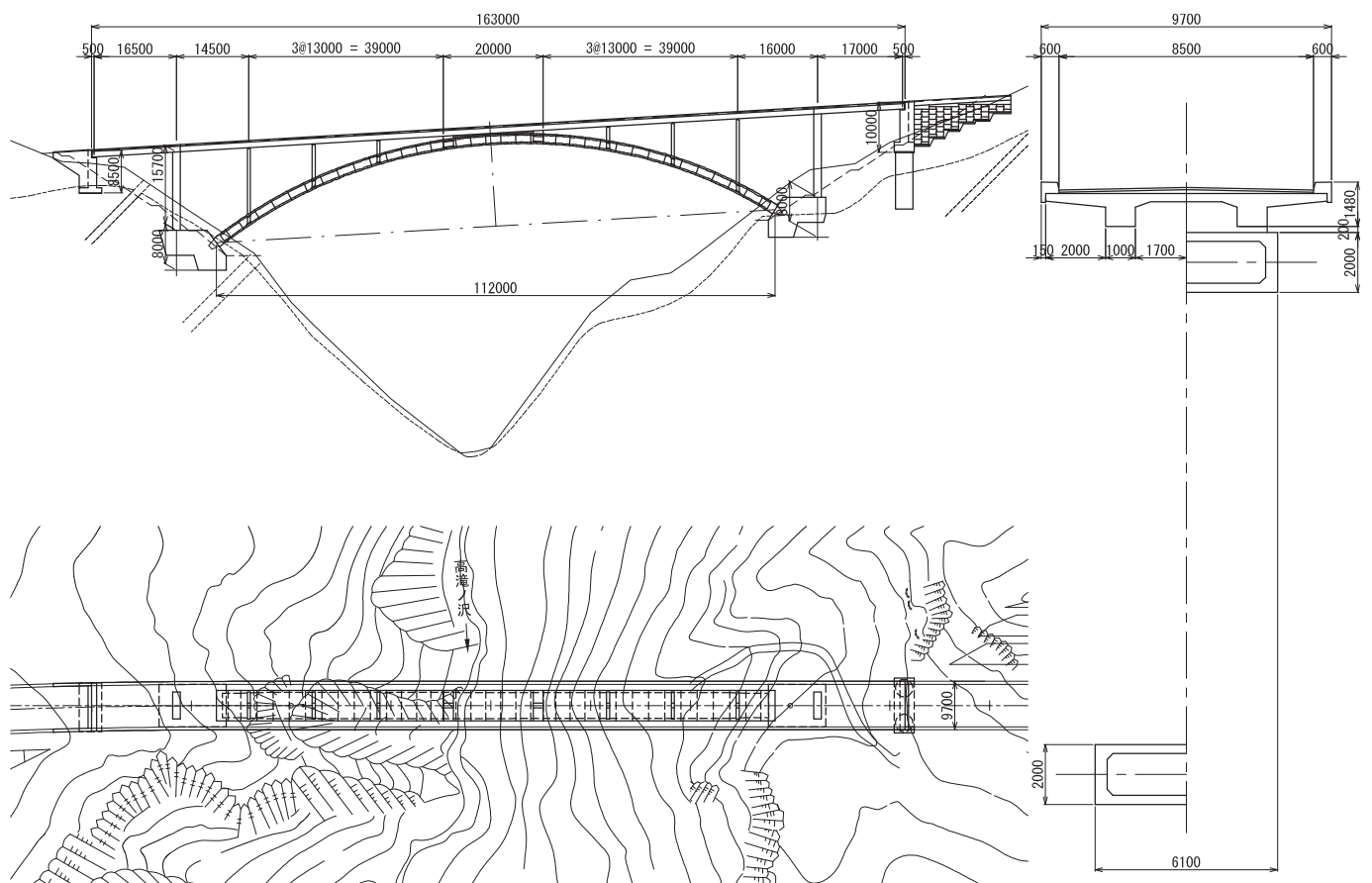
架橋位置は急峻な溪谷上で、厳寒・豪雪地帯であるため、厳寒期（1 月～3 月）は作業休止期間となる。そのため、この期間を回避して施工を完了させる必要があり、アーチリブブロック長の長大化や総足場によるアーチリブの施工、アーチリブの架設方法に大型設備を必要としないロアリング工法を採用するなどの工夫を行い、工程短縮を図っている。

ロアリング工法を用いた架設では、ロアリング初期段階の低張力状態において、くさび式定着が完全ではなく、ケーブルが抜け出す危険性が懸念されるため、施工性・安全性の向上を目的として、ロアリングを 4 段階に分け、各段階に応じた機械・ケーブルを使用して行う段階式ロアリング工法を採用した。

1 次ロアリング（2°～6°）は 100 t 押出しジャッキ 4 台、2 次ロアリング（6°～13°）は 3 t ウインチ 2 台、3 次ロアリング（13°～45°）は 500 t ロアリングジャッキ 2 台、4 次ロアリング（45°～最終）は 500 t ロアリングジャッキ 4 台にて作業を行った。

段階式ロアリング工法を採用した結果、従来工法と比較して低張力状態時におけるロアリング作業（2, 3 次ロアリング）の施工性を向上させたことで、合計 4 日（片側 2 日）でロアリング作業を完了することができた。そのことにより、アーチリブ閉合部コンクリート打設までの不安定な状態を極力短くでき、安全性の向上にもつながった。





第2湖口橋

1. 形 式	3径間連続フィンバック箱桁橋 + 3径間連続 RC 床版橋
2. 橋 長	233.500 m
3. 支 間 割	PC(47.500+88.500+47.500)m + RC(15.000+16.000+15.000)m
4. 橋 格	第3種第5級 (A 活荷重)
5. 幅 員	4.000 m
6. 定 着 工 法	フレシネー工法
7. 架 設 工 法	片張出架設工法 (航路部分) 固定支保工 (航路護岸陸上側)
8. 設計基準強度	(PC) $\sigma_{ck} = 40 \text{ N/mm}^2$ (RC) $\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$
9. コンクリート体積	1,533 m ³
10. 鉄 筋 重 量	276 t
11. PC 鋼材の種類	主桁: SWPR7BL 12S15.2
12. PC 鋼 材 量	主桁: 56 t
13. 発 注 者	北海道開発局 網走開発建設部
14. 設 計 者	ドーコン
15. 施 工 者	三井住友建設
16. 工 期	平成 25 年 6 月～ 平成 27 年 3 月
17. 所 在 地	北見市常呂町栄浦 (サロマ湖漁港第2湖口)

工 事 概 要

本橋は、漁業資源が豊富なサロマ湖とオホーツク海をつなぐ第2湖口の航路の拡張工事に伴い、既設橋の架替えとして計画された。

航路条件に加え、オホーツク沿岸の積雪寒冷地であること、架橋地点が海浜植物の群生地で観光名所の北海道遺産ワッカ原生花園に位置していることを鑑み、植生保護を目的とした盛土区間の最小化、景観資源の創出等に寄与する橋梁形式として、3径間連続 PC フィンバック橋を採用した。

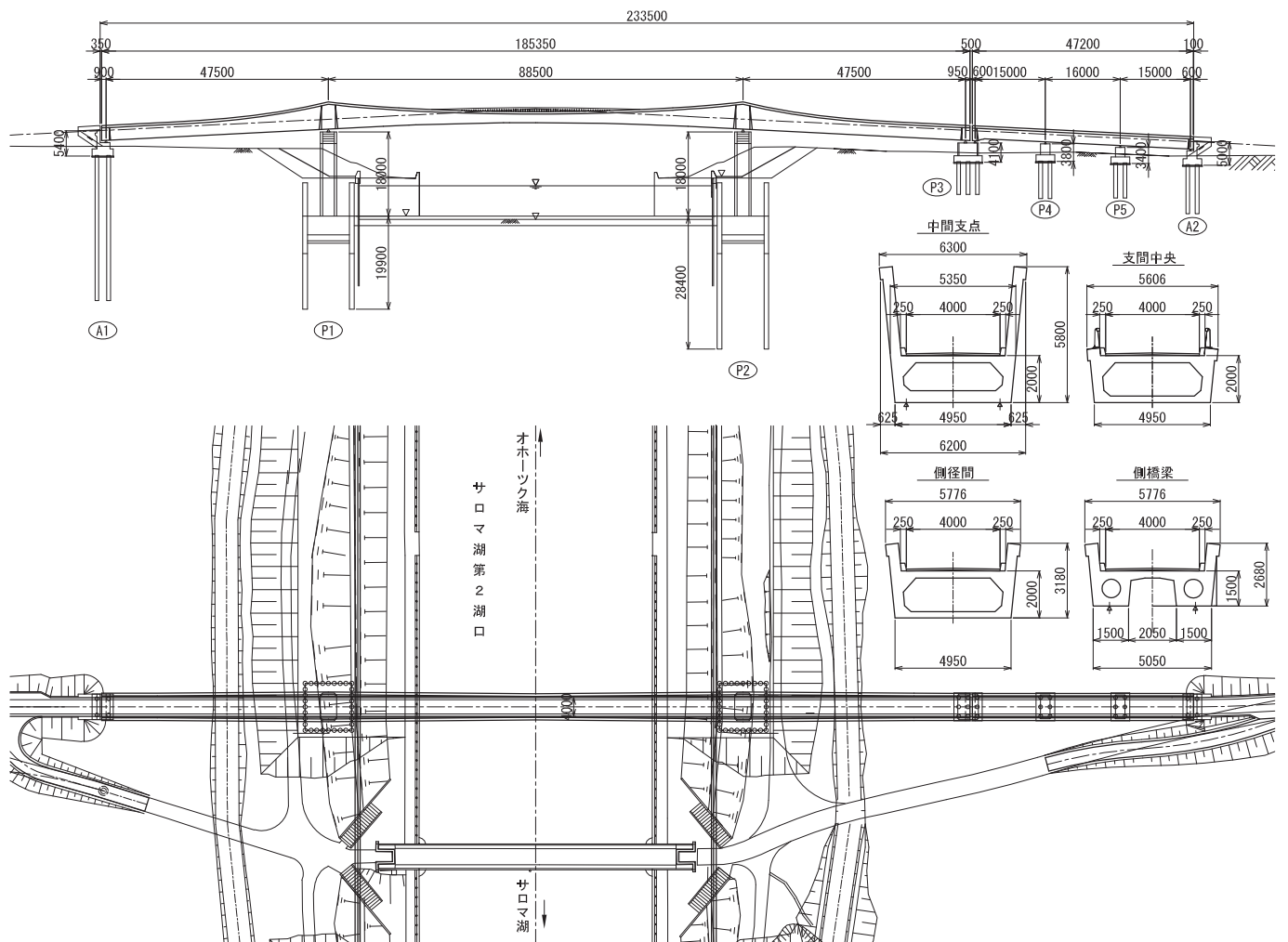
コスト縮減に資する中央径間最短化により、計画護岸に近接して航路に面した橋脚は、航路護岸陸上部と航路地盤の標高差から橋脚柱に作用する大きな偏土圧のほとんどを基礎に分担させ、ケーソン基礎よりも小型となる矩形の仮締切兼用型鋼管矢板基礎を採用した。また、仮締切部の外部鋼管の残置、井筒内の軽量盛土材による充填、鋼管矢板側面への鋼矢板の連続打設により基礎の最小化を図った。なお、中間支点を剛結としたラーメン構造では、乾燥収縮・クリープによる上部構造の変形や橋梁全体構造系の短周期化による地震時応答加速度の増加により、基礎が大きくなるため、経済性に優れる弾性支持形式とした。

上部工の施工は2カ年に亘り、まず航路護岸陸上部の側径間と柱頭部を固定支保工にて施工、その上に移動作業車を組み立て、航路上は片張出架設工法にて施工した。

北海道内では非常に施工実績が少なく、狭幅員 4.0 m のフィンバック箱桁構造での設計・施工においては、以下の構造的要因や自然条件による課題を解決した。

- ①ウェブ直上にフィン部材が存在し、移動作業車のトラス部材を上床版上に配置せざるを得ないため、移動作業車固定用のアンカー鋼棒を上床版のハンチ部分にブラケットを設置して固定し、固定位置におけるひびわれ抑制のため FEM 解析による床版応力照査にて配筋を決定
- ②通年、風が強い箇所であるため、トラス間隔の狭い移動作業車の前方と後方を連結鋼材でつなぎ補強
- ③固定支保工のコンクリート打設は、日当たり打設量から、下床版と両ウェブ、上床版、フィン部の3ロットとし、ウェブ・フィン部の傾斜による材料分離および生コンの遠距離運搬によるワーカビリティの低下回避のため、高性能 AE 減水剤を使用。打継目箇所での外部拘束によるひびわれ発生が予想されるフィン部には膨張剤を使用
- ④片張出架設施工中の地震時にアップリフトは生じない設計であるが、安全性向上のため固定支保工端支点部には、主桁と橋台を緊結するテンポラリの PC 鋼棒を配置





とう べつ おお はし 当別大橋

1. 形 式	2 径間連続ラーメン箱桁橋
2. 橋 長	220.000 m
3. 支 間 割	2@109.000 m
4. 橋 格	第 1 種第 3 級 (B 活荷重)
5. 幅 員	10.510 m
6. 定 着 工 法	フレシネー工法
7. 架 設 工 法	張出架設工法
8. 設計基準強度	$\sigma_{ck} = 40 \text{ N/mm}^2$
9. コンクリート体積	3,217 m ³
10. 鉄 筋 重 量	415 t
11. PC 鋼材の種類	主桁：SWPR7BL 12S15.2 (内ケーブル) 19S15.2 (外ケーブル) 床版・横桁：SBPR19L 1S28.6
12. PC 鋼 材 量	主桁 (内ケーブル)：111 t 主桁 (外ケーブル)：38 t 床版・横桁：17 t
13. 発 注 者	北海道開発局 函館開発建設部
14. 設 計 者	構研エンジニアリング
15. 施 工 者	日本高圧コンクリート
16. 工 期	平成 21 年 10 月～ 平成 24 年 3 月
17. 所 在 地	北斗市当別

工 事 概 要

当別大橋は函館・江差自動車道の北斗茂辺地 IC～木古内 IC 間に位置しており、当別川および林道村前沢線を横架する、橋長 220.0 m の張出架設工法により施工した 2 径間連続 PCT ラーメン橋である。また、2 径間では国内最大級の支間長を有する。

架橋地点の終点側斜面は地すべり地帯で施工中及び完成後の安全性と経済性を考慮して支間割りと橋梁形式を決定する必要があった。このため、地すべり対策として押え盛土によって所要の安全率を確保し、総合的に有利な等径間橋梁とする当形式を採用した。

本橋の橋脚は大規模な 2 径間連続 PC 橋の中間支点であるため、鉛直力に加え地震時慣性力の負担も大きい。かつ、地すべり地帯に及ぼす安定性への影響も考慮する必要があるため、橋脚基礎として直径 10 m、長さ 17.5 m の大口径深礎杭を採用した。また、高さ 38.0 m の橋脚本体には鋼管・コンクリート複合構造を採用し、経済性、施工性、耐震性の向上を図った。

本橋の主ケーブルは、施工性、経済性と維持管理性に配慮し、内外ケーブル併用方式を採用した。また、横締めケーブルにはプレグラウト鋼材を採用し施工性向上を図った。

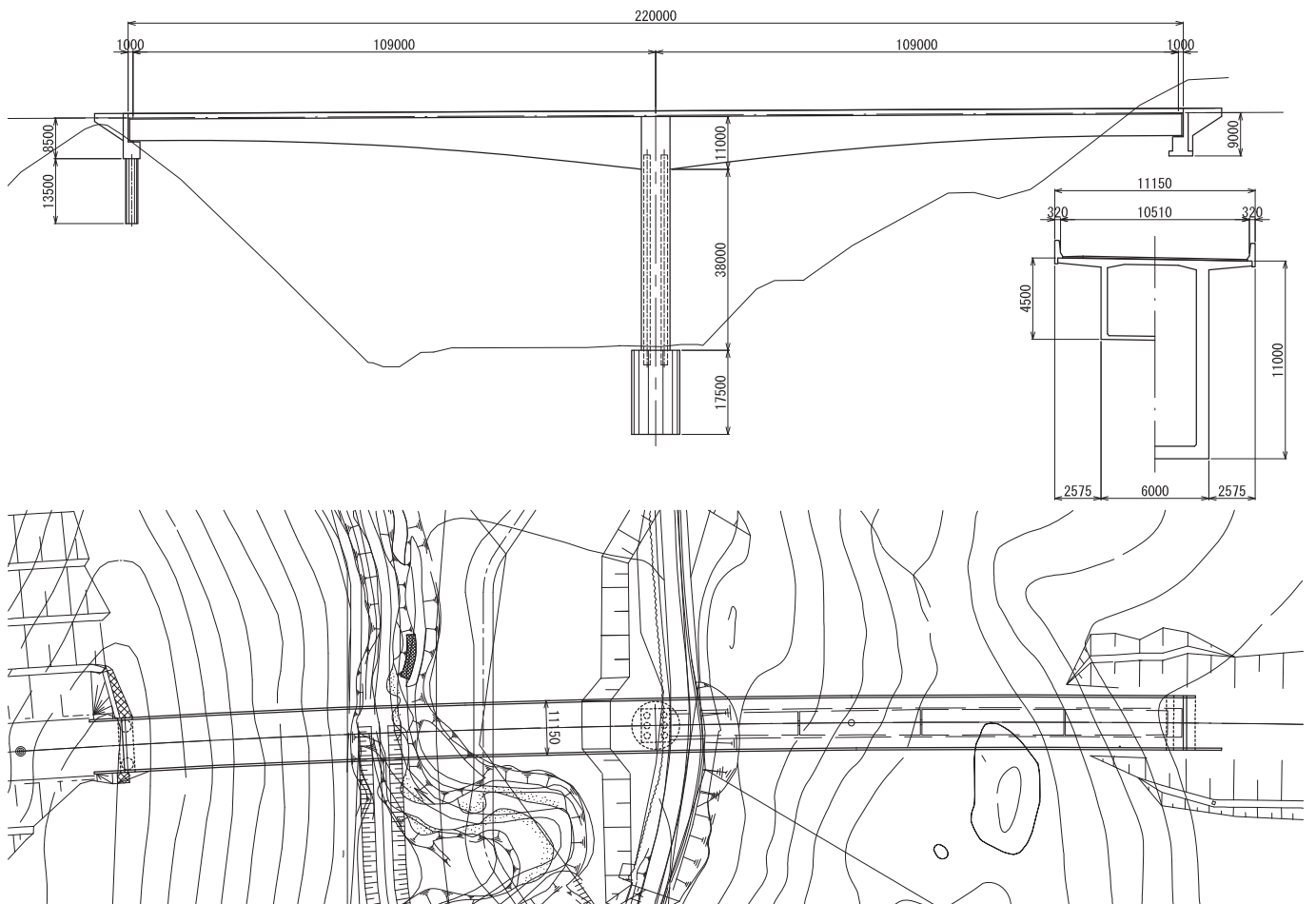
柱頭部は桁高 11.0 m と最大級の桁高であり、一般的な同構造形式と比べ、施工上留意すべき点があった。以下の対策を行うことで施工時及び硬化後の所定の品質確保を図った。

①ラーメン構造の脚頭部・柱頭部は耐震性能を高めるため過密配筋となる。さらに柱頭部は外ケーブル配置用の偏向管 (φ 140) と外ケーブルのプレストレス力に対する補強鉄筋が配置され、それらが施工を困難なものとしていた。そのため、偏向管を配置するための架台と過密配筋の干渉を事前に検討把握し、偏向管の架台をプレハブ化し、鉄筋組立と偏向管の配置作業が重ならないよう計画した。その結果、標準的な施工方法に比べ省力化と作業工程の短縮を図ることができた。

②上部工のコンクリート打設は約 40 m の高所となるため、地上から打設位置までコンクリートポンプによる圧送距離が長く、コンクリートのワーカビリティを確保することが困難となり、特に柱頭部は過密配筋の影響で施工時の品質上のトラブルが懸念された。そこで、高い減水性能と良好なスランプ保持性能を有する高性能 AE 減水剤を使用し、先端ホースの筒先から吐出したコンクリートのワーカビリティを確保した。

現在、これらの対策は効果が認められ、多くの工事でも実施されるようになっていく。省力化・品質向上のための先進的対策をいち早く取り入れた工事であった。





ちく べつ ばし 築 別 橋

1. 形 式	4 径間連結 T 桁橋 (プレキャストセグメント)
2. 橋 長	178.200 m
3. 支 間 割	4@43.225 m
4. 橋 格	第 3 種第 2 級 (B 活荷重)
5. 幅 員	8.500 m
6. 定 着 工 法	フレシナー工法
7. 架 設 工 法	架設桁架設工法 (抱込み式)
8. 設計基準強度	$\sigma_{ck} = 50 \text{ N/mm}^2$
9. コンクリート体積	1,193 m ³
10. 鉄 筋 重 量	108 t
11. PC 鋼材の種類	主桁：SWPR7BL 12S15.2 床版・横桁：SWPR19L 1S21.8
12. PC 鋼 材 量	主桁：56 t 床版・横桁：11 t
13. 発 注 者	北海道開発局 留萌開発建設部
14. 設 計 者	開発工営社
15. 施 工 者	オリエンタル白石
16. 工 期	平成 27 年 7 月～ 平成 28 年 10 月
17. 所 在 地	苫前郡羽幌町

工 事 概 要

一般国道 232 号は稚内市から留萌市に至る幹線道路で、留萌管内の医療、物流などの生活や産業を支え、緊急輸送路としての重要な役割を担う路線である。

旧築別橋は、羽幌町を流れる 2 級河川築別川に架橋され、1960 年（昭和 35 年）に竣工した橋長 180.30 m、幅員 6.00 m の単純 PC ポステン T 桁×5 連の橋梁である。

完成後 50 年以上が経過し現在の耐震基準を満たしていない上、日本海からの飛来塩分影響により主桁の塩害損傷が顕著であった。また、当該地区は吹雪による視程障害等に対する防災対策箇所に抽出されており、塩害劣化が進行した現橋の供用持続性や狭小幅員等の課題解消を目的として、現橋上流側別線ルートによる新橋架替えが計画されたものである。

新たな築別橋は、橋長 178.2 m、幅員 8.50 m、支間長 43.225 m の 4 径間連結 PC ポステン T 桁で、道路橋のポステン T 桁では国内最大級となる桁重量約 190 t/本にも及ぶことから、抱込み式による架設桁架設工法を採用した。

海岸線から 200 m 程度に位置し、道路橋示方書の塩害対策区分上は〔I〕に該当するところであるが、現橋の塩害劣化状況を鑑みて、将来の塩化物イオン濃度予測検証を行った結果を踏まえ、対策区分〔S〕相当にランクアップした対策として「鉄筋かぶり＋塗装鉄筋＋PE シース（主ケーブル、横締めケーブル）併用」で設計を行い、供用 100 年の耐久性に配慮した。

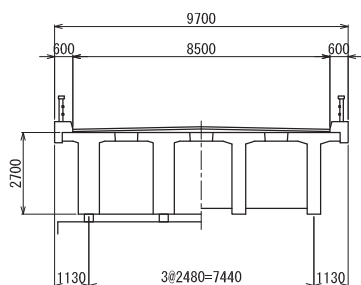
工事発注時の主桁製作は現場打ち桁であったが、主桁の製作時期および架設時期が厳寒期となることから、工場製作のセグメント桁（分割数は 9 ブロック）に変更することにより、現場作業の効率化を図り、工程遅延の回避や主桁の長期耐久性を向上させた。また、架設桁の送り出し中や次の径間への架設桁の移動中の突風による架設桁の逸走を確実に防止するため、ブレーキ機能が備わった電動送りローラーおよび自走台車をそれぞれ使用して、架設安全性を向上させた。冬季施工中には、暴風雪の影響により、1、2 月では月の半分近くが作業一時中止に追い込まれる過酷な状況の中で作業を進めていった。

狭小幅員の解消とともに長期耐久性が向上した新しい築別橋は、「日本で最も夕陽のきれいな日本海オロロンライン」として、観光・地域に親しまれるルートの一翼として、永きにわたりその役割を果たすことが期待される。

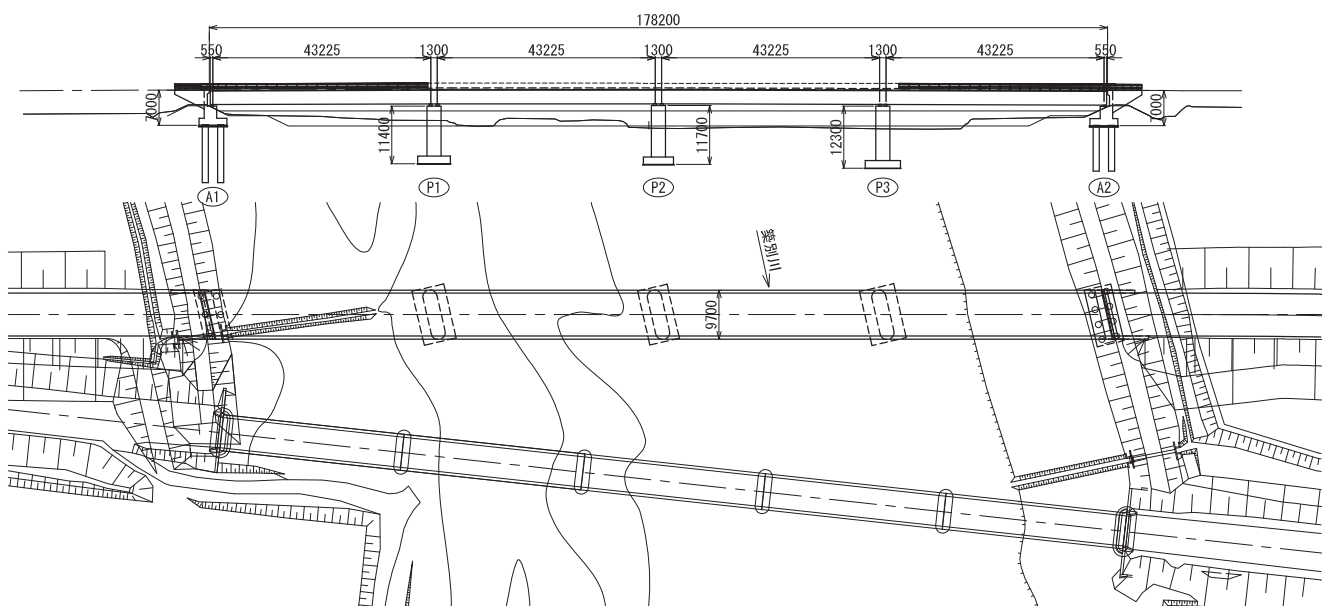




ガーダー設備の写真



厳寒冬季の架設状況写真



桂沢ダム 8 号橋

1. 形 式	4 径間連続箱桁橋
2. 橋 長	416.000 m
3. 支 間 割	81.900+2@125.000+81.900 m
4. 橋 格	第 3 種第 3 級 (B 活荷重)
5. 幅 員	11.000 m (車道 8.000 m+歩道 3.000 m)
6. 定 着 工 法	フレシナー工法
7. 架 設 工 法	張出架設工法 固定式支保工 (側径間部)
8. 設計基準強度	$\sigma_{ck} = 40 \text{ N/mm}^2$
9. コンクリート体積	5,385 m ³
10. 鉄 筋 重 量	883 t
11. PC 鋼材の種類	主桁: SWPR7BL 12S12.7 床版・横桁: SWPR19L 1S28.6
12. PC 鋼 材 量	主桁: 214 t 床版・横桁: 36 t
13. 発 注 者	北海道開発局 札幌開発建設部
14. 設 計 者	ドーコン 長大 ^{※1)}
15. 施 工 者	清水建設
16. 工 期	平成 27 年 9 月～ 平成 30 年 2 月
17. 所 在 地	三笠市桂沢

※ 1) H24 道示改定に伴う修正設計

工 事 概 要

1952 年に北海道初の本格的な多目的ダムとして建設された桂沢ダムにおいて、新たに工業用水と維持流量を供給する容量を確保し、治水・利水両面の機能を強化する目的で、堤体を 11.9 m 嵩上げする新桂沢ダム建設に伴う付け替え道路の一環として、本橋は架けられた。

本橋は、平面線形が S 字曲線であることに加え、道路線形の観点から橋梁区間を含め変更した縦断線形と設計高水位から P1、P3 柱頭部と P2 柱頭部の異なる桁高を有したシンメトリーな 4 径間連続 PC 箱桁である。

張出架設での一般的な支間バランスに対し、側径間長が長めである構造的特徴を有しているが、固定支保工が可能な施工区間 (30 m 程度) が確保できたことから、中央閉合ブロックを支間中央位置よりシフトすることで、橋脚にアンバランスモーメントを生じさせない左右対象な張出架設を設計・施工している (P1・P3 張出 15 ブロック、P2 張出 22 ブロック)。

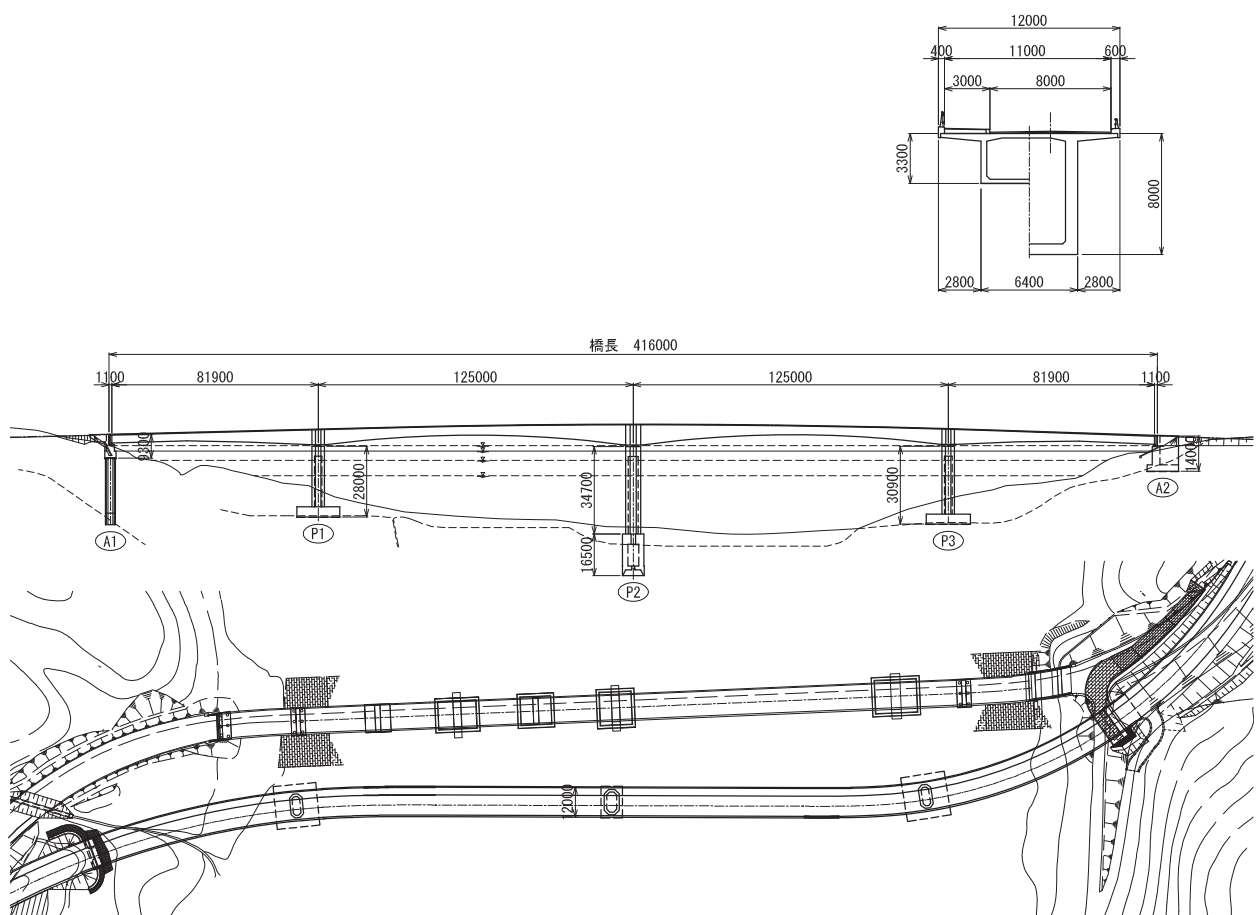
道路線形が起点側からダム湖に向かい下りながら大きくカーブしているため、走行車両から本橋のサイドビューが至近距離で見える。このため、有識者による景観検討委員会を経て橋脚断面形状に関しては八角形断面とすることに決定した。

周辺地盤が堅固であり下部基礎剛性も高いことから、橋の固有周期は短く、免震支承を採用している。また、レベル 2 地震動に対しては、本橋のような大規模コンクリート橋では地震時水平力が非常に大きく、耐震壁や鋼角スリッパ等の配置が困難であることから、すべての支点で橋軸直角方向を弾性支持としている。

本橋の架橋地点である三笠市桂沢地区は、年最低気温 -27℃、年間累計降雪量 11 m を記録する極寒冷地・特別豪雪地帯に指定されている。

本工事は、防寒養生を実施し、3 シーズンにわたる通年施工が計画されていたが、豪雪により一時的な現場への立入不能が予想された。そこで、IoT を活用した遠隔監視の実現にて確実な防寒養生実施が可能となり、厳冬期においても品質を確保しつつ施工することができた。





江 竜 橋

1. 形 式	8 径間連続箱桁橋
2. 橋 長	801.000 m
3. 支 間 割	79.500+4@106.500+2@109.000 +74.500 m
4. 橋 格	第 3 種第 2 級 (B 活荷重)
5. 幅 員	13.000 m (車道 9.500 m+歩道 3.500 m)
6. 定 着 工 法	フレシネー工法
7. 架 設 工 法	張出架設工法
8. 設計基準強度	$\sigma_{ck} = 40 \text{ N/mm}^2$
9. コンクリート体積	12,306 m ³
10. 鉄 筋 重 量	1,813 t
11. PC 鋼材の種類	主桁：SWPR7BL 12S12.7 床版・横桁：SWPR19BL 1S21.8
12. PC 鋼 材 量	主桁：552 t 床版・横桁：56 t
13. 発 注 者	空知総合振興局 札幌建設管理部
14. 設 計 者	シビテック
15. 施 工 者	(1 工区) 日本高压・ドーピー特定 JV (2 工区) 日本高压・山田特定 JV
16. 工 期	平成 20 年 10 月～ 平成 24 年 1 月
17. 所 在 地	滝川市江部乙町 ～雨竜郡雨竜町

工 事 概 要

本橋は、滝川市江部乙町を起点とし雨竜町市街へ至る一般道道江部乙雨竜線の石狩川と雨竜川を跨ぐ 8 径間連続 PC 箱桁橋である。

昭和 40 年に完成した旧江竜橋は 3 径間連続鋼箱桁が 5 連という長大橋であった。しかし、時代の変化に伴い大型車混入率が 56% と高くなり、当時の幅員構成の車道幅員では狭い上、歩道もなく、通行には困難を極めた。更に、老朽化が著しい上、耐震性能も十分ではないことから地域住民の強い要望の背景により新橋へと架け替えるに至った。

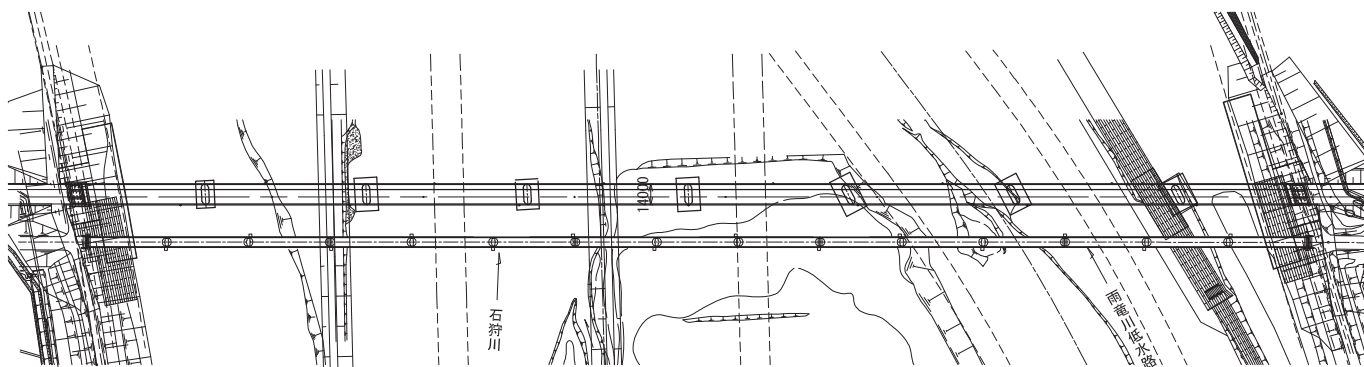
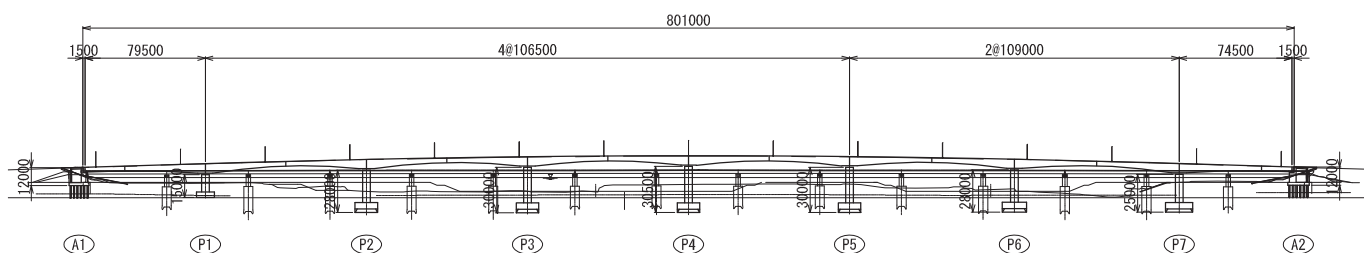
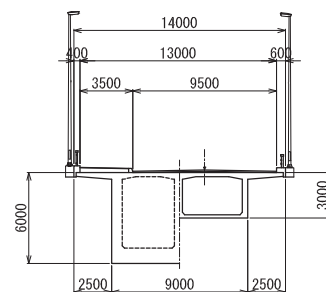
本橋の特徴は、渡河位置が石狩川と雨竜川の合流部に近いことから河川への阻害等の影響を極力低減することが求められ、河道の変動を考慮した橋脚位置・方向を決定している。また、設計段階では径間数の最少化が課題であったが、比較的地盤が良好であったため、橋脚 7 基のうち 6 基をニューマチックケーソン工法による設計としたことで解決を図った。

上部工は、有効幅員 13.0 m を有する 2 室箱桁断面のプレストレストコンクリート橋で、厳冬期を含めた最大 9 ヶ月間の張出架設工法により施工を行った。また、免震支承の採用により耐震性能も大きく向上している。

柱頭部は幅 9.0 m、桁高 6.0 m、横桁厚 5.0 m のマッシュ構造であることから、セメントの水和熱に起因するコンクリートの温度ひび割れが懸念され、温度ひび割れの制御が課題であった。当時は先進的な解析手法であった 3 次元温度応力解析を実施し、ひび割れの発生が懸念される部位を特定し、事前に補強鉄筋を追加する等の対策を行った。

更に 2 工区の工事では横桁内部に 1 インチ管を配管し、温度ひび割れの制御でより効果を期待できる水冷式パイプクーリングも実施した。





見晴大橋

1. 形 式	8 径間連続箱桁橋
2. 橋 長	527.000 m
3. 支 間 割	43.100+58.000+78.000+114.000 +78.000+2@56.000+41.100 m
4. 橋 格	第 4 種第 2 級 (B 活荷重)
5. 幅 員	11.000 m (車道 8.000 m+歩道 3.000 m)
6. 定 着 工 法	フレシネー工法
7. 架 設 工 法	張出架設工法 (河道部 3 径間) 固定支保工 (両側径間部)
8. 設計基準強度	$\sigma_{ck} = 40 \text{ N/mm}^2$
9. コンクリート体積	5,385 m ³
10. 鉄 筋 重 量	883 t
11. PC 鋼材の種類	主桁：SWPR7BL 12S12.7 床版：SWPR19L 1S28.6 横桁：SWPR19L 1S28.6 (グラウト)
12. PC 鋼 材 量	主桁：214 t 床版：52 t 横桁：2 t
13. 発 注 者	オホーツク総合振興局 網走建設管理部
14. 設 計 者	ドーコン
15. 施 工 者	日本高圧・渡辺・松谷 JV ドーピー・タカハタ・早水 JV ドーピー・タカハタ・五十嵐 JV
16. 工 期	平成 27 年 12 月～ 平成 31 年 3 月
17. 所 在 地	北見市桜町～川東地内

工 事 概 要

本橋は、北海道オホーツク総合振興局管内を流れオホーツク海へ注ぐ常呂川（一級河川）を挟む北見市中心部と川東地区を結ぶ道道北見美幌線において渋滞緩和を図るべく、歩行者専用の旧見晴橋の架替えとして、車道 8 m+歩道 3 m の幅員にて計画された。

河川条件、地盤条件、道路縦断からの桁下余裕高確保となる桁高制限等より、8 径間連続 PC 箱桁橋を採用した。

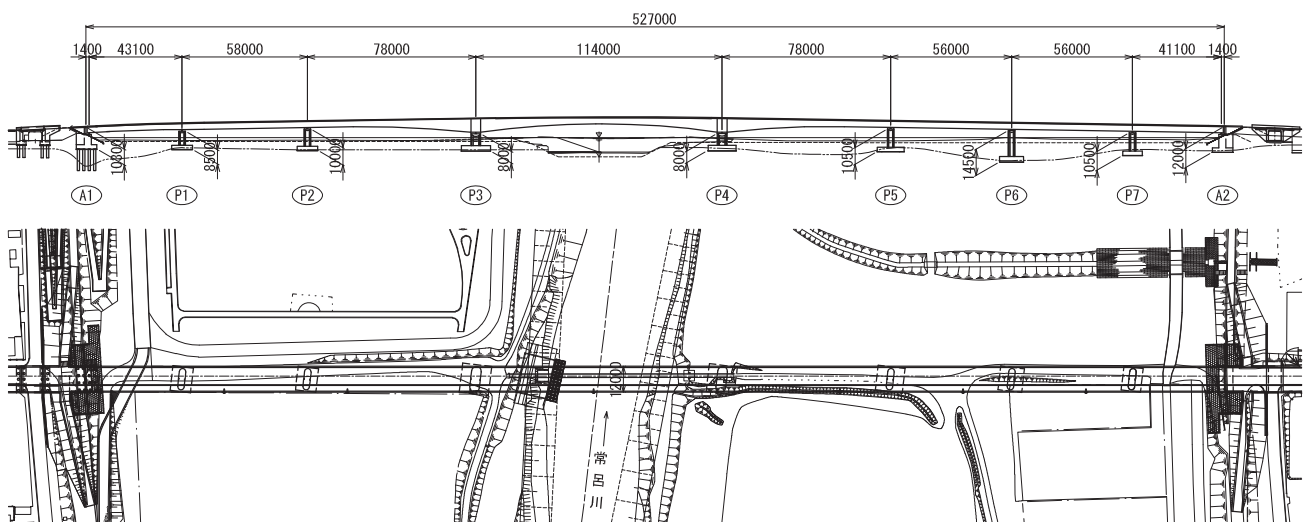
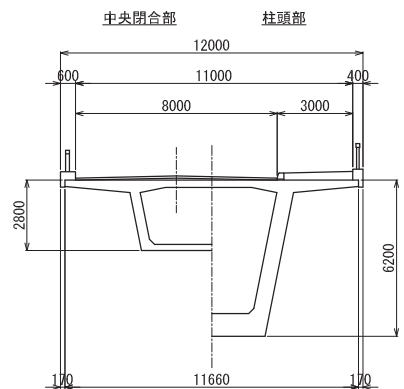
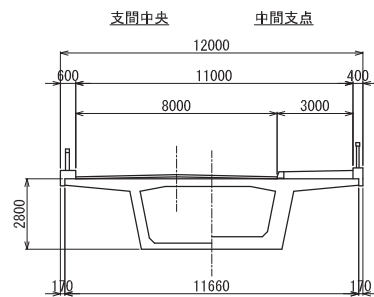
桁高が大きな長大橋のため、本橋完成時に河川敷地内の香りゃんせ公園やラクビー場利用者の多くの視界から河川空間と一体化するよう、圧迫感軽減となる斜ウェブの採用、小判型橋脚天端は上下部工の境界を目立たせないよう下床版幅から外側を面取りしている。

構造の特徴としては、橋脚を免震支承、橋台を分散支承+直角方向耐震壁として耐震性を確保し、設計移動量の抑制や不静定力による支承変形量を調整するポストスライド工法を採用しコストを縮減している。河川内の P3、P4 橋脚は、仮固定設置幅および沓座幅確保のため下床版幅を拡幅した構造として張出架設を行い、それ以外は固定支保工により架設された。

また、施工時では斜ウェブを採用していることからコンクリート打設時の初期欠陥が懸念され、打込み方法の入念な施工計画の立案とセンサーを利用したコンクリート充填検知システムの採用など確実な施工を実施した。

更に本橋は、厳冬期には-20℃を下回ることもあり、冬期におけるコンクリートの打ち込み性能の低下と初期凍害が懸念された。そこでコンクリートポンプ車の配管に断熱対策を行い、フレッシュコンクリートの打ち込み性能確保とコンクリート養生温度を管理するシステムの採用による硬化コンクリートの養生温度の適正管理を実施した。これらの入念な対策を実施したことにより、通年施工におけるコンクリートの品質確保を図った。





ばし クリスタル橋

1. 形 式	4 径間連続ラーメン箱桁橋
2. 橋 長	191.000 m
3. 支 間 割	39.000+2@55.500+39.000 m
4. 橋 格	第 4 種第 1 級 (B 活荷重)
5. 幅 員	25.500 m (車道 2*8.000 m+歩道 2*4.000 m +中央分離帯 1.500 m)
6. 定 着 工 法	主方向：フレシネー工法 横方向：SM 工法
7. 架 設 工 法	張出架設工法
8. 設計基準強度	$\sigma_{ck} = 40 \text{ N/mm}^2$
9. コンクリート体積	4,770 m ³
10. 鉄 筋 重 量	593 t
11. PC 鋼材の種類	主桁：SWPR7BL 12S12.7 床版・横桁：SWPR19L 1S28.6
12. PC 鋼 材 量	主桁：95 t 床版・横桁：49 t
13. 発 注 者	旭川市
14. 設 計 者	ドーコン・ダイイチプランニング JV
15. 施 工 者	生駒・ドービー・タカハタ JV
16. 工 期	平成 22 年 6 月～ 平成 24 年 9 月
17. 所 在 地	旭川市

工 事 概 要

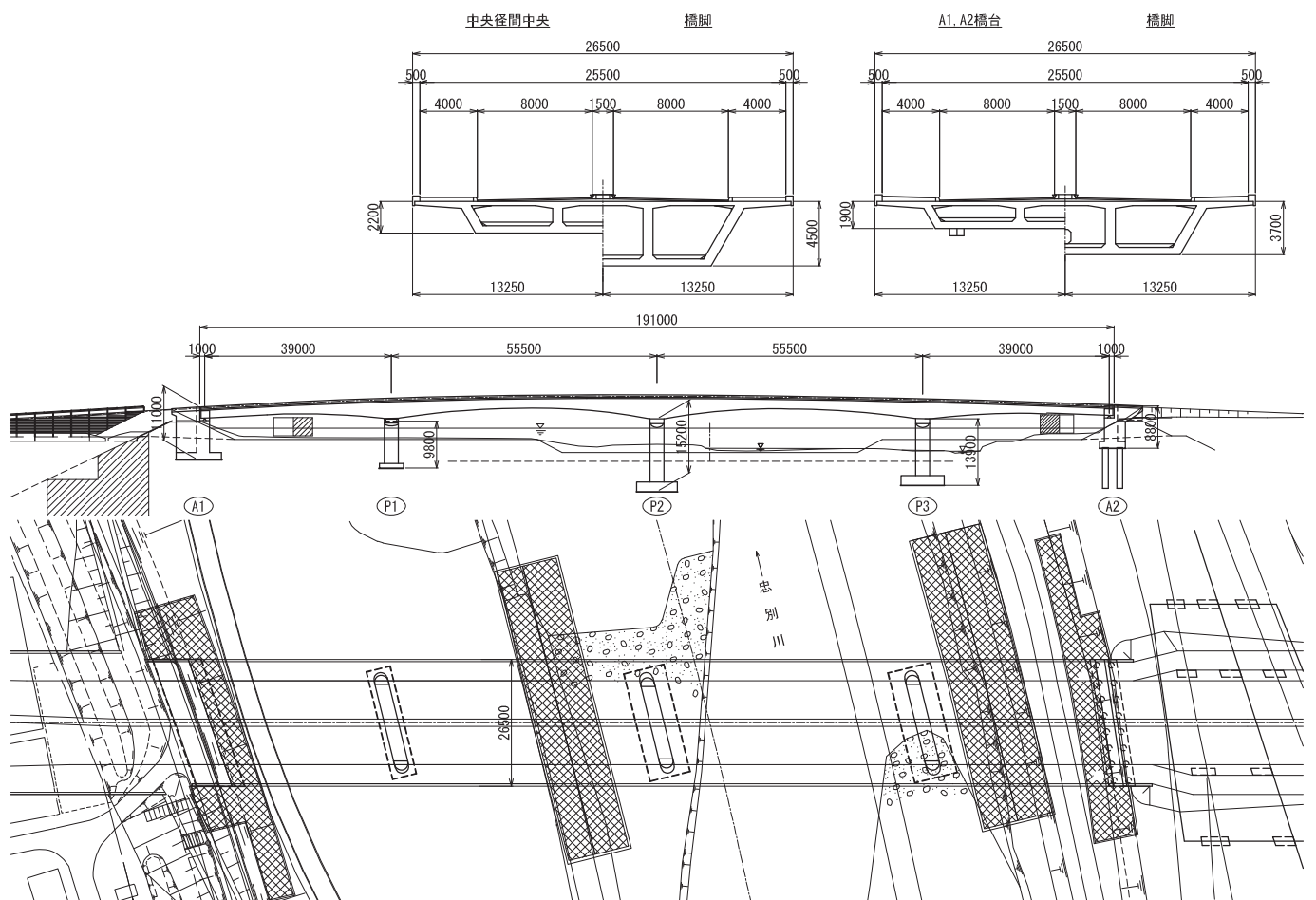
本橋が架設される昭和通は、大雪アリーナ前の国道 237 号交差点を起点とし、市内中心部を經由し国道 40 号を終点とする約 3 km の路線である。旭川駅の南側には忠別川があり、市街中心部として発展した北側の都市部と駅南地区を結ぶ橋梁が 2 橋（2 路線）と少なく、慢性的な交通渋滞が生じていたことから、忠別川を渡河する道路整備が期待されていた。

このような状況の下、忠別川を横断する南北道路の整備等を行う「北彩都あさひかわ」事業が発足し、本橋は隣接する氷点橋の姉妹橋として建設された。河川空間の中で主張し過ぎないことをデザインコンセプトとし、「都市的」で「活発な妹」というテーマを 4 径間連続 PC ラーメン橋として表現している。

本橋は、河川敷道路の建築限界や隣接する鉄道高架橋との関係から桁高を低く抑える必要があり、そのため長い張出し床版と 60°の斜ウェブによる偏平な 3 室箱桁構造を採用している。また、斜角 71°～81.5°を有する広幅員と低桁高による桁剛性の影響を踏まえ、ねじり挙動を考慮した設計を実施している。架設方法は 4 主構ワーゲン（架設作業車）による張出施工を P2、P3 橋脚で採用し、P1 橋脚については桁下空間の制約より固定支保工による場所打ち分割施工を採用した。

今回の旭川駅周辺再開発プロジェクト「北彩都あさひかわ」は、本橋を含み「2015 年土木学会デザイン賞 最優秀賞」を受賞し、旭川の新しい顔として市民に親しまれるとともに、来訪者にも感動を与えている。





朝里川温泉橋

1. 形 式	8 径間連続ラーメン箱桁橋
2. 橋 長	615.500 m
3. 支 間 割	45.800+90.000+3@92.000 +103.000+71.000+27.300 m
4. 橋 格	第 1 種第 2 級 (B 活荷重)
5. 幅 員	12.560 m
6. 定 着 工 法	主桁：SEEE 工法 横締：CCL 工法
7. 架 設 工 法	張出架設工法 (A1～P7 径間) 固定支保工工法 (P7～A2 径間)
8. 設計基準強度	$\sigma_{ck} = 40 \text{ N/mm}^2$
9. コンクリート体積	8,270 m ³
10. 鉄 筋 重 量	1,405 t
11. PC 鋼材の種類	主桁：SWPR7BN 12S15.2 (内ケーブル) 19S15.2 (外ケーブル) 床版：SBPR19L 1S21.8
12. PC 鋼 材 量	主桁：304 t 床版：41 t
13. 発 注 者	東日本高速道路 北海道支社
14. 設 計 者	(基本) 八千代エンジニアリング (詳細) ビーエス三菱
15. 施 工 者	ビーエス三菱
16. 工 期	平成 26 年 8 月～ 平成 29 年 12 月
17. 所 在 地	小樽市朝里川温泉 2 丁目

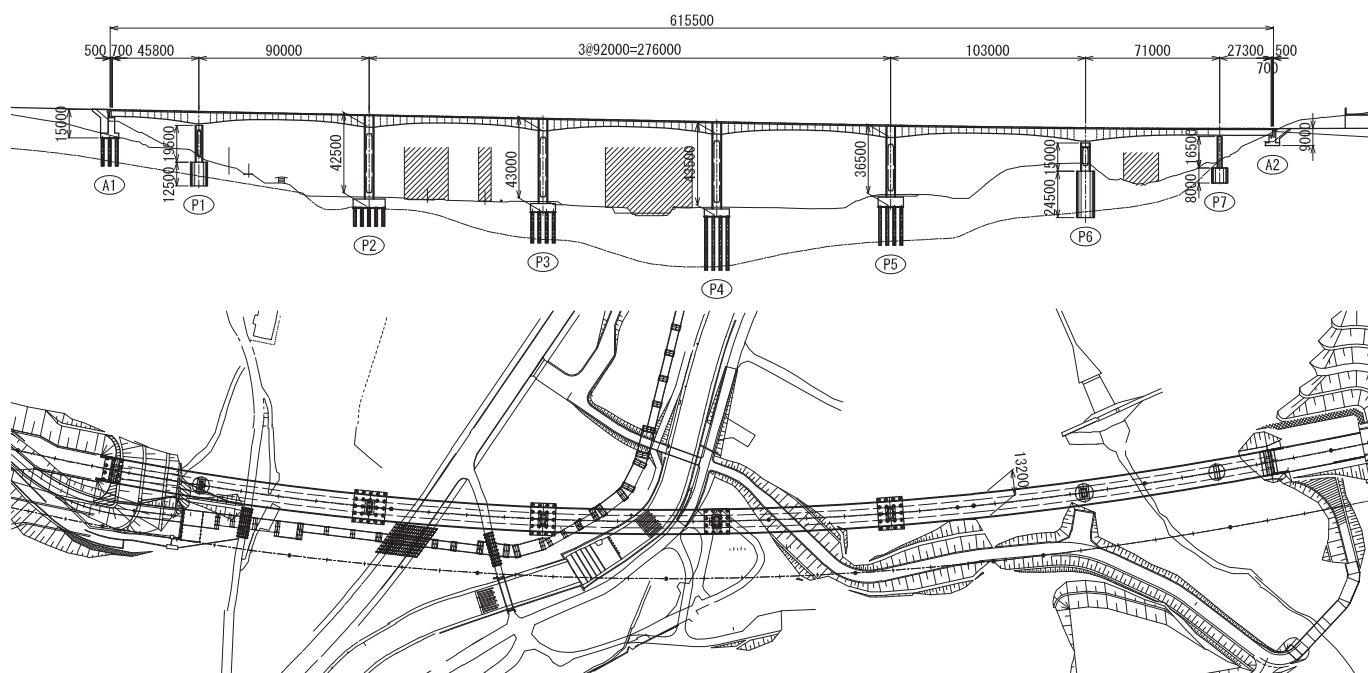
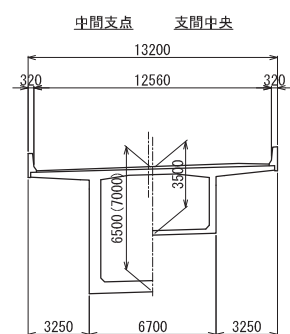
工 事 概 要

朝里川温泉橋は、後志自動車道の余市 IC～小樽 JCT 区間の小樽市朝里川温泉町に位置する橋梁である。地上から最大 45 m の高さに位置する連続高架橋であり、全長 615.5 m の 8 径間連続 PC ラーメン箱桁橋である。

架橋地点は、厳冬期の月平均気温が 0℃を下回り、また、年間の累計積雪深が 5 m を超える気候的条件である。このような環境の中、工程的な制約条件から積雪寒冷期間においても施工を進める必要があった。そのため、これらの気候的な条件に配慮したコンクリート構造物の品質管理方法を事前に検証したうえで施工を行った。主な検討項目は以下の通りである。

- ①本橋の脚頭部および柱頭部はマスコンクリート部材となる。そのため、マスコンクリート供試体を作成し、実際に使用するコンクリートやクーリングパイプの熱物性を把握した。その結果をフィードバックした温度解析を行い、ひび割れ指数の改善が図れる養生方法を検討した。その結果、ひび割れ指数をほぼ 1.40 以上 (ひび割れ発生確率 15% 以下) にすることができた。
- ②冬季も張出架設を行うため、密封性の高いパネル式防護設備とし、給熱養生によりコンクリートの打ち込みおよび養生箇所の温度を 5℃以上に保持した。また、モバイル式養生温度管理システムを用い養生設備内および打込み後のコンクリートの温度を 24 時間連続計測・監視した。その結果、-12℃を下回る最低気温下においても強度発現不良やひび割れを発生させることなく、高品質の主桁コンクリートを構築できた。
- ③一般に、PC グラウト工は PC 鋼材緊張後速やかに行う必要があるが、積雪寒冷期に施工する場合は、注入した PC グラウトの温度を 5℃以上に保つことが困難であるため、PC 鋼材を工場出荷時に一時防錆処理し、冬季施工期間終了後に PC グラウトの注入を行うこととした。しかし、今回想定した長期間 (約 6 ヶ月) の防錆効果については不明な点が多いため、積雪寒冷期における施工を想定した PC 鋼材の暴露試験を実施したうえで施工を行った。その結果、PC グラウト施工前のファイバースコープによる確認では、PC 鋼材の表面には錆が発生していないことが確認できた。





特集 I

函館・江差自動車道 茂辺地木古内道路 PC ラーメン橋群

函館・江差自動車道は、北海道縦貫自動車道、函館新道等と一体となって高速ネットワークを形成する一般国道の自動車専用道路です。重要港湾函館港、函館空港への物流効率化と利便性の向上や防災代替路として有効に機能します。

函館・江差自動車道のうち北斗茂辺地 IC～木古内 IC までの延長 16.0 km の区間は、津軽海峡に面しており、季節風に伴う塩害が強く懸念されたことから、当別大橋[8 頁・9 頁掲載]をはじめ、多数の PC 橋が建設され令和 4 年 3 月に開通しました。



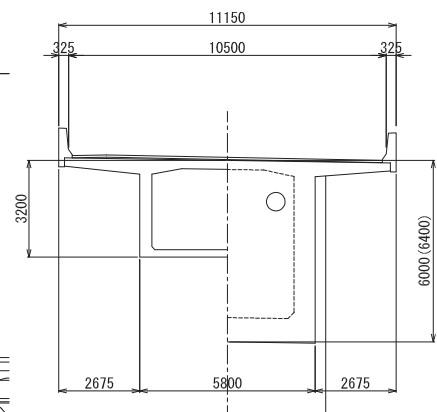
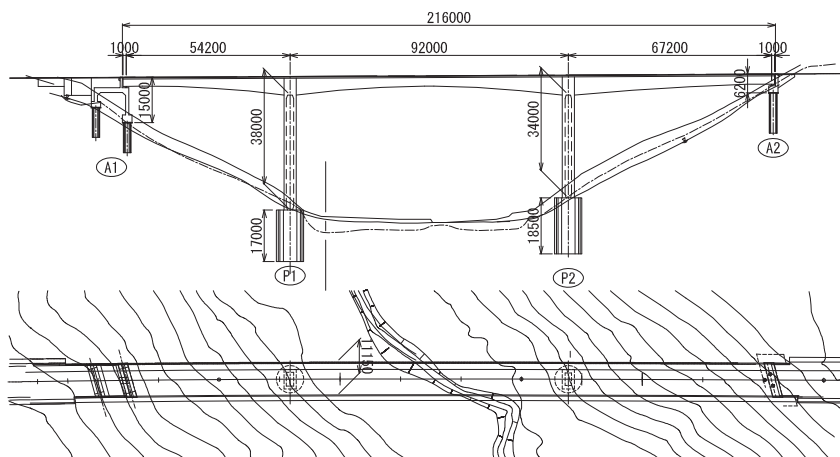
まる やま いし べつ おお はし 丸山石別大橋

- 形式：3 径間連続ラーメン箱桁橋
- 橋 長：216.000 m
- 支 間 割：54.200+92.000+67.200 m
- 幅 員：10.500 m
- 定着工法：フレシナー
- 発 注：北海道開発局 函館開発建設部
- 設 計：ドーコン
- 施 工：三井住友建設
- 完成年度：平成 23 年度
- 所 在 地：北斗市



【工事概要】

橋体工の施工は、橋脚より張出架設工法により行われた。張出架設は P1、P2 橋脚を並行施工するため、4 基の架設作業車を稼働させた。施工が冬期にかかる P2 の架設作業車は完全防護型として寒中養生に対応した。A2 橋台後方の土工区間が後施工にて工事用進入路の確保ができないため、A2 橋台の地山掘削・深礎杭・躯体工および橋体工の側径間支保工架設の全ての作業を、P2 からの張出し架設が完了した主桁上を利用して施工する必要がある。そのため、A1 橋台部および中央閉合部を先行施工して、橋面への車両進入を可能とした後に、A2 橋台掘削用の重機を橋面上からクレーンにより搬入した。地山や深礎杭の掘削土は、橋面上のダンプトラックにより搬出された。



お しま と う べ つ おお はし

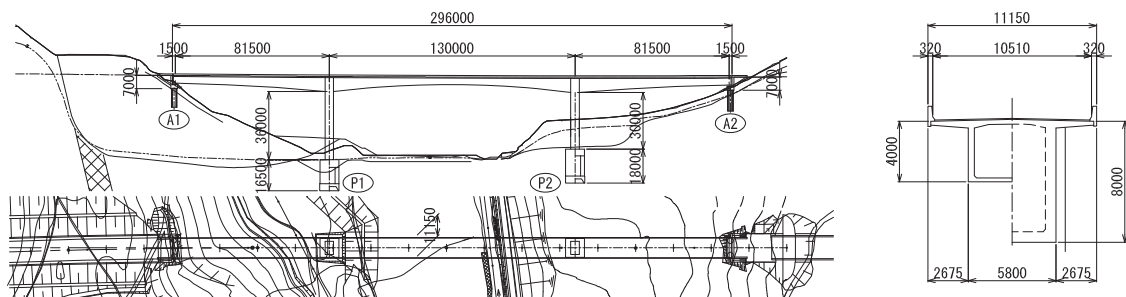
渡島当別大橋

- 形 式：3 径間連続ラーメン箱桁橋
- 橋 長：296.000 m
- 支 間 割：81.500+130.000+81.500 m
- 幅 員：10.510 m
- 定着工法：フレシネー
- 発 注：北海道開発局 函館開発建設部
- 設 計：ドーコン
- 施 工：ピーエス三菱
- 完成年度：平成 30 年度
- 所 在 地：北斗市



【工事概要】

橋体工の施工は、橋脚より張出架設工法により行われた。起点側の地すべり土塊外に P1 橋脚設置（基礎施工時に地すべり土塊周辺地山を緩めないニューマチックケーソン基礎）となり、地すべり土塊上の A1 側径間区間は吊支保工可能な 10m 側径間部以外は張出架設によらねばならなかった。そのため、中央閉合ブロックを支間中央より終点側にシフトして、P1 橋脚（22 ブロック）および P2 橋脚（16 ブロック）の左右重量バランスがとれた状態で中央閉合を行い、その後、A1 側径間部は吊支保工、A2 側径間部はステージング式支保工にて施工した。



い な り おお はし

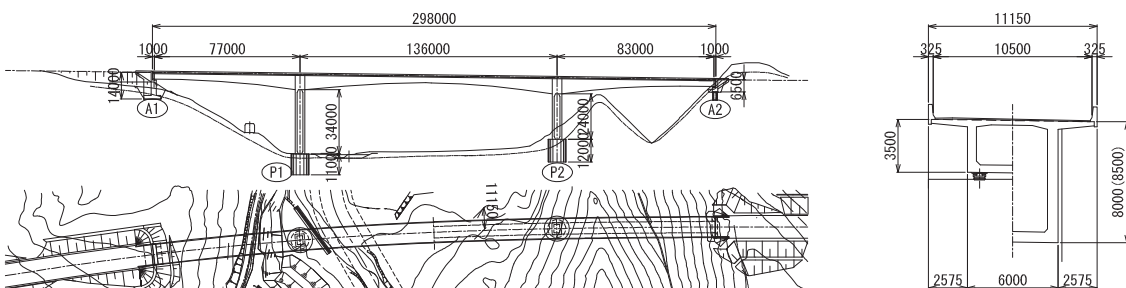
稲荷大橋

- 形 式：3 径間連続ラーメン箱桁橋
- 橋 長：298.000 m
- 支 間 割：77.000+136.000+83.000 m
- 幅 員：10.500 m
- 定着工法：フレシネー
- 発 注：北海道開発局 函館開発建設部
- 設 計：構研エンジニアリング
- 施 工：ドービー建設工業
- 完成年度：平成 27 年度
- 所 在 地：上磯郡木古内町



【工事概要】

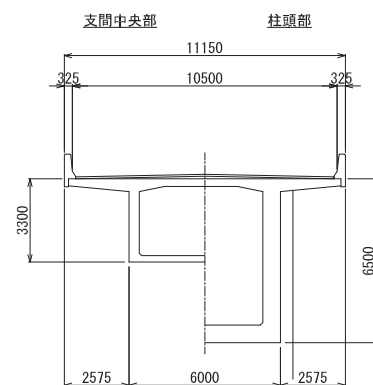
橋体工の施工は、橋脚より張出架設工法により行われた。張出し架設は P1、P2 橋脚を並行施工するため、4 基の架設作業車を稼働させた。施工が冬期にかかる架設作業車は完全防護型として寒中養生に対応した。支間バランスの改善を図るためには、P2 橋脚を急峻な地形を成している終点側に移動させる必要があるが、斜面上は樹木に覆われた自然豊かな環境であることから、可能な限り掘削量を少なくし、樹木の伐採を抑制する必要があったため、周辺環境との調和、地形改変の抑制、施工性にも優れる「竹割型構造物掘削工法」を採用した。そのため張出し部が最大 66.0 m となり、さらに片側のみ張り出す二次張出しを伴うことから、カウンターウエイトを用いている。



べつ とう おお はし
別当大橋

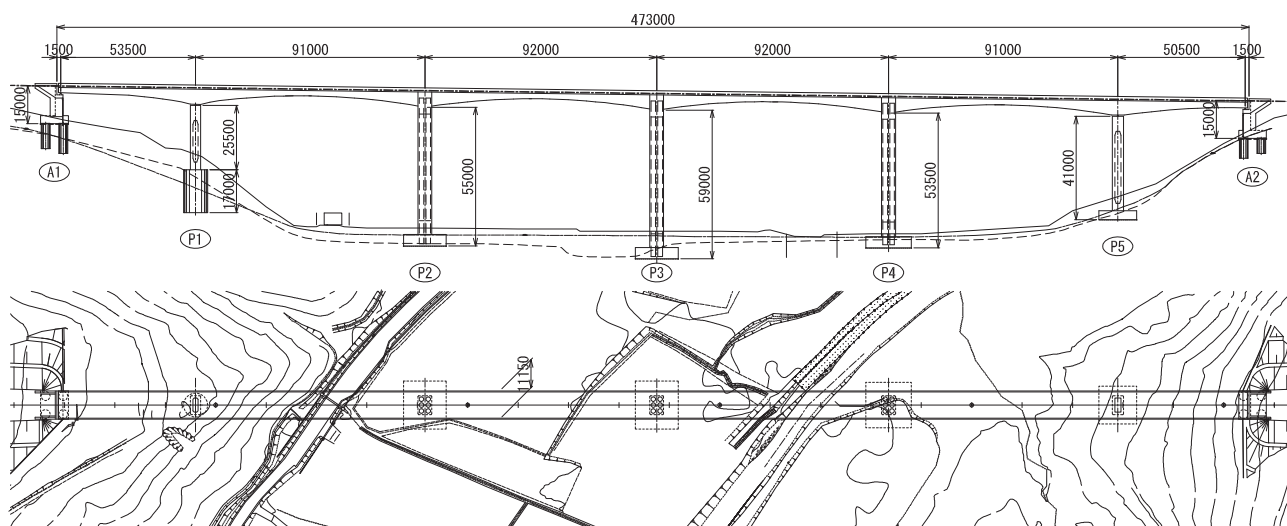


- 形 式：6 径間連続ラーメン箱桁橋
- 橋 長：473.000 m
- 支 間 割：53.500 + 91.000 + 2@92.000 + 91.000 + 50.500 m
- 幅 員：10.500 m
- 定着工法：フレシネー
- 発 注：北海道開発局 函館開発建設部
- 設 計：ドーコン
- 施 工：清水建設
- 完成年度：平成 29 年度
- 所 在 地：上磯郡木古内町



【工事概要】

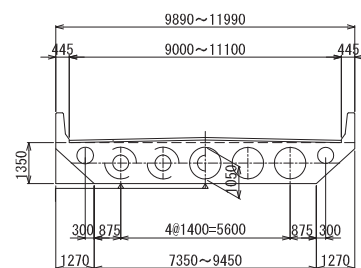
6 径間連続箱桁 PC ラーメン橋で、橋長 473 m、橋面高 GL+55 m と、茂辺地 IC～木古内 IC 区間で最大規模の橋梁である。本工事は通常の橋梁上部工の部分だけでなく、鋼管複合構造と中空構造の下部工部分も施工している。施工場所が年最低気温 - 約 11℃ の積雪寒冷地であるため採光性パネルを用いて寒中養生囲いを設置しジェットヒータ等で採暖して通年施工を行っている。上部工は、移動作業車 4 基を用いて張出架設により施工した。張出架設部のコンクリートは、高橋脚であるため、コンクリートの配合など加圧脱水に留意しながら配管（水平換算距離最大約 300 m）にて施工した。



おお ひら こ せん きょう
大平跨線橋

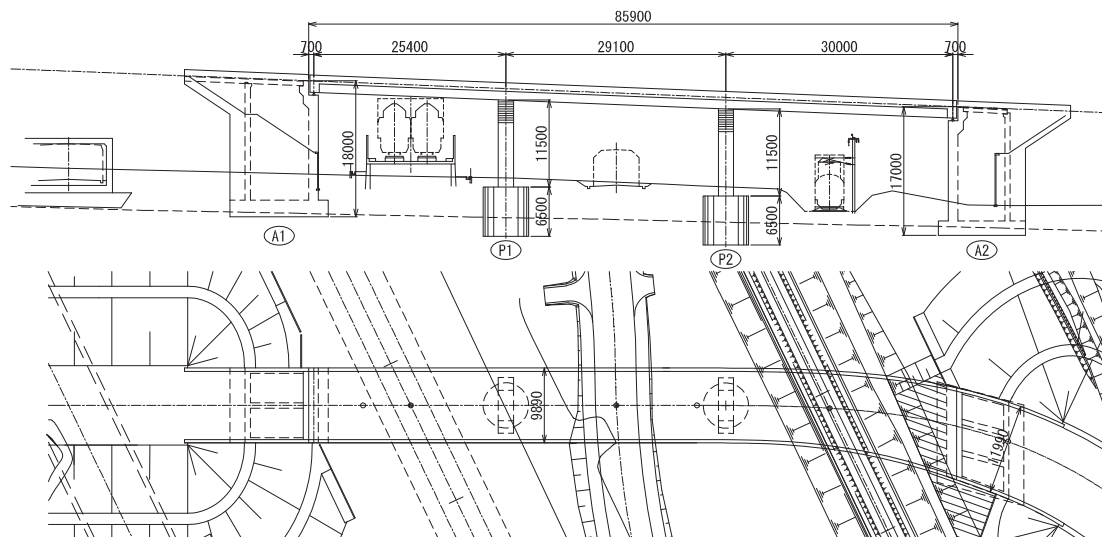


- 形 式：3 径間連続ラーメン中空床版橋
- 橋 長：85.900 m
- 支 間 割：25.400+29.100+30.000 m
- 幅 員：9.000～11.100 m
- 定着工法：フレシネー
- 発 注：北海道開発局 函館開発建設部
- 設 計：構研エンジニアリング
- 施 工：日本高压コンクリート
- 完成年度：平成 24 年度
- 所 在 地：上磯郡本古内町



【工事概要】

本橋は、北海道新幹線、JR 津軽海峡線、町道と交差する 3 径間連続ラーメン PC 中空床版橋である。桁構造は、北海道新幹線や JR 在来線等の交差交通に対する第三者被害の防止、及び支承等の点検部位省略による維持管理の向上を図るため、PC 連続ラーメン橋とした橋梁である。主桁形状は、塩害環境への配慮、第三者被害の防止を目的に、凹凸面を少なくした台形形状としている。上部工の架設は、全径間においてくさび結合式の支保工架設としているが、JR 部や町道交差では列車防護工や支柱式支保工を併用し、資材等が軌道に落下しないように、主桁を構築した。



特集Ⅱ

後志自動車道の PC 橋

後志自動車道は、小樽市から倶知安町に至る高速道路であり、平成 30 年 12 月に小樽 JCT から余市 IC までが開通した。本区間は東日本高速道路株式会社により事業が行われ、余市 IC から先は北海道開発局に引き継がれて事業が進められている。

本区間には 9 橋の PC 橋があり、朝里川温泉橋[20 頁・21 頁掲載]をはじめ 4 橋は張出架設による長大箱桁橋、2 橋は場所打ち施工の箱桁橋、2 橋は場所打ち施工の 3 主桁版のポータルラーメン橋、1 橋は本区間で唯一の OV 橋で場所打ち施工の斜材付き π 型ラーメン橋である。



天神大橋

- 形式：9 径間連続ラーメン箱桁橋
- 橋 長：681.000 m
- 支 間 割：41.100 + 2@75.000 + 80.000 + 4@90.000 + 47.100 m
- 幅 員：12.510 m
- 定着工法：ディビダーク
- 発 注：NEXCO 東日本北海道支社
- 設 計：(基本) ドーユー大地
(詳細) 三井住友建設
- 施 工：三井住友建設
- 完成年度：平成 30 年度
- 所 在 地：小樽市

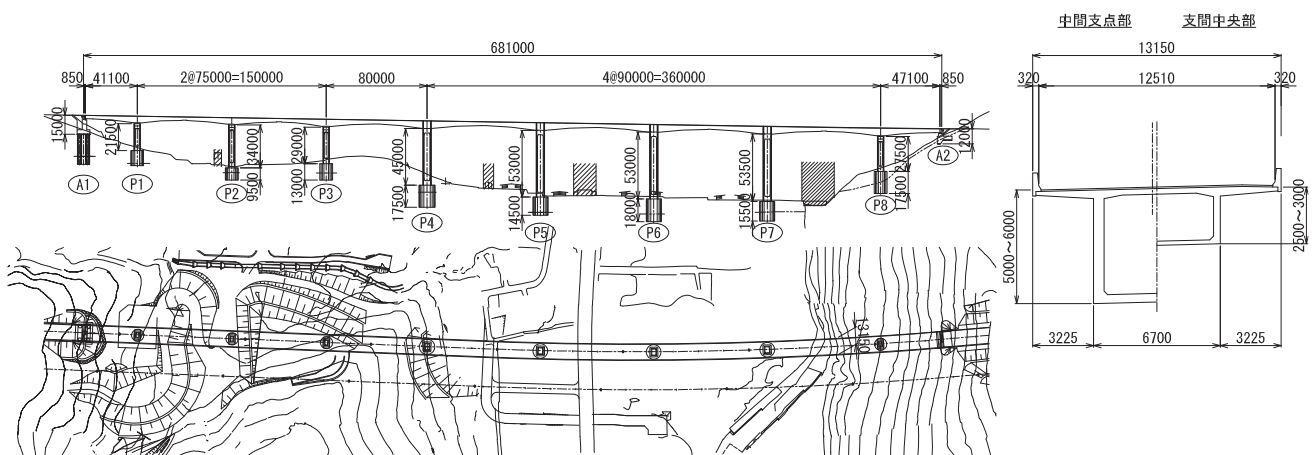


【工事概要】

天神大橋は、後志自動車道小樽 JCT～余市 IC のうち、小樽市天神に架設された PC9 径間連続ラーメン箱桁橋で、P4～P8 間が最大支間 90 m の橋梁である。橋脚高は最大 53 m の高橋脚であり、下部工基礎は、橋台を除き、すべて大口径深礎となっている。上部工は、全橋脚において架設作業車による張出し架設工法により構築した。

本橋には以下の設計・施工の特徴がある。

- ・外ケーブルに高強度 PC 鋼材（内部充填型エポキシ被覆）を北海道で初めて採用した。
- ・支承がある橋脚のうち P2、P3 橋脚の張出し架設時には、仮固定コンクリートに代えて鉛直ジャッキを使用し、施工の省力化と撤去時のはつり作業による騒音の防止を図った。
- ・壁高欄外側に埋設型枠を採用し、張出架設中には交差道路に対する飛来落下対策の防護板として設置した。壁高欄施工時には外側足場を省略することが可能となり、工程短縮を図ることができた。



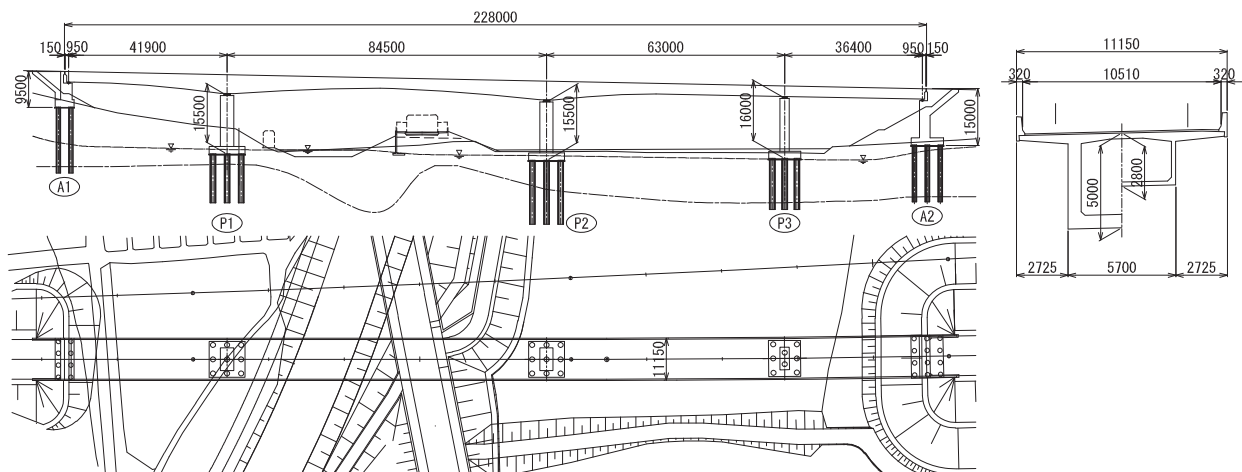
フゴッペ川橋

- 形 式：4 径間連続箱桁橋
- 橋 長：228.000 m
- 支 間 割：41.900+84.500+63.000+36.400 m
- 幅 員：10.510 m
- 定着工法：SEEE
- 発 注：NEXCO 東日本北海道支社
- 設 計：(基本) 大日本コンサルタント
(詳細) ピーエス三菱
- 施 工：ピーエス三菱
- 完成年度：平成 28 年度
- 所 在 地：余市郡余市町



【工事概要】

フゴッペ川橋は、P1～P2 間にフゴッペ川と道道栄町温泉通線が交差しているため、P1 橋脚および P2 橋脚において架設作業車による張出し架設とし、P2～P3 間の途中より A2 までは固定支保工とした。



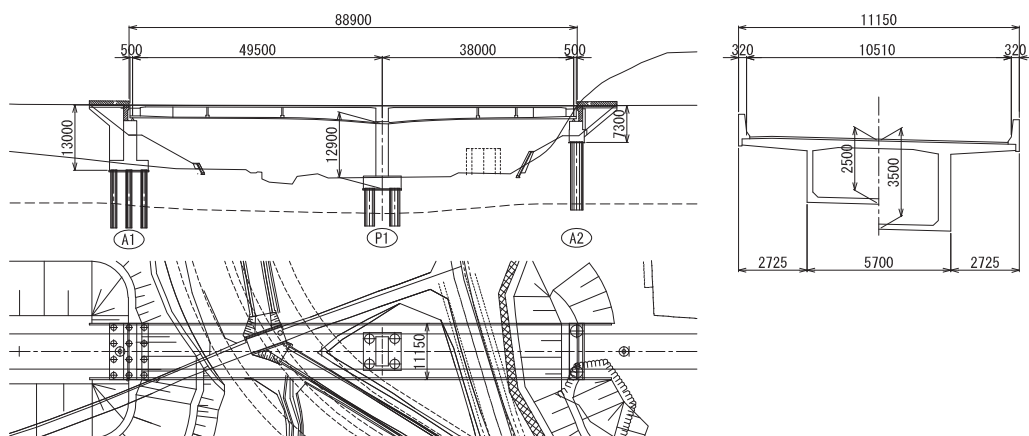
モチヤ沢川橋

- 形 式：2 径間連続 T ラーメン箱桁橋
- 橋 長：88.900 m
- 支 間 割：49.500+38.000 m
- 幅 員：10.510 m
- 定着工法：SEEE
- 発 注：NEXCO 東日本北海道支社
- 設 計：(基本) 千代田コンサルタント
(詳細) ピーエス三菱
- 施 工：ピーエス三菱
- 完成年度：平成 28 年度
- 所 在 地：小樽市



【工事概要】

モチヤ沢川橋は、A1～P1 間にモチヤ沢川、P1～A2 間に市道餅屋沢通線がそれぞれ交差するため、開口部を設けたオールステージング工法で施工した。



特集Ⅲ

北海道新幹線 PC 橋りょう群

北海道新幹線は、東北新幹線の新青森駅を起点として、青函トンネルを通過し、札幌市に至る延長約 360 km の新幹線鉄道であり、そのうち、新青森・新函館北斗間の約 149 km が平成 28 年 3 月 26 日に開通した。構造物としては、全体の約 4 %、延長約 6.0 km が橋りょう区間となっており、そのほとんどの橋りょうに PC 橋が採用されている。平成 22 年度から橋りょう工事は開始され、平成 25 年度には完了した。交差物としては、河川（主に木古内川、茂辺地川、戸切地川）、鉄道（旧 JR 江差線）、道路（主に国道 227 号線）、排水路等、合計 42 か所であり、橋梁形式は、T 桁、下路桁、箱桁の 3 種類となっている。箱桁の中には、交差物の関係から馬桁一体型の箱桁構造も採用されている。

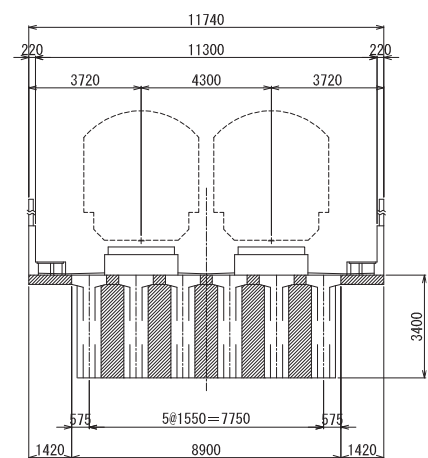
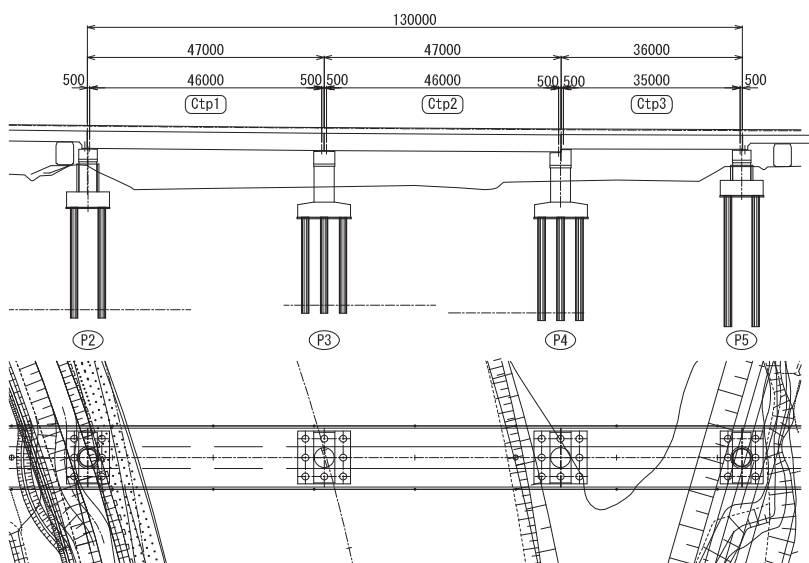


架設工法は、戸切地川橋のみ張出し架設工法であり、下路桁、箱桁は場所打ち支保工架設、T 桁はクレーン架設が基本であるが、一部クレーン・架設桁併用架設にて行った。この路線は、交差物が多く、また、住宅、工場等の近接構造物に配慮しながらの施工であった。桁高が高い T 桁は、現地での製作、架設作業を、安全に留意し、夜間作業等を行った。

本書の付表に、54 橋を一覧として掲載している。[108 頁～111 頁掲載]

木古内川 B (Ctp 1～Ctp 3)

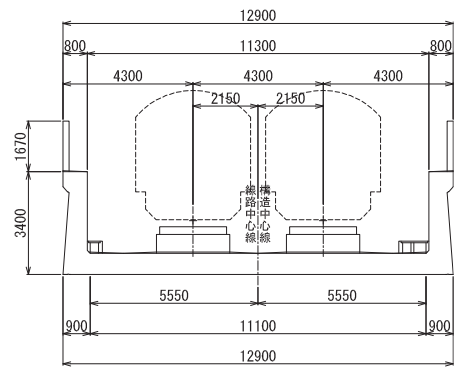
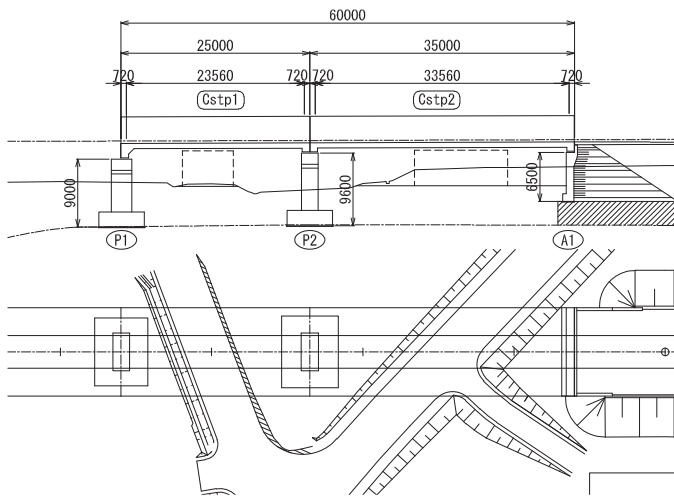
- 形 式：単純 T 桁橋
- 橋 長：130.000 m
- 支 間 割：46.0+46.0+35.0 m
- 施工基面幅：11.30 m
- 定着工法：プレシネー
- 発 注：鉄道・運輸機構北海道新幹線建設局
- 設 計：復建エンジニアリング
- 施 工：フジタ・大日本・高橋 JV
- 完成年度：平成 25 年度
- 所 在 地：上磯郡木古内町



しゅう あい

萩愛 Bv (Cstp 1~Cstp 2)

- 形 式：単純下路桁橋
- 橋 長：60.000 m
- 支 間 割：23.560 + 33.560 m
- 施工基面幅：11.30 m
- 定着工法：フレシネー
- 発 注：鉄道・運輸機構北海道新幹線建設局
- 設 計：中央復建コンサルタンツ
- 施 工：三井住友建設
- 完成年度：平成 24 年度
- 所 在 地：上磯郡木古内町

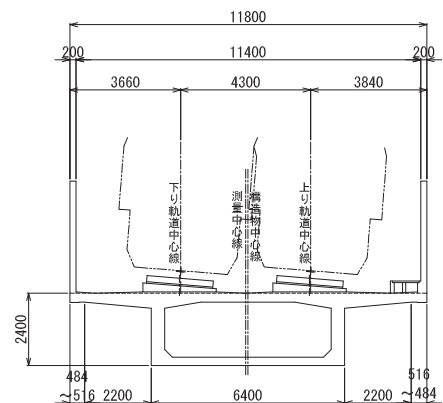
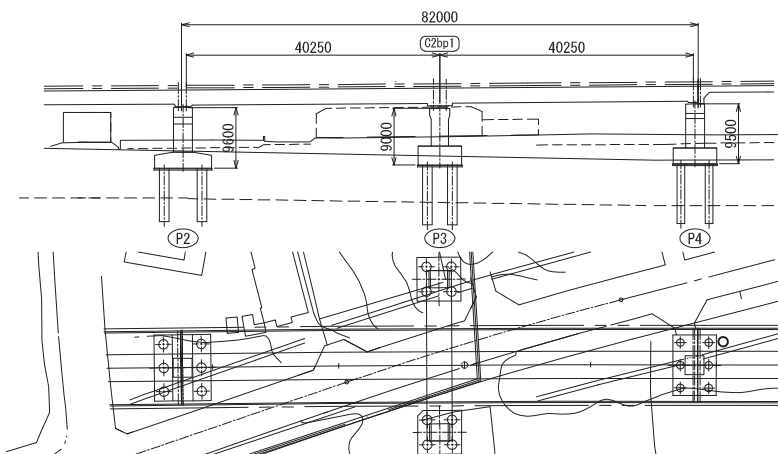


さくら たい

ごう せん

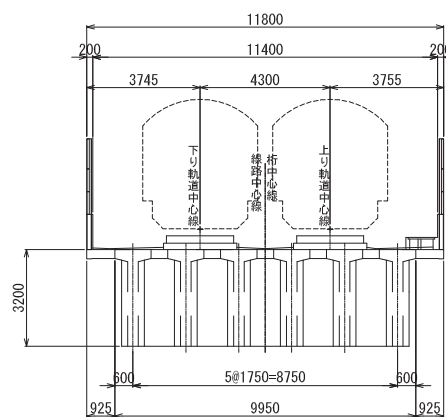
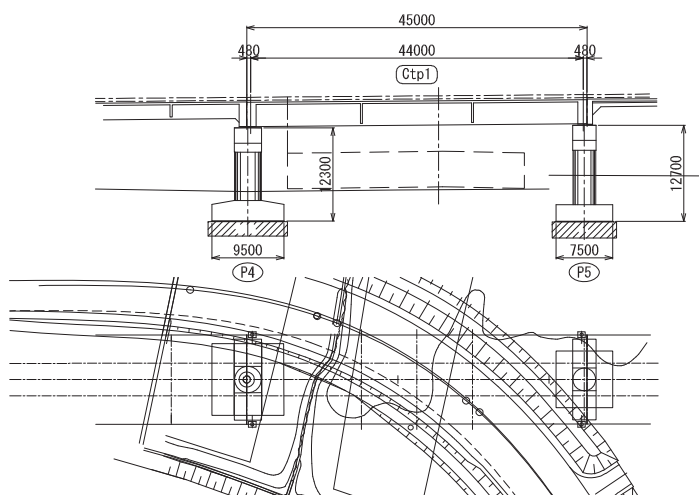
桜岱 17 号線 Bv (C2bp1)

- 形 式：馬桁一体型 2 径間連続箱桁
- 橋 長：82.000 m
- 支 間 割：40.250 + 40.250 m
- 施工基面幅：11.40 m
- 定着工法：フレシネー
- 発 注：鉄道・運輸機構北海道新幹線建設局
- 設 計：トーニチコンサルタンツ
- 施 工：西松・中山・新太平洋・和工 JV
- 完成年度：平成 25 年度
- 所 在 地：北斗市



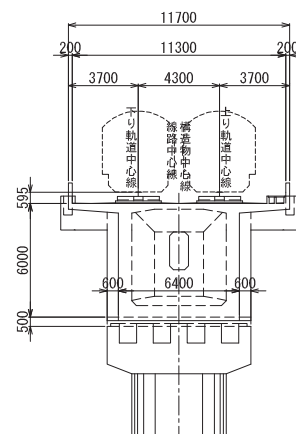
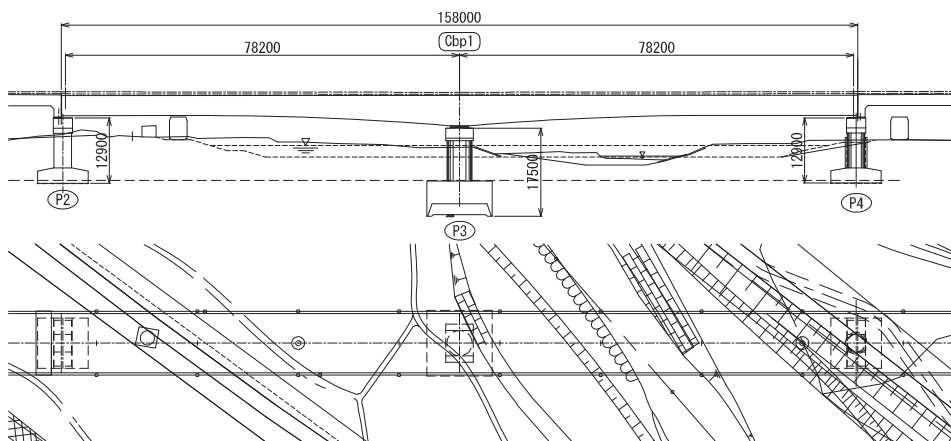
さくら たい ごう せん
桜岱 16 号線 Bv
(Ctp 1)

- 形 式：単純 T 桁橋
- 橋 長：45.000 m
- 支 間 割：44.000 m
- 施工基面幅：11.40 m
- 定着工法：フレシネー
- 発 注：鉄道・運輸機構北海道新幹線建設局
- 設 計：日本交通技術
- 施 工：日本高圧コンクリート
- 完成年度：平成 25 年度
- 所 在 地：北斗市



へ きり ち がわ
戸切地川 B (Cbp 1)

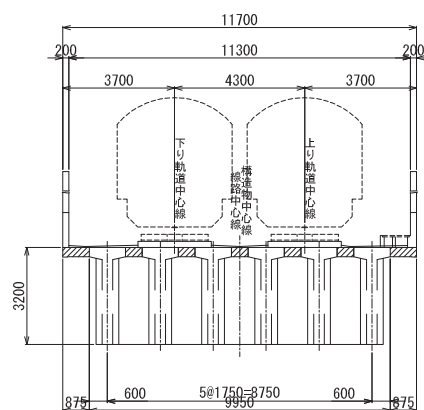
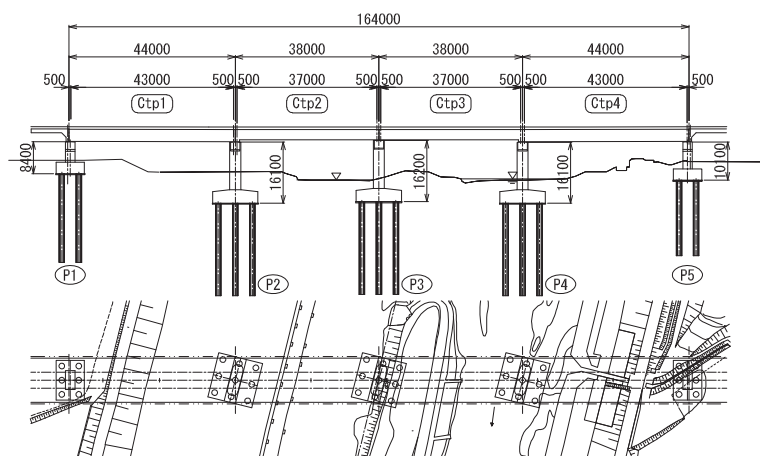
- 形 式：2 径間連続箱桁橋
- 橋 長：158.000 m
- 支 間 割：2@78.2 m
- 施工基面幅：11.30 m
- 定着工法：フレシネー
- 発 注：鉄道・運輸機構北海道新幹線建設局
- 設 計：日本交通技術
- 施 工：鴻池・本間・北土・工藤 JV
- 完成年度：平成 25 年度
- 所 在 地：北斗市



おお の がわ

大野川 B (Ctp 1~Ctp 4)

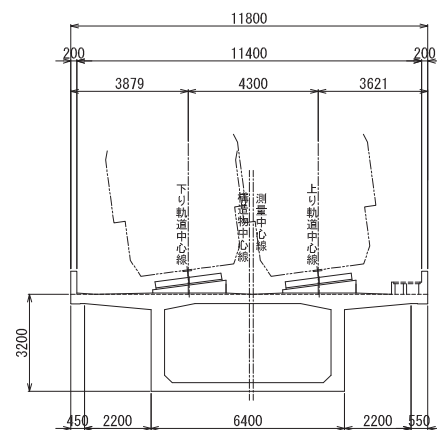
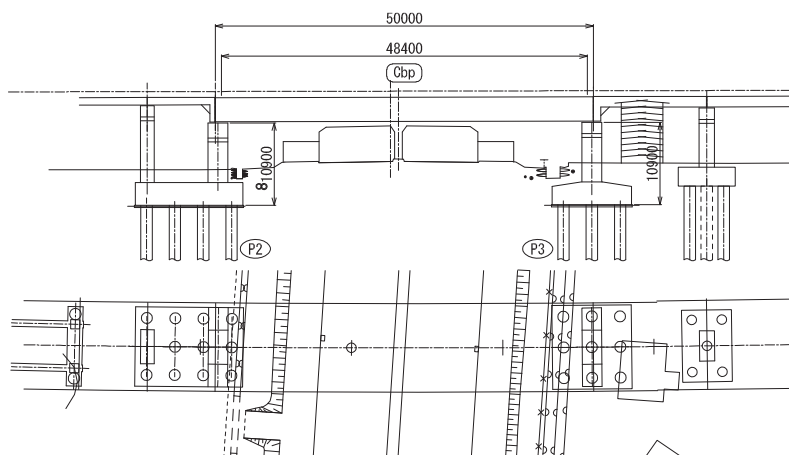
- 形 式：単純 T 桁橋
- 橋 長：164.000 m
- 支 間 割：43.0+37.0+37.0+43.0 m
- 施工基面幅：11.30 m
- 定着工法：フレシネー
- 発 注：鉄道・運輸機構北海道新幹線建設局
- 設 計：中央復建コンサルタンツ
- 施 工：鉄建・りんかい日産・吉川 JV
- 完成年度：平成 24 年度
- 所 在 地：北斗市



おお の しん どう

大野新道 Bv (Cbp)

- 形 式：単純箱桁橋
- 橋 長：50.000 m
- 支 間 割：48.400 m
- 施工基面幅：11.40 m
- 定着工法：フレシネー
- 発 注：鉄道・運輸機構北海道新幹線建設局
- 設 計：復建調査設計
- 施 工：東急・株木・泰進・廣野 JV
- 完成年度：平成 25 年度
- 所 在 地：北斗市



特集Ⅳ

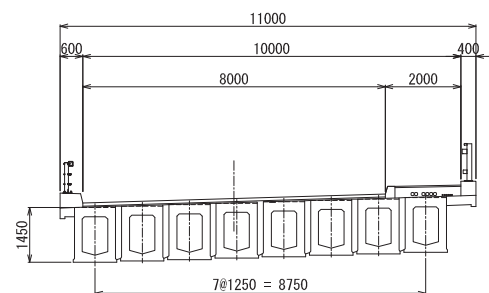
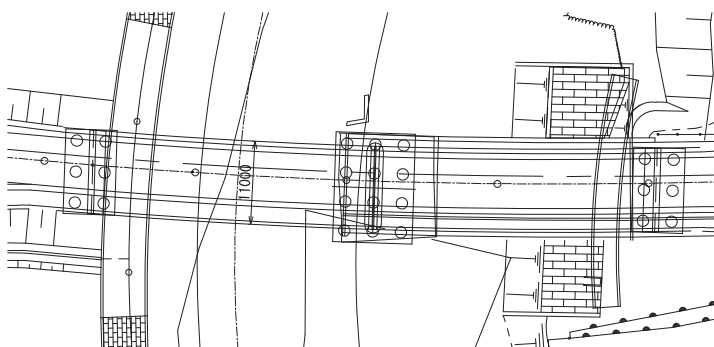
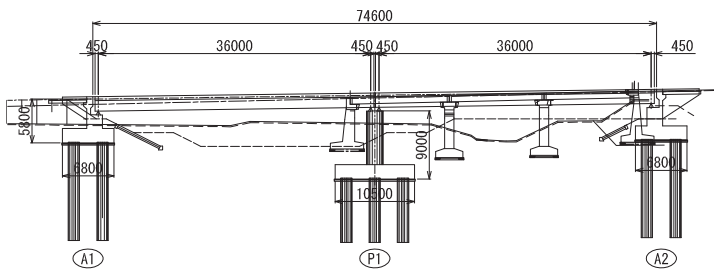
平成 28 年 8 月 北海道豪雨災害



平成 28 年 8 月、観測史上初めて 1 週間に 3 つの台風（7 号、11 号、19 号）が北海道に上陸し、さらにその後の台風 10 号の接近により道央・道東を中心に甚大な豪雨災害が発生した。被災橋梁のうち、国道 38 号清水町の 2 橋（小林橋・清見橋）および国道 274 号日高町の 3 橋（千呂露橋・岩瀬橋・大鷹橋）の復旧は、現場施工の省力化による工期短縮を可能とするプレキャストセグメント工法が採用された。

こ ばやし ばし 小林橋

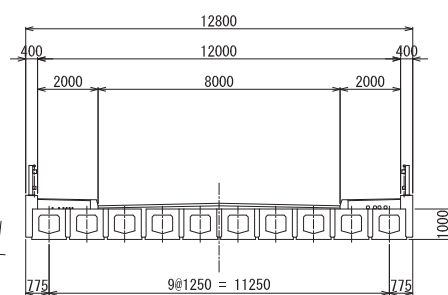
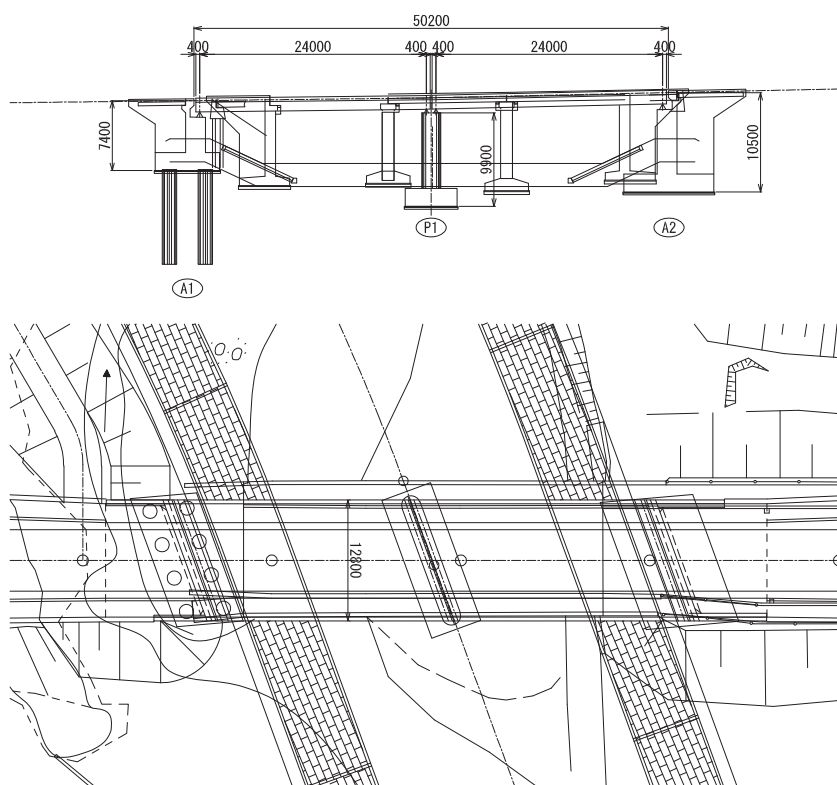
- 形 式：2 径間連結中空床版橋
(プレキャストセグメント桁)
- 橋 長：74.600 m
- 支 間 割：2@36.000 m
- 幅 員：10.000 m
(車道 8.000 m + 歩道 2.000 m)
- 定着工法：フレシネー
- 発 注：北海道開発局 帯広開発建設部
- 設 計：長大
- 施 工：オリエンタル白石
- 完成年度：平成 29 年度
- 所 在 地：上川郡清水町



きよ み ばし
清見橋

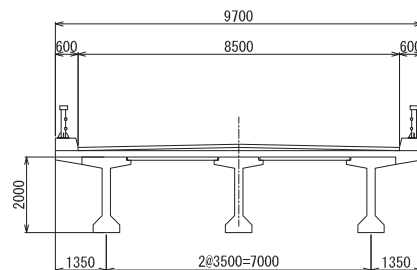
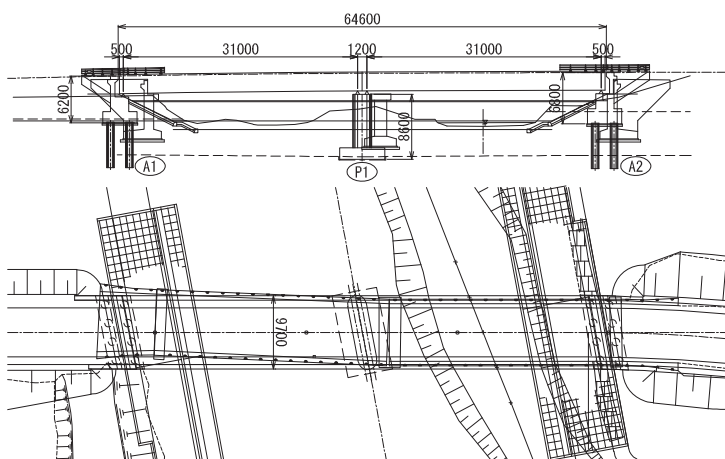


- 形 式：2 径間連結中空床版橋
(プレキャストセグメント桁)
- 橋 長：50.200 m
- 支 間 割：2@24.000 m
- 幅 員：12.000 m
(車道 8.000 m + 歩道 2*2.000 m)
- 定着工法：フレシナー
- 発 注：北海道開発局 帯広開発建設部
- 設 計：長大
- 施 工：ドービー建設工業
- 完成年度：平成 29 年度
- 所 在 地：上川郡清水町



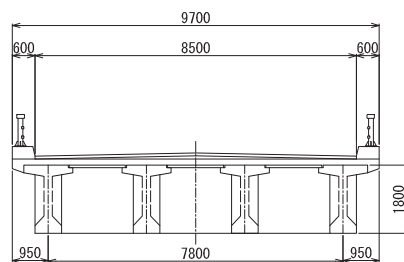
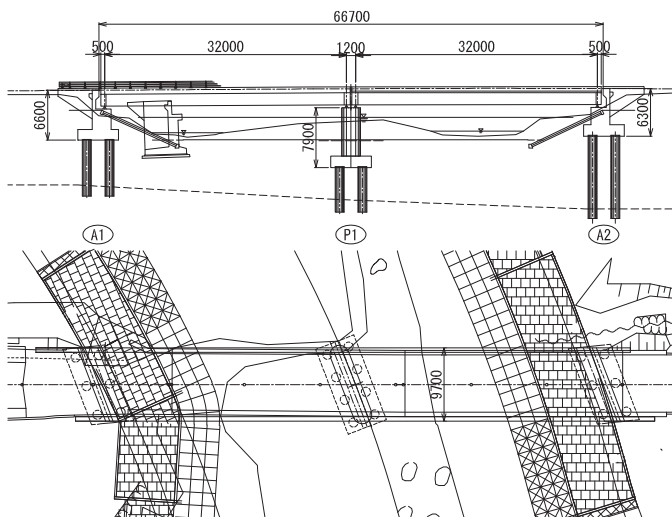
いわ せ ばし
岩瀬橋

- 形 式：2 径間連結コンボ橋
- 橋 長：64.600 m
- 支 間 割：2@31.000 m
- 幅 員：8.500 m
- 定着工法：フレシネー
- 発 注：北海道開発局 室蘭開発建設部
- 設 計：ドーコン
- 施 工：ドーピー建設工業・幌村建設
- 完成年度：平成 30 年度
- 所 在 地：沙流郡日高町



だい たい ばし
大庭橋

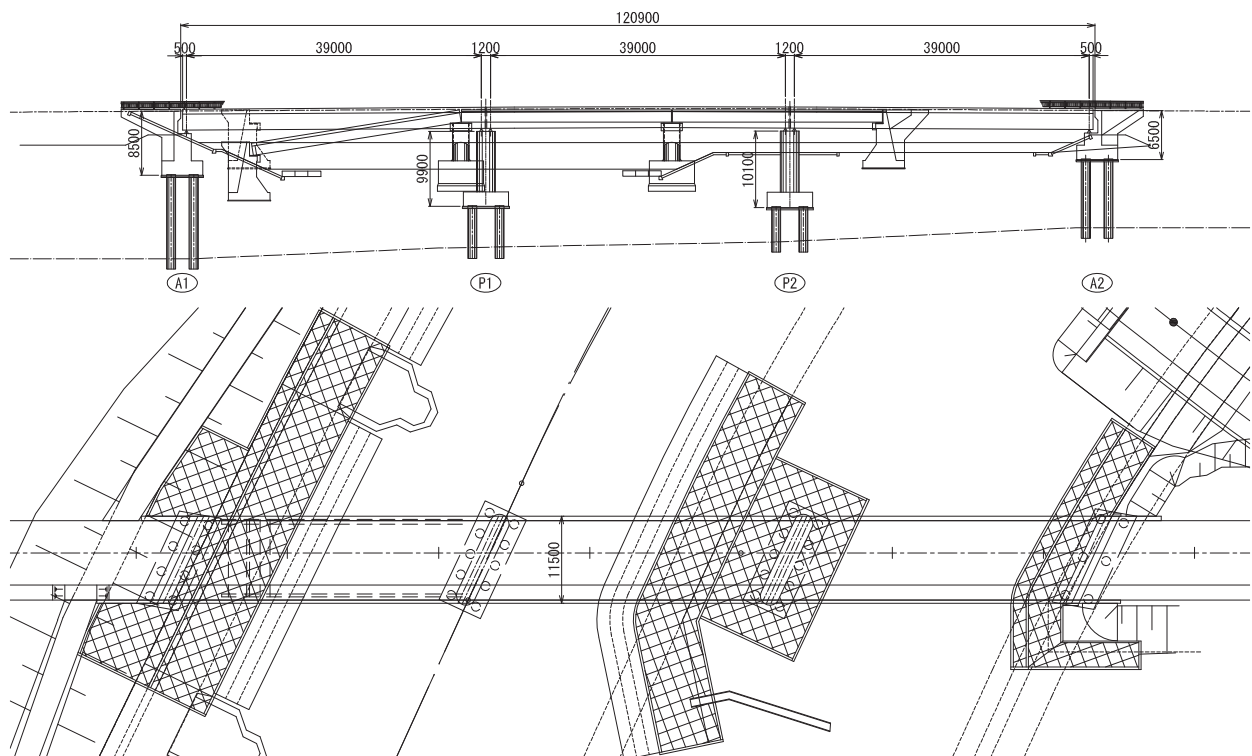
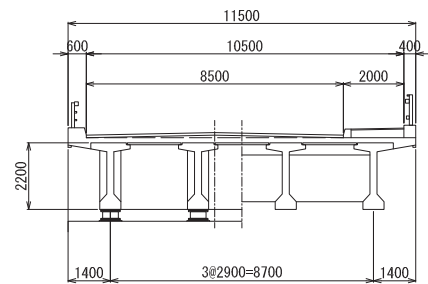
- 形 式：2 径間連結コンボ橋
- 橋 長：66.700 m
- 支 間 割：2@32.000 m
- 幅 員：8.500 m
- 定着工法：フレシネー
- 発 注：北海道開発局 室蘭開発建設部
- 設 計：開発工営社
- 施 工：ドーピー建設工業・遠藤組
- 完成年度：平成 30 年度
- 所 在 地：沙流郡日高町



ち ろ ろ ば し
千呂露橋



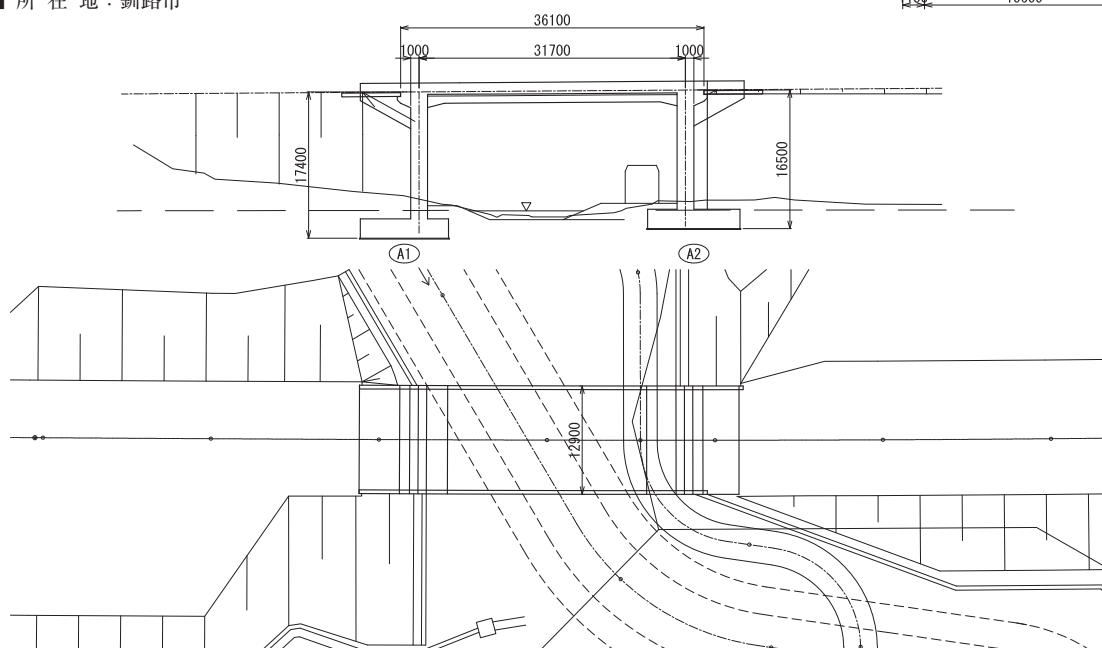
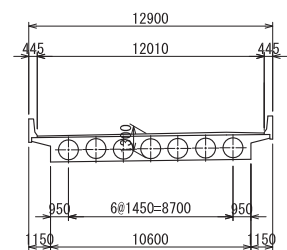
- 形 式：3 径間連結コンボ橋
- 橋 長：120.900 m
- 支 間 割：3@39.000 m
- 幅 員：10.500 m
(車道 8.500 m + 歩道 2.000 m)
- 定着工法：フレシナー
- 発 注：北海道開発局 室蘭開発建設部
- 設 計：構研エンジニアリング
- 施 工：日本高压コンクリート
・勝幸辰建設
- 完成年度：平成 30 年度
- 所 在 地：沙流郡日高町



う え ん べ つ が わ は し 宇 遠 別 川 橋



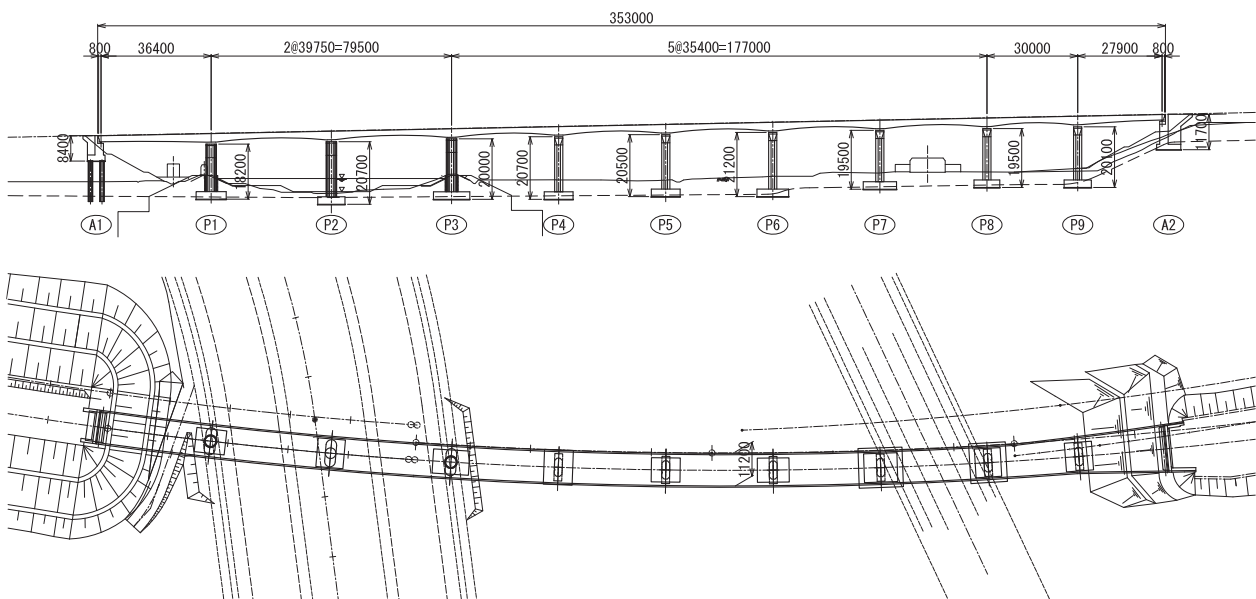
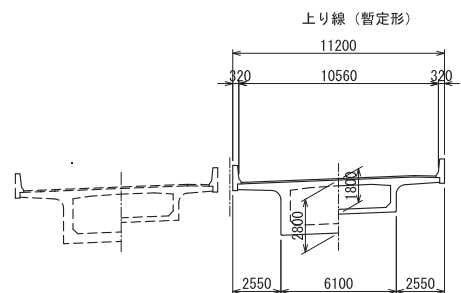
- 形 式：単純ポータルラーメン中空床版橋
- 橋 長：36.100 m
- 支 間 割：31.700 m
- 幅 員：12.010 m
- 定着工法：フレシネー
- 発 注：釧路開発建設部
- 設 計：パブリックコンサルタント
- 施 工：日本高圧コンクリート
- 完成年度：平成 22 年度
- 所 在 地：釧路市



しむ かつぶ ちゅう おう ばし
占 冠 中 央 橋



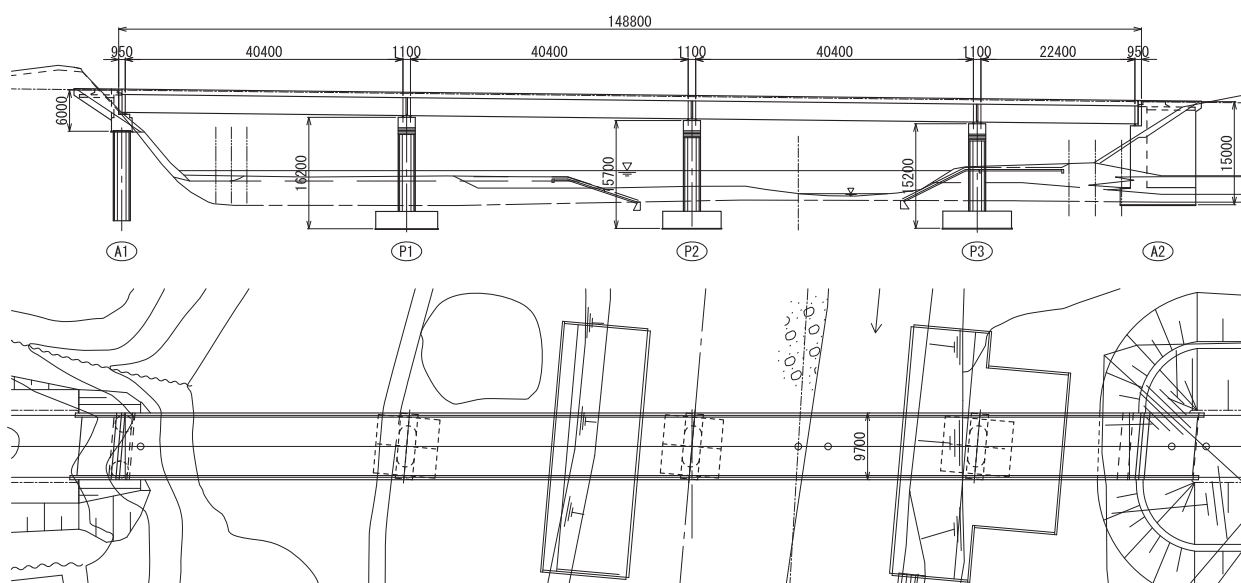
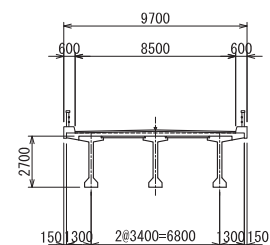
- 形 式：10 径間連続箱桁橋
- 橋 長：353.000 m
- 支 間 割：36.400 + 2@39.750 + 5@35.400 + 30.000 + 27.900 m
- 幅 員：10.560 m
- 定着工法：SEEE
- 発 注：NEXCO 東日本北海道支社
- 設 計：(基本) サンライズ
(詳細) ピーエス三菱
- 施 工：ピーエス三菱
- 完成年度：平成 22 年度
- 所 在 地：勇払郡占冠村



新 瑪 瑙 橋



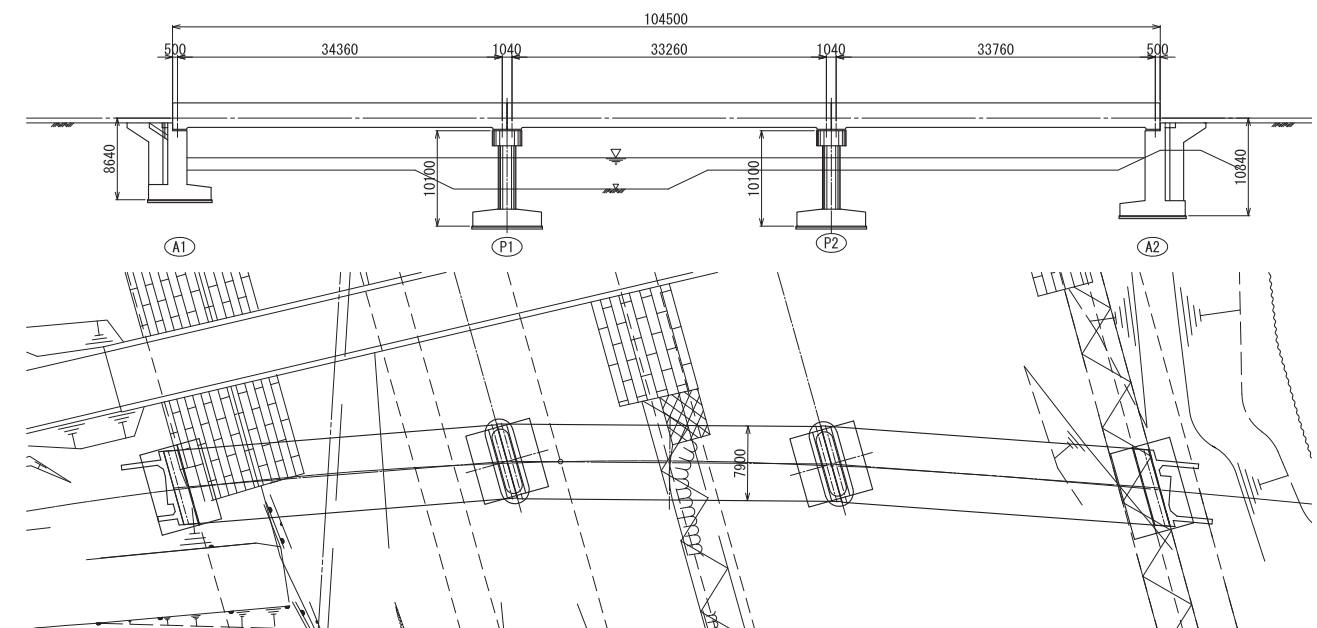
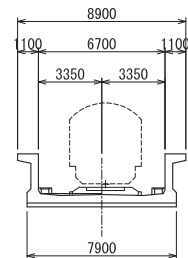
- 形 式：4 径間連結コンボ橋
- 橋 長：148.800 m
- 支 間 割：3@40.400 + 22.400 m
- 幅 員：8.500 m
- 定着工法：BBRV
- 発 注：函館開発建設部
- 設 計：ピーエス三菱
- 施 工：ピーエス三菱 ※設計施工一括方式
- 完成年度：平成 22 年度
- 所 在 地：瀬棚郡今金町



第 2 無 加 川 B



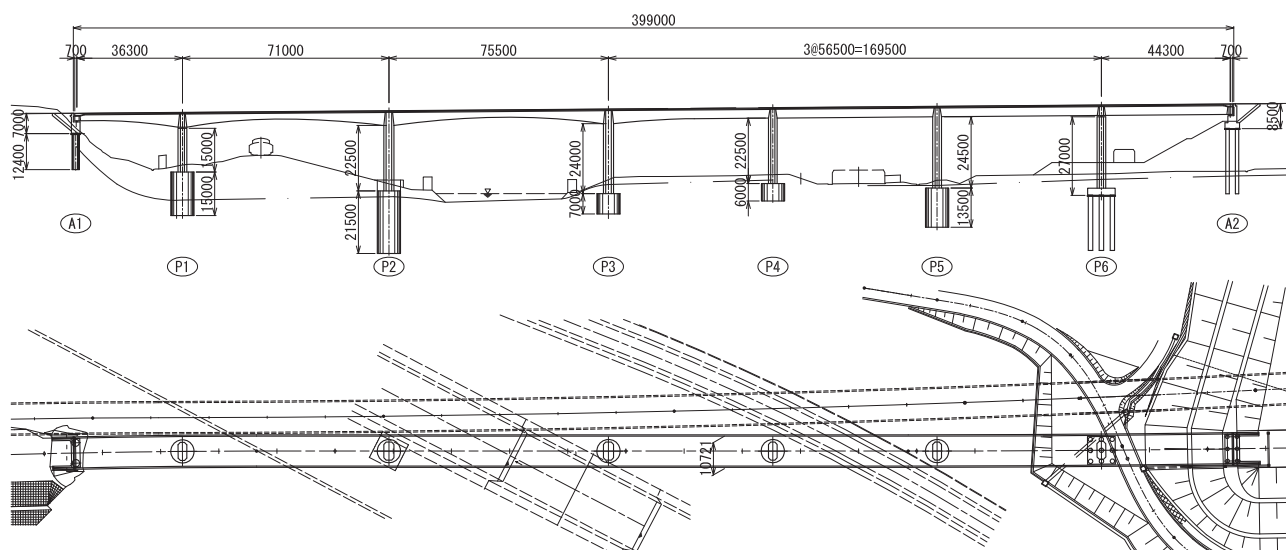
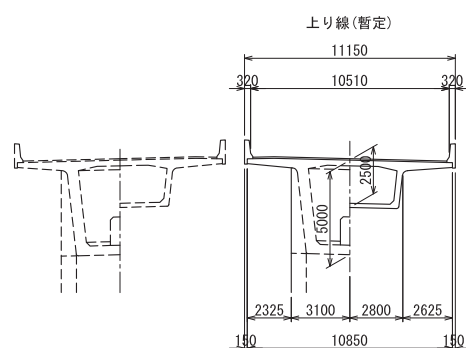
- 形 式：下路単純桁橋
- 橋 長：104.500 m
- 支 間 割：34.360 m, 33.260 m, 33.760 m
- 施工基面幅：6.700 m
- 定着工法：フレシネー
- 発 注：JR 北海道
- 設 計：ジェイアール北海道エンジニアリング
- 施 工：札幌工業
- 完成年度：平成 22 年度
- 所 在 地：北見市



ゆう ばり ばし 夕 張 み ら い 橋



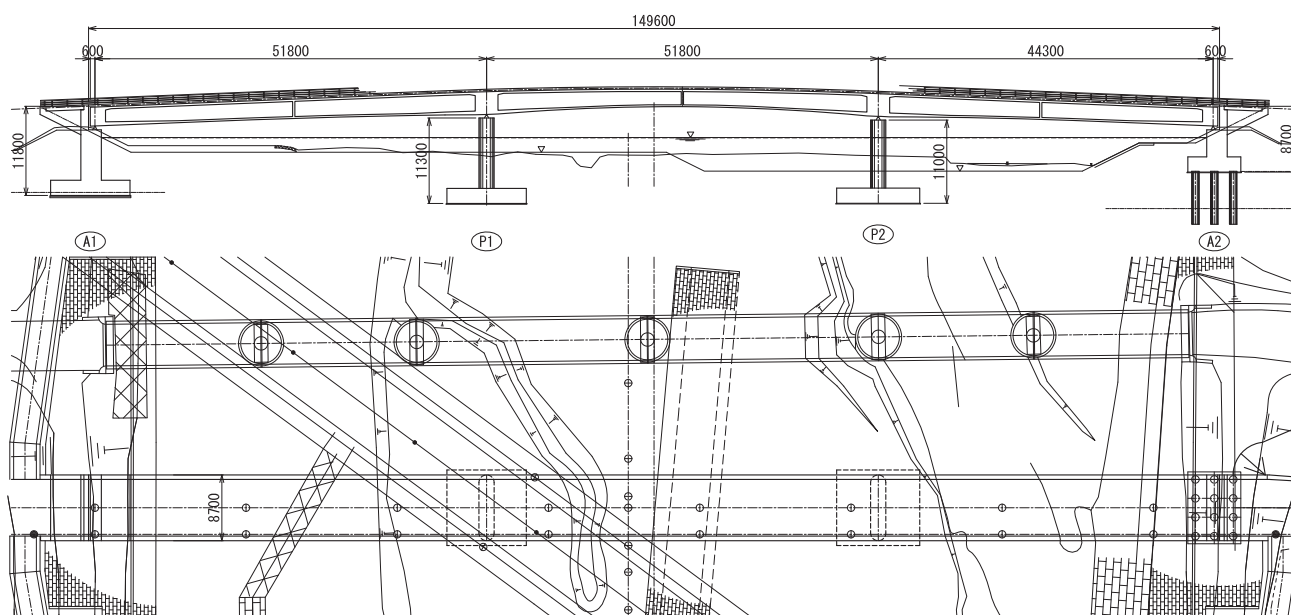
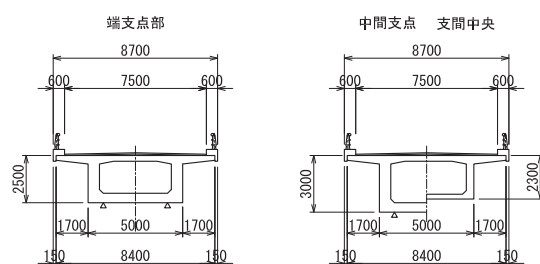
- 形 式：7 径間連続ラーメン箱桁橋
- 橋 長：399.000 m
- 支 間 割：36.300 + 71.000 + 75.500 + 3@56.500 + 44.300 m
- 幅 員：10.510 m
- 定着工法：SEEE
- 発 注：NEXCO 東日本北海道支社
- 設 計：(基本) 日本構造橋梁研究所
(詳細) 日本高圧コンクリート
- 施 工：日本高圧コンクリート
- 完成年度：平成 22 年度
- 所 在 地：夕張市



毛根中島橋



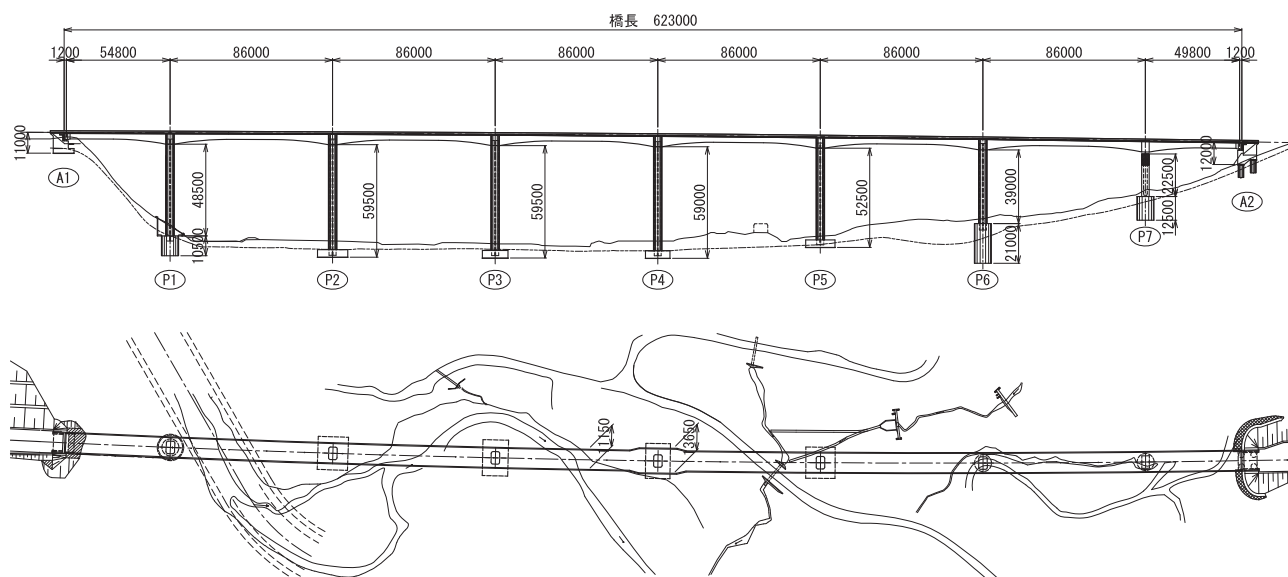
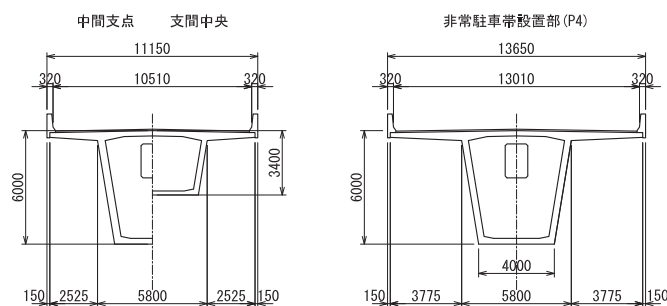
- 形 式：3 径間連続箱桁橋
- 橋 長：149.600 m
- 支 間 割：51.800 + 51.800 + 44.300 m
- 幅 員：7.500 m
- 定着工法：フレシネー
- 発 注：十勝総合振興局 産業振興部
- 設 計：帝国設計事務所
- 施 工：日本高压・宮坂経常 JV
- 完成年度：平成 23 年度
- 所 在 地：河西郡芽室町



さと おん べつ がわ ばし 里 音 別 川 橋



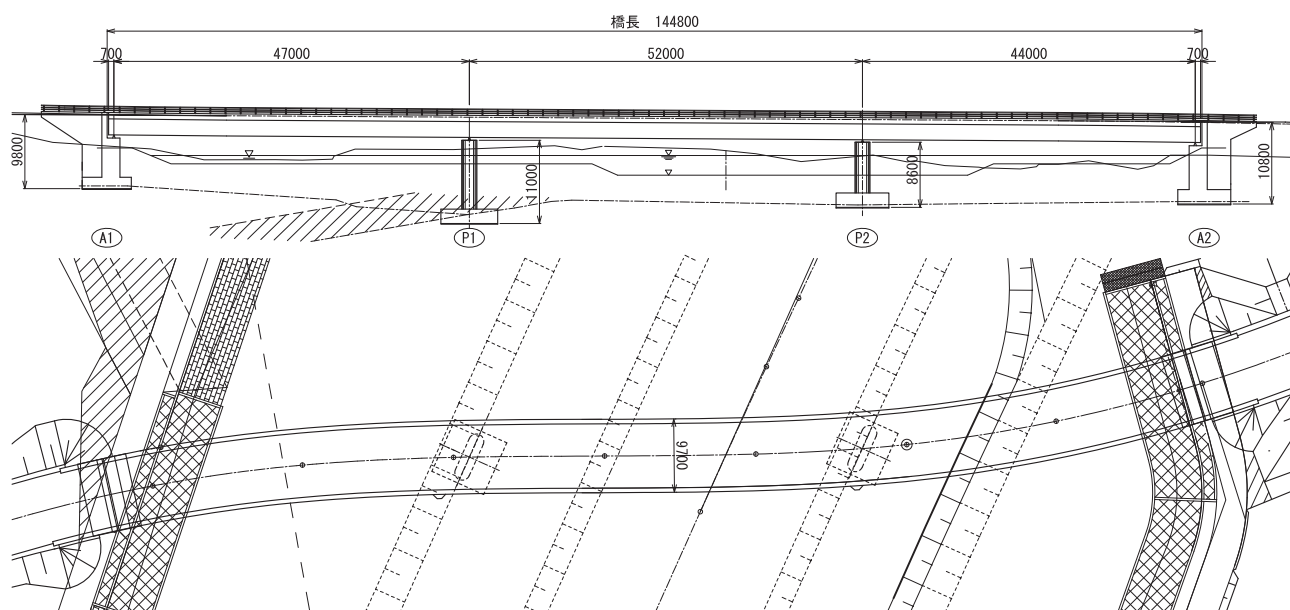
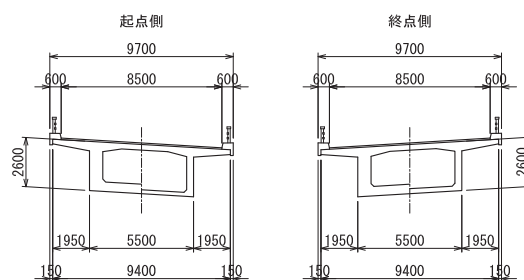
- 形 式：8 径間連続ラーメン箱桁橋
- 橋 長：623.000 m
- 支 間 割：54.800 + 6@86.000 + 49.800 m
- 幅 員：10.510 m
- 定着工法：ディビダーク
- 発 注：釧路開発建設部
- 設 計：(基本) 大日本コンサルタント
(詳細) 三井住友建設
- 施 工：三井住友建設
- 完成年度：平成 23 年度
- 所 在 地：釧路市



月 見 橋



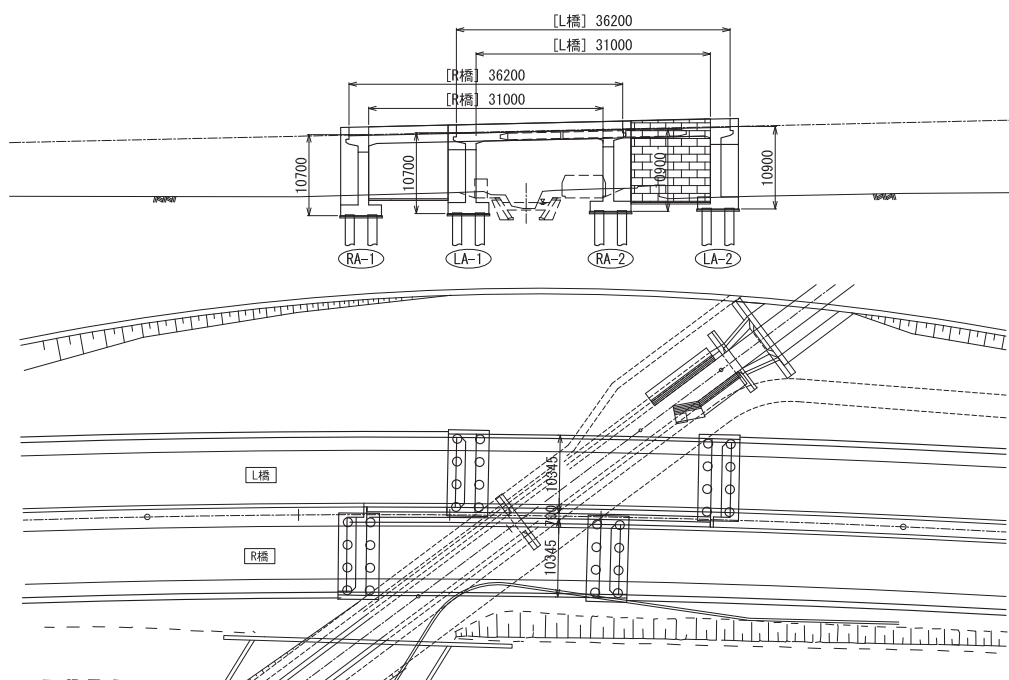
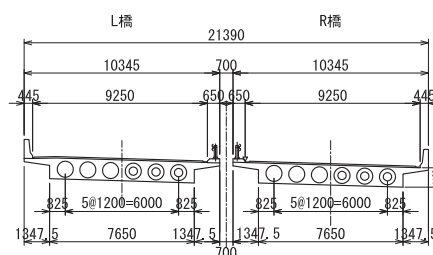
- 形 式：3 径間連続箱桁橋
- 橋 長：144.800 m
- 支 間 割：47.000 + 52.000 + 44.000 m
- 幅 員：8.500 m
- 定着工法：フレシネー
- 発 注：小樽開発建設部
- 設 計：近代設計
- 施 工：日本高压コンクリート
- 完成年度：平成 23 年度
- 所 在 地：余市郡赤井川村



ときわがわ 常盤川橋（上下線）



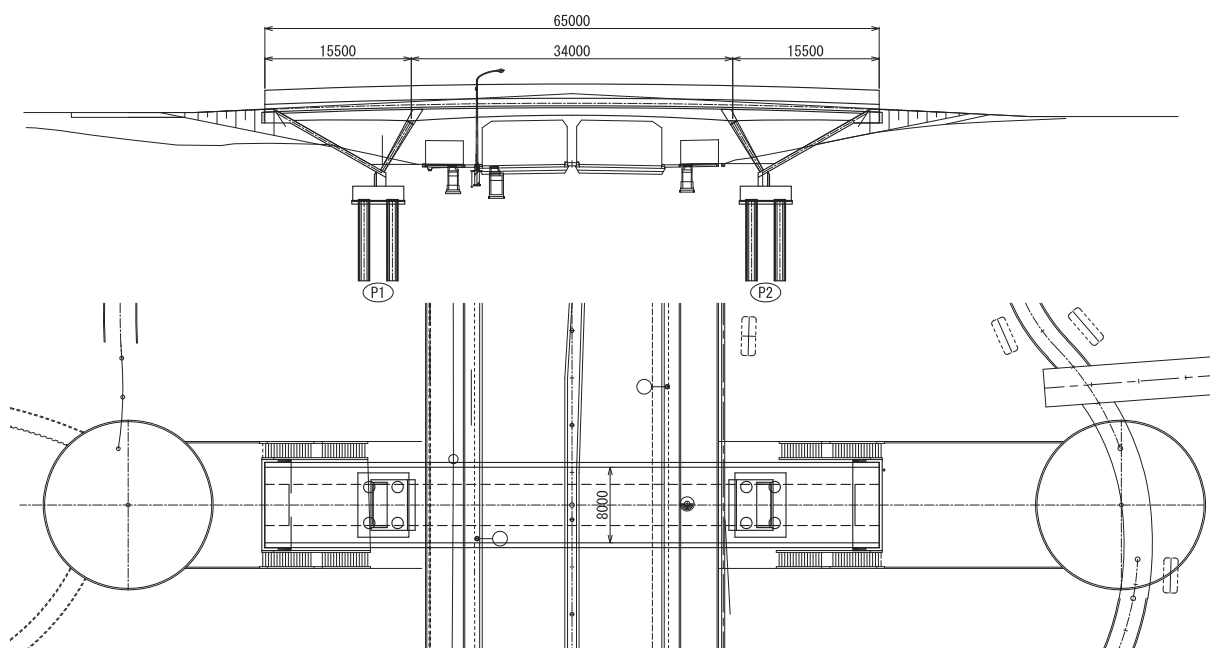
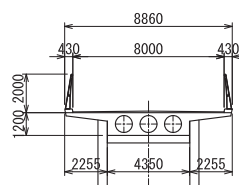
- 形 式：単純ポータルラーメン中空床版橋
- 橋 長：36.200 m
- 支 間 割：31.000 m
- 幅 員：9.250 m
- 定着工法：フレシネー
- 発 注：函館開発建設部
- 設 計：構研エンジニアリング
- 施 工：日本高圧コンクリート
- 完成年度：平成 23 年度
- 所 在 地：函館市



みなみ 南 じょう 6 どおり 条 おう 通 だん 横 きょう 断 橋



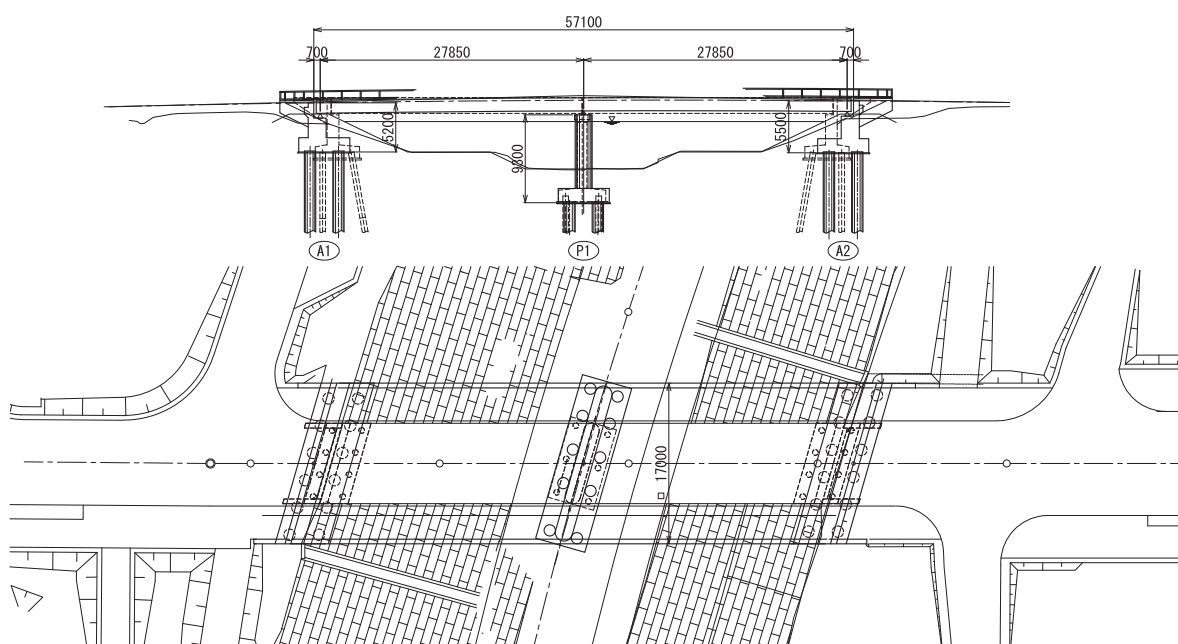
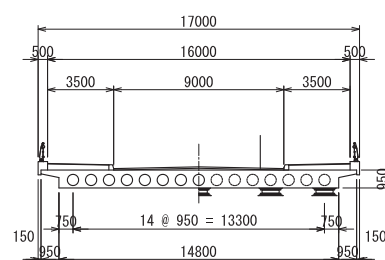
- 形 式：斜材付π型ラーメン中空床版橋
- 橋 長：65.000 m
- 支 間 割：15.500 + 34.000 + 15.500 m
- 幅 員：8.000 m
- 定着工法：フレシネー
- 発 注：旭川市
- 設 計：ドーコン・富士 JV
- 施 工：タカハタ・日本高压特定 JV
- 完成年度：平成 23 年度
- 所 在 地：旭川市



やま と はし 大 和 橋



- 形 式：2径間連続バイブル中空床版橋
- 橋 長：57.100 m
- 支 間 割：2@27.850 m
- 幅 員：16.000 m（車道 9.000 m + 歩道 2 * 3.500 m）
- 定着工法：フレシナー
- 発 注：札幌建設管理部
- 設 計：構研エンジニアリング
- 施 工：日本高圧・ドービー特定JV
- 完成年度：平成 23 年度
- 所 在 地：岩見沢市



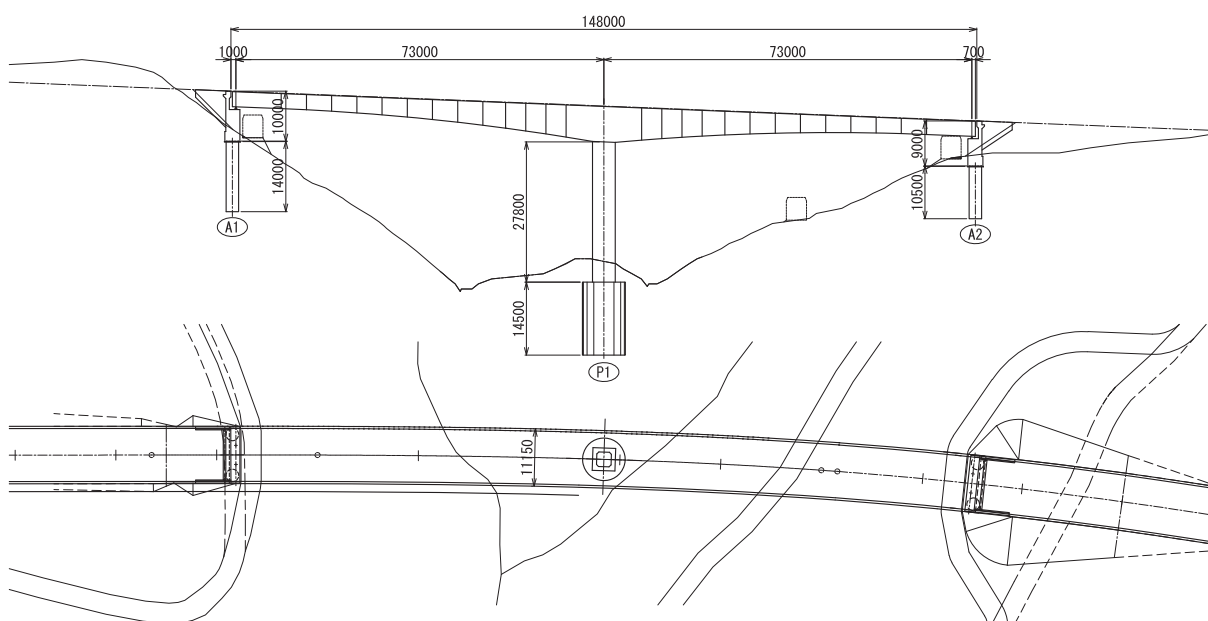
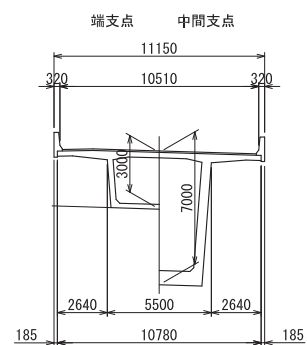
かい
開

せい
成

ばし
橋



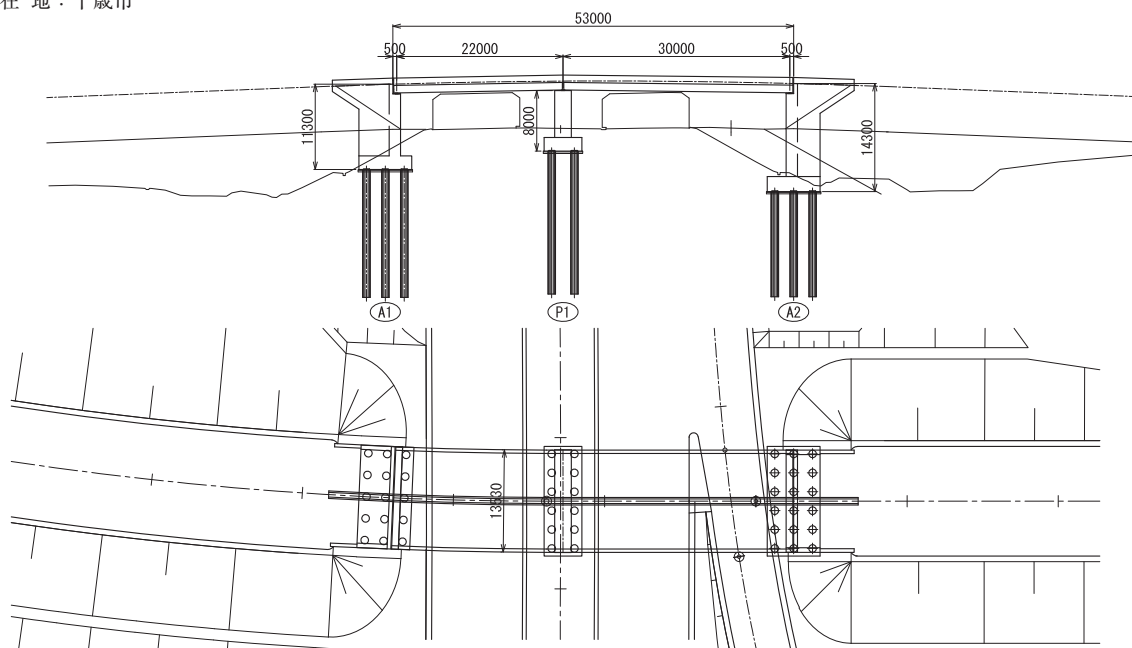
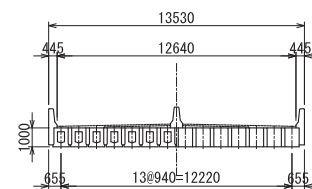
- 形 式：2 径間連続ラーメン箱桁橋
- 橋 長：148.000 m
- 支 間 割：2@73.000 m
- 幅 員：10.510 m
- 定着工法：フレシネー
- 発 注：網走開発建設部
- 設 計：オリエンタル白石・萩原 乙型経常 JV
- 施 工：オリエンタル白石・萩原 乙型経常 JV
※設計施工一括方式
- 完成年度：平成 24 年度
- 所 在 地：常呂郡訓子府町



新千歳空港 IC 橋



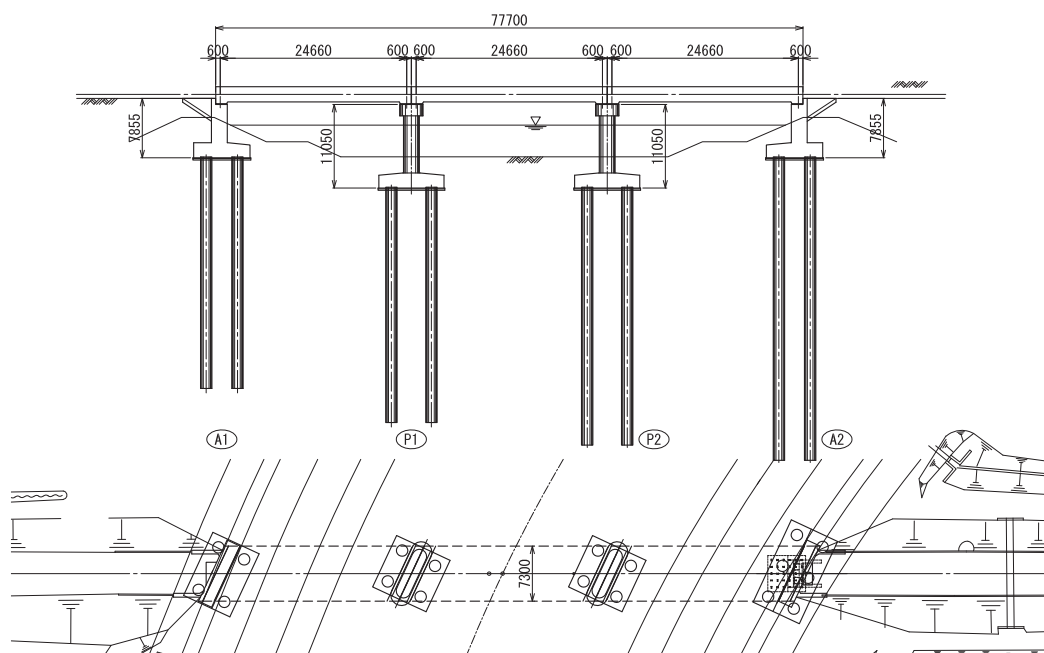
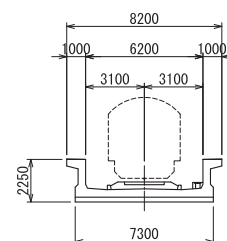
- 形 式：2 径間連続バイプレホロー桁橋
- 橋 長：53.000 m
- 支 間 割：22.000 + 30.000 m
- 幅 員：12.640 m
- 定着工法：SEEE
- 設計発注：札幌建設管理部
- 工事発注：NEXCO 東日本北海道支社
- 設 計：(基本) ドーコン
(詳細) 日本高圧コンクリート
- 施 工：日本高圧コンクリート
- 完成年度：平成 24 年度
- 所 在 地：千歳市



第 2 富 良 野 川 B



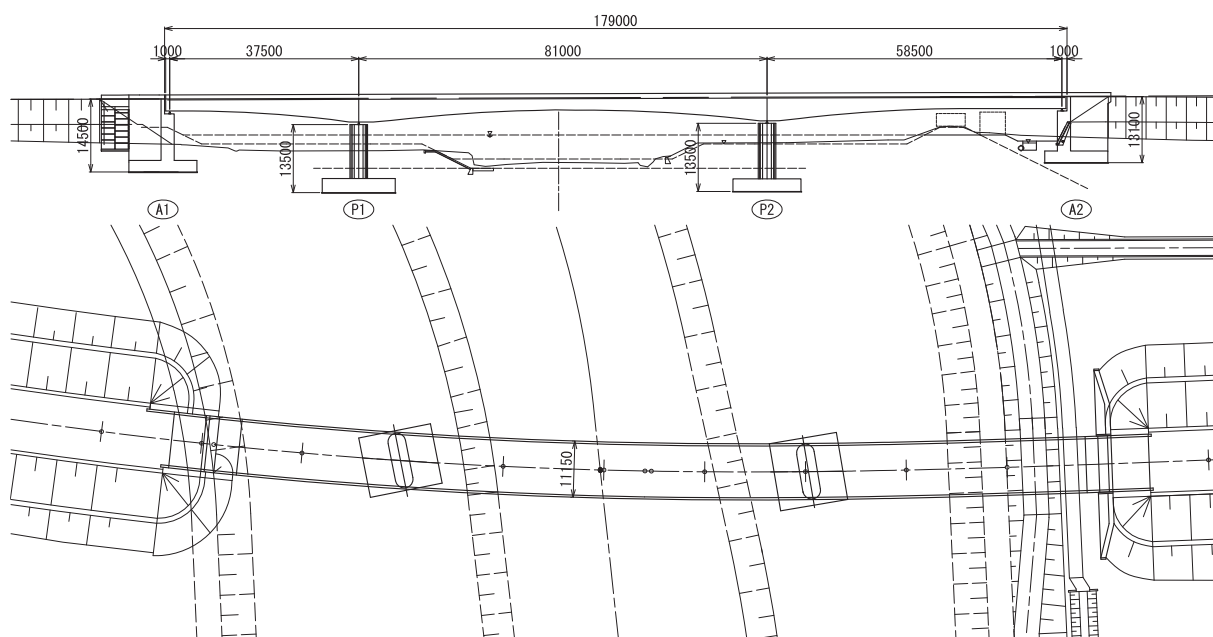
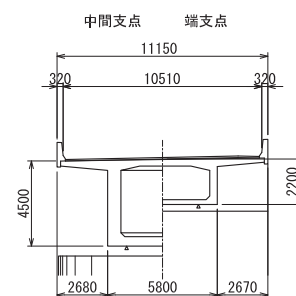
- 形 式：下路単純桁橋
- 橋 長：77.700 m
- 支 間 割：24.660 m, 24.660 m, 24.660 m
- 施工基面幅：6.200 m
- 定着工法：フレシネー
- 発 注：JR 北海道
- 設 計：ジェイアール北海道エンジニアリング
- 施 工：鉄建建設
- 完成年度：平成 24 年度
- 所 在 地：空知郡中富良野町



常川上ところ橋



- 形 式：3径間連続箱桁橋
- 橋 長：179.000 m
- 支 間 割：37.500 + 81.000 + 58.500 m
- 幅 員：10.510 m
- 定着工法：フレシネー
- 発 注：網走開発建設部
- 設 計：ドーコン
- 施 工：日本高圧コンクリート
- 完成年度：平成 24 年度
- 所 在 地：北見市



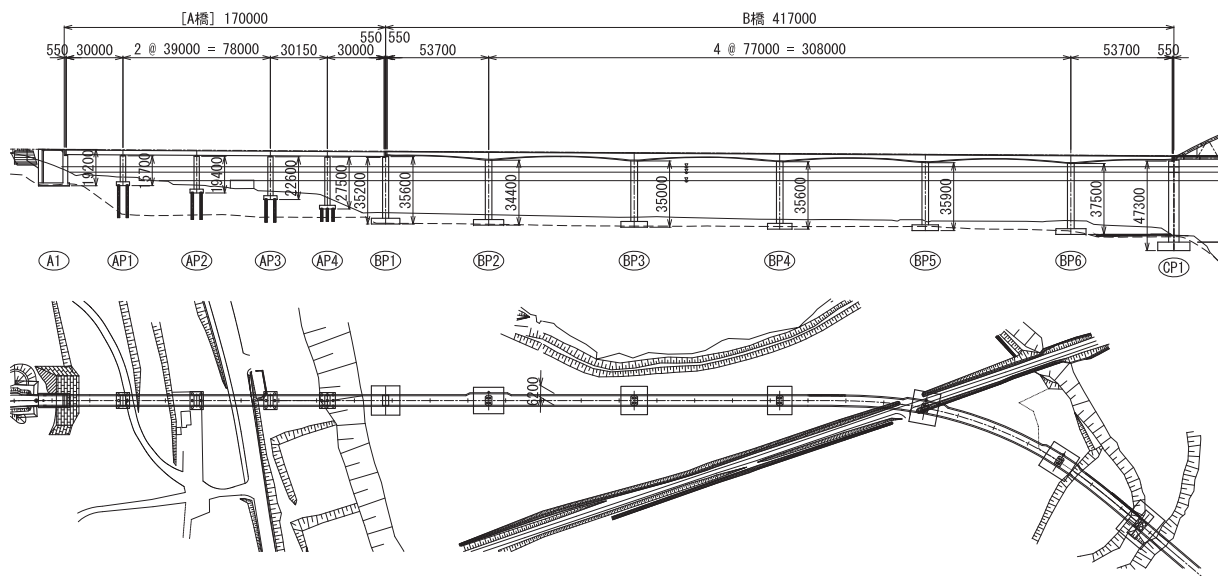
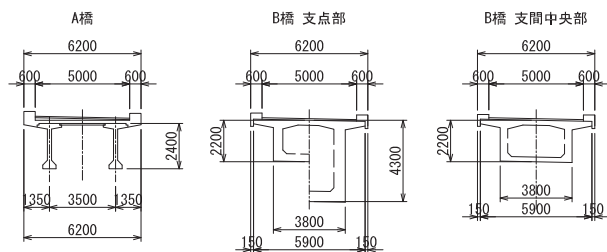
しろ
白

がね
銀

ばし
橋



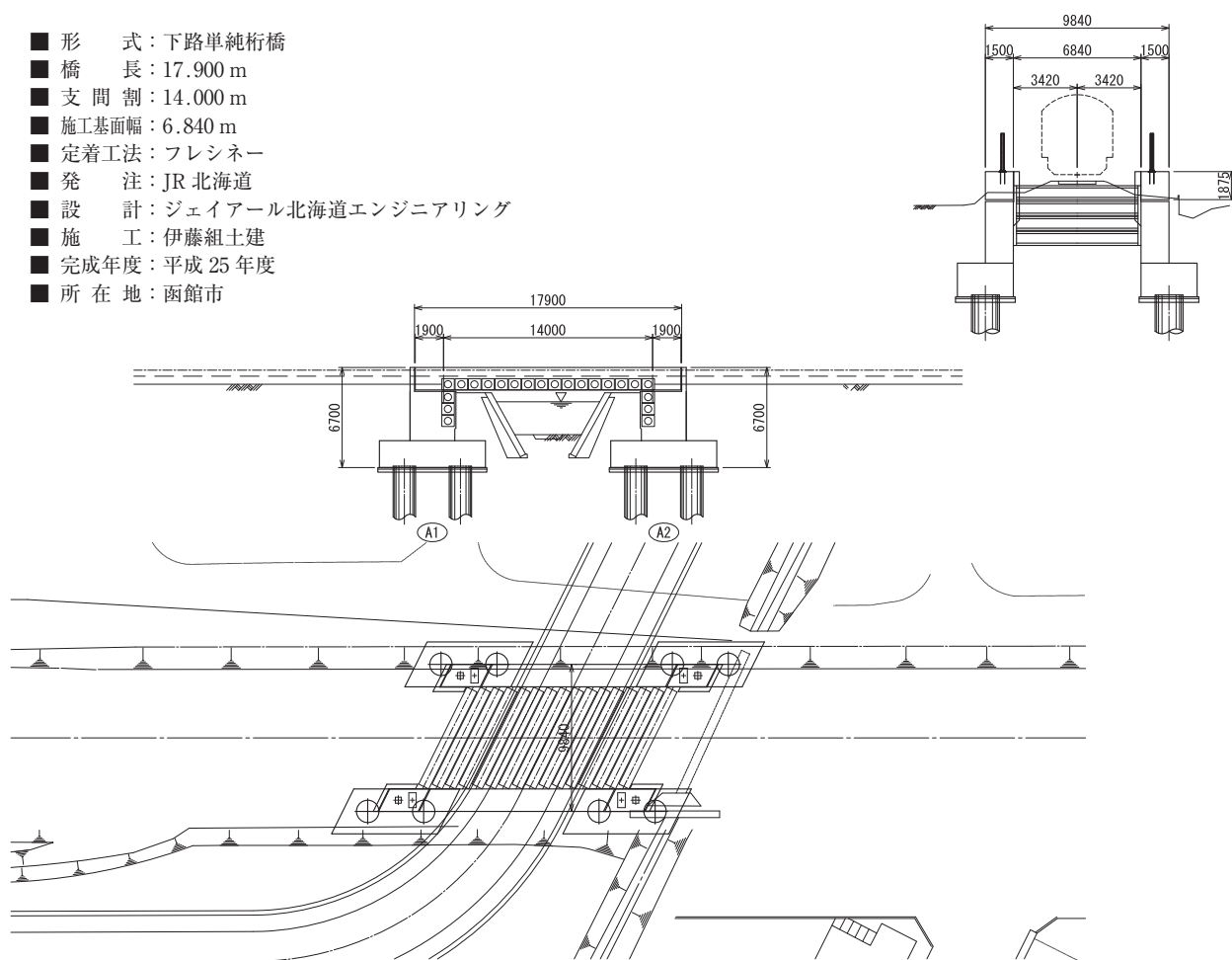
- 形 式：5 径間連結コンボ橋 + 6 径間連続ラーメン橋
- 橋 長：170.000 m + 417.000 m
- 支 間 割：A 橋：30.000 + 2@39.000 + 30.150 + 30.000 m
B 橋：53.700 + 4@77.000 + 53.700 m
- 幅 員：5.000 m
- 定着工法：フレシナー
- 発 注：札幌開発建設部
- 設 計：日本工営・北海道河川防災研究センター
- 施 工：ピーエス三菱
- 完成年度：平成 25 年度
- 所 在 地：夕張市



新 小 谷 地 川 B



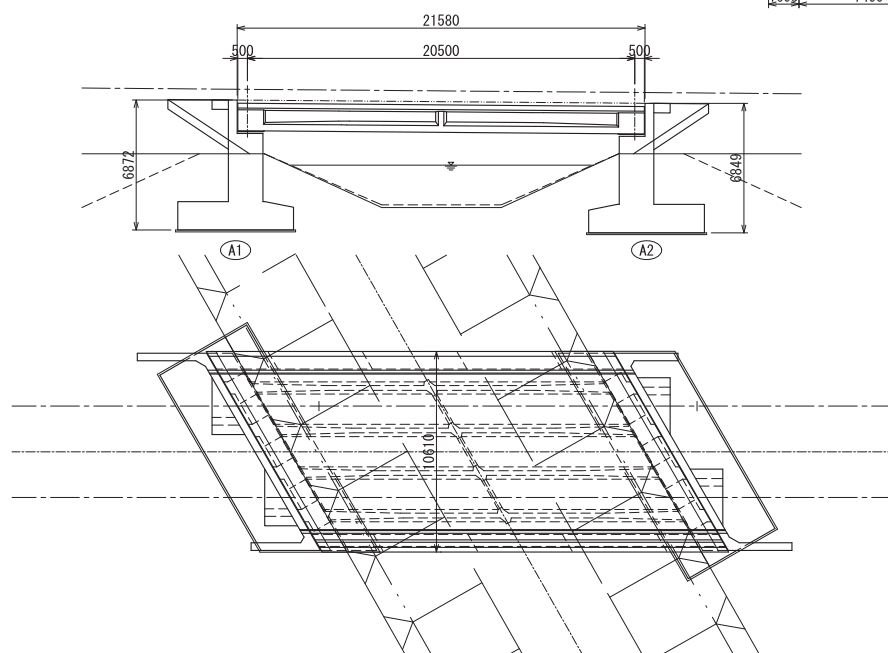
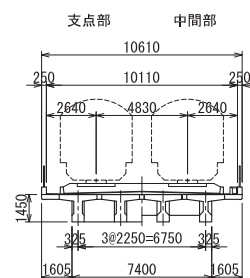
- 形 式：下路単純桁橋
- 橋 長：17.900 m
- 支 間 割：14.000 m
- 施工基面幅：6.840 m
- 定着工法：フレシネー
- 発 注：JR 北海道
- 設 計：ジェイアール北海道エンジニアリング
- 施 工：伊藤組土建
- 完成年度：平成 25 年度
- 所 在 地：函館市



滝江 5 号 B



- 形 式：I 型単純桁橋
- 橋 長：21.580 m
- 支 間 割：20.500 m
- 施工基面幅：10.110 m
- 定着工法：フレシナー
- 発 注：JR 北海道
- 設 計：日本交通技術
- 施 工：大林組
- 完成年度：平成 26 年度
- 所 在 地：滝川市



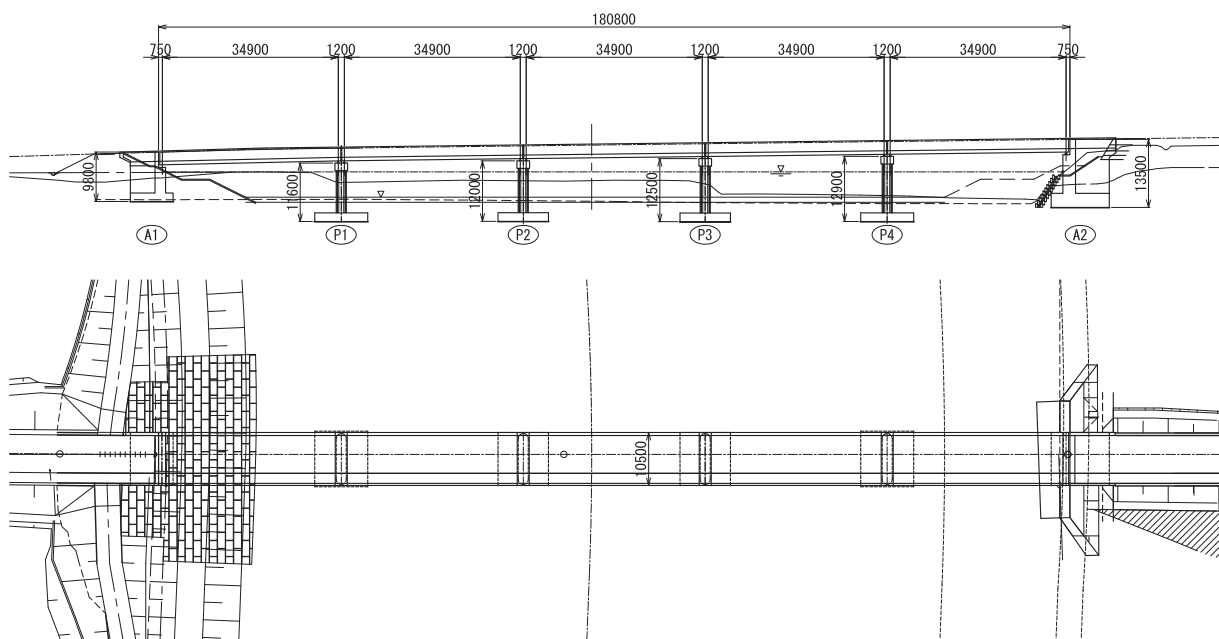
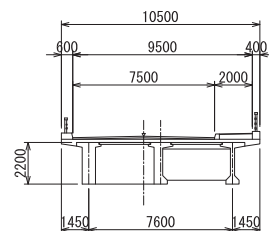
ほう
豊

えい
栄

はし
橋



- 形 式：5 径間連結コンボ橋
- 橋 長：180.800 m
- 支 間 割：5@34.900 m
- 幅 員：9.500 m（車道 7.500 m + 歩道 2.000 m）
- 定着工法：フレシネー
- 発 注：帯広建設管理部
- 設 計：北海道土木設計
- 施 工：日本高圧・野田経常 JV
日本高圧コンクリート
- 完成年度：平成 26 年度
- 所 在 地：足寄郡足寄町



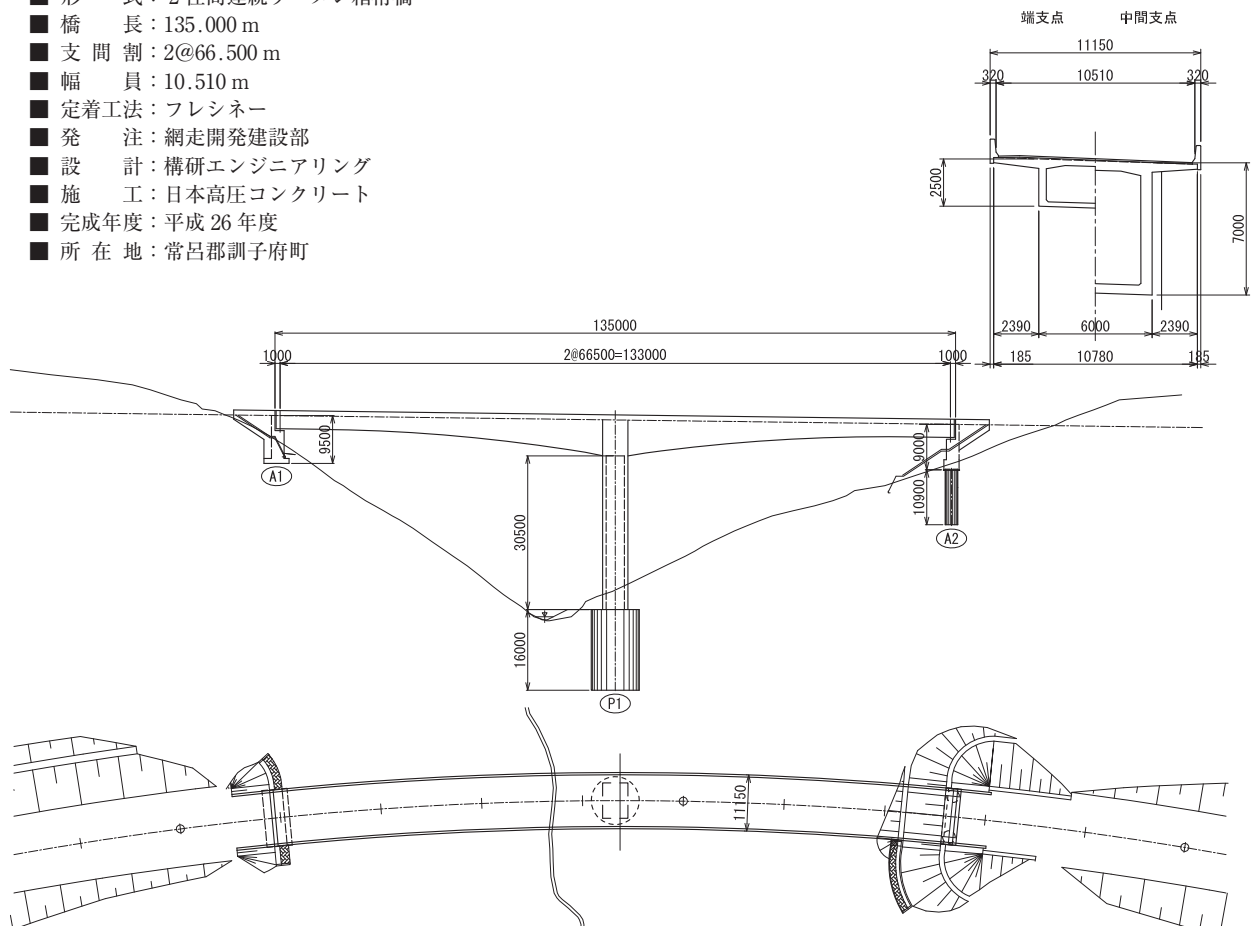
美

その園

橋



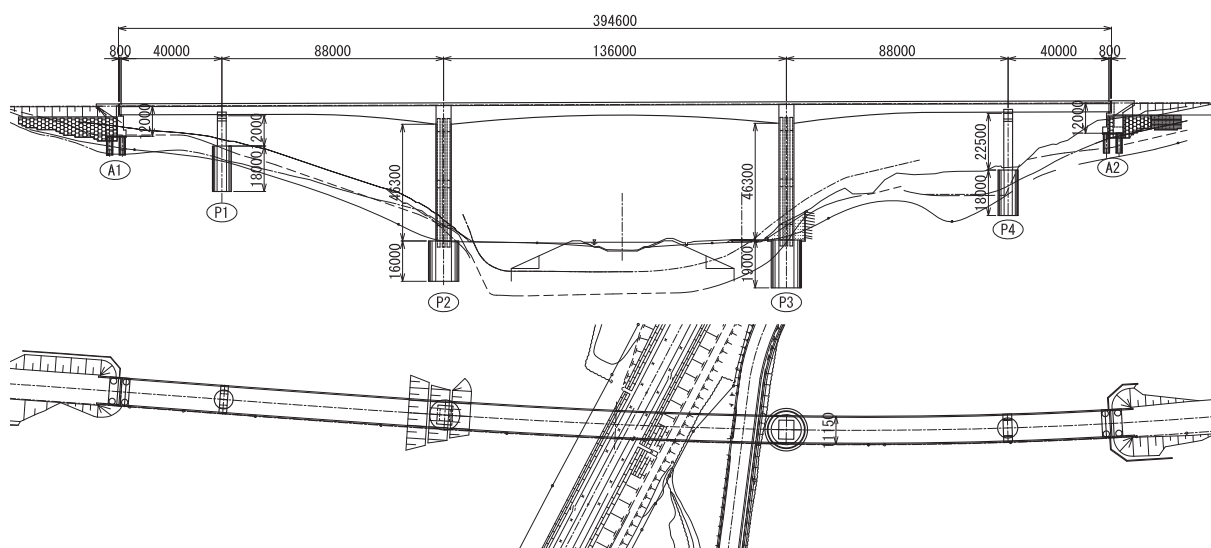
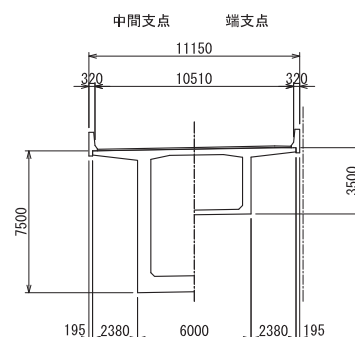
- 形 式：2径間連続ラーメン箱桁橋
- 橋 長：135.000 m
- 支 間 割：2@66.500 m
- 幅 員：10.510 m
- 定着工法：フレシネー
- 発 注：網走開発建設部
- 設 計：構研エンジニアリング
- 施 工：日本高圧コンクリート
- 完成年度：平成 26 年度
- 所 在 地：常呂郡訓子府町



オビラシケ川橋



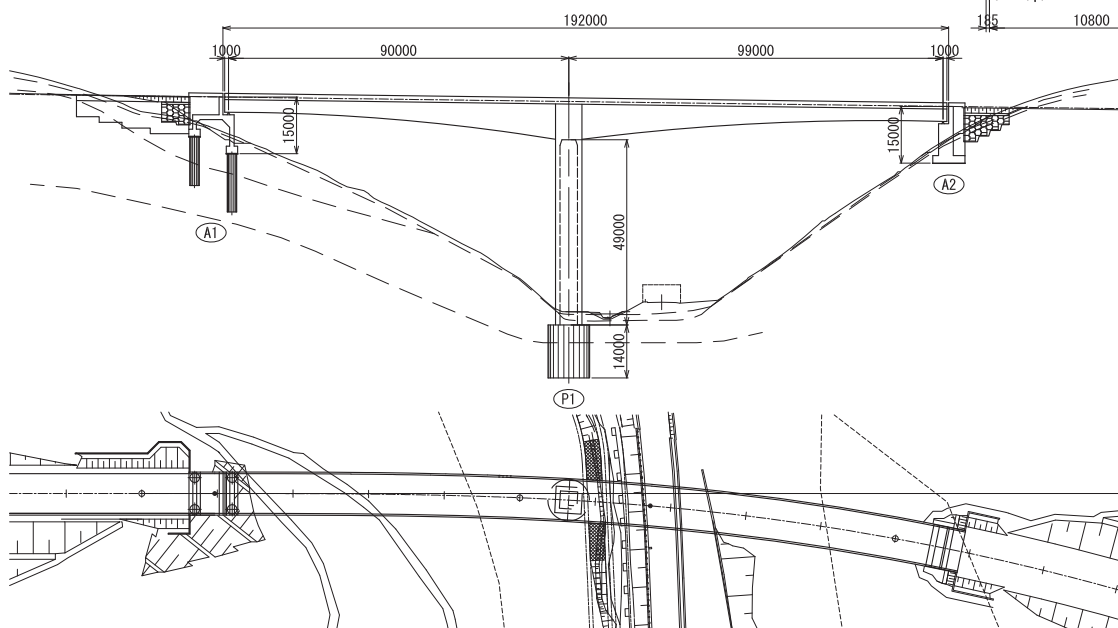
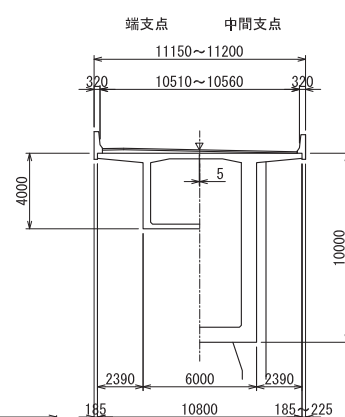
- 形 式：5 径間連続ラーメン箱桁橋
- 橋 長：394.600 m
- 支 間 割：40.000 + 88.000 + 136.000 + 88.000 + 40.000 m
- 幅 員：10.510 m
- 定着工法：フレシナー
- 発 注：釧路開発建設部
- 設 計：中央コンサルタンツ
- 施 工：オリエンタル白石
- 完成年度：平成 27 年度
- 所 在 地：釧路郡釧路町



だい いち かわ はし
第一ポンケトナイ川橋



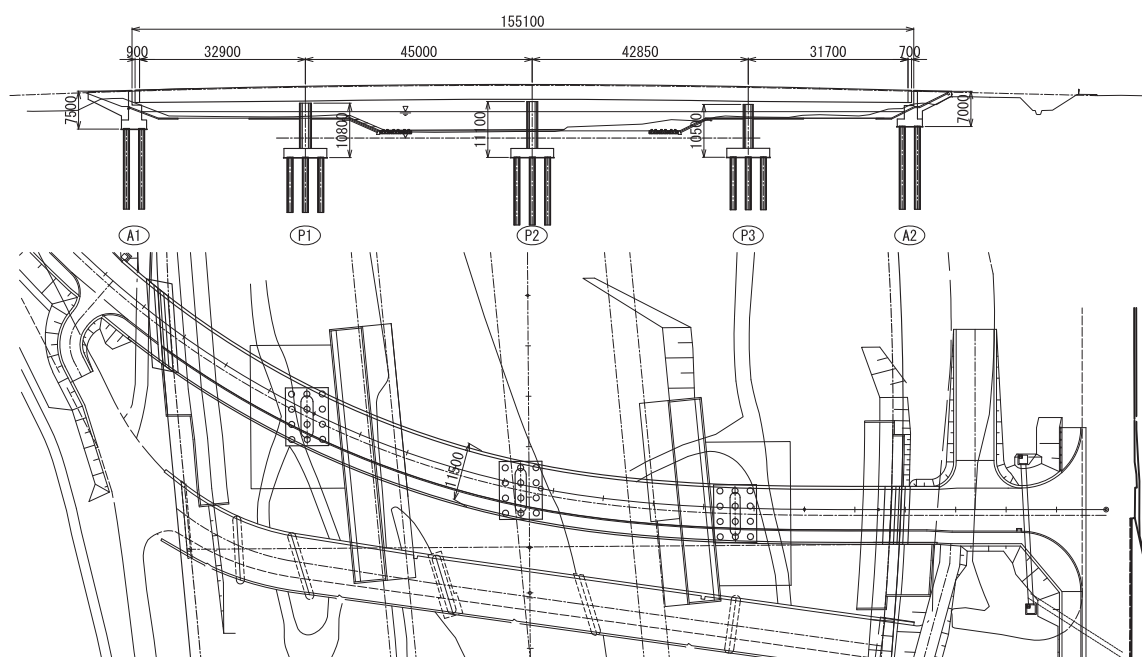
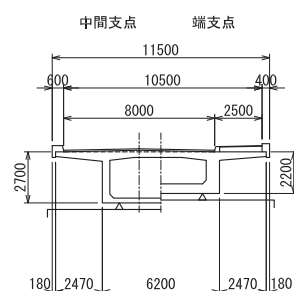
- 形 式：2 径間連続 T ラーメン箱桁橋
- 橋 長：192.000 m
- 支 間 割：90.000 + 99.000 m
- 幅 員：10.510 ~ 10.560 m
- 定着工法：VSL
- 発 注：網走開発建設部
- 設 計：長大
- 施 工：大成建設
- 完成年度：平成 27 年度
- 所 在 地：常呂郡訓子府町



大 正 橋



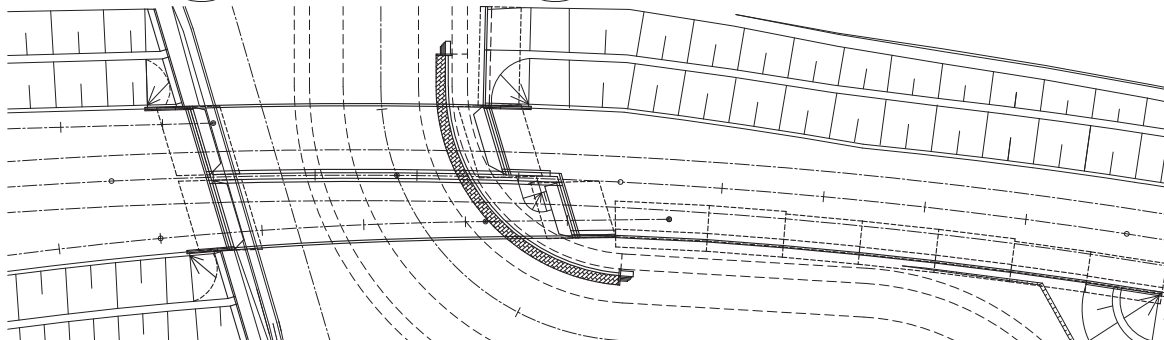
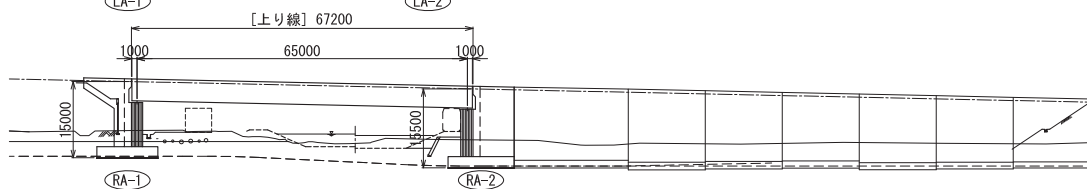
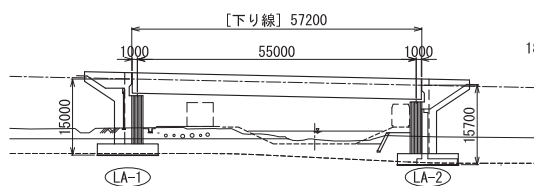
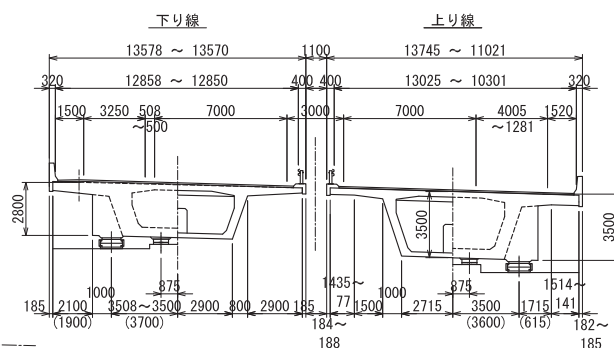
- 形 式：4 径間連続箱桁橋
- 橋 長：155.100 m
- 支 間 割：32.900 + 45.000 + 42.850 + 31.700 m
- 幅 員：10.500 m（車道 8.000 m + 歩道 2.500 m）
- 定着工法：フレシネー
- 発 注：小樽建設管理部
- 設 計：ダイシン設計
- 施 工：吉本・日本高圧 JV
吉本・日本高圧・工藤 JV
- 完成年度：平成 27 年度
- 所 在 地：余市郡赤井川村



ささ ながれ ばし じょうげ せん 笹 流 橋 (上下線)



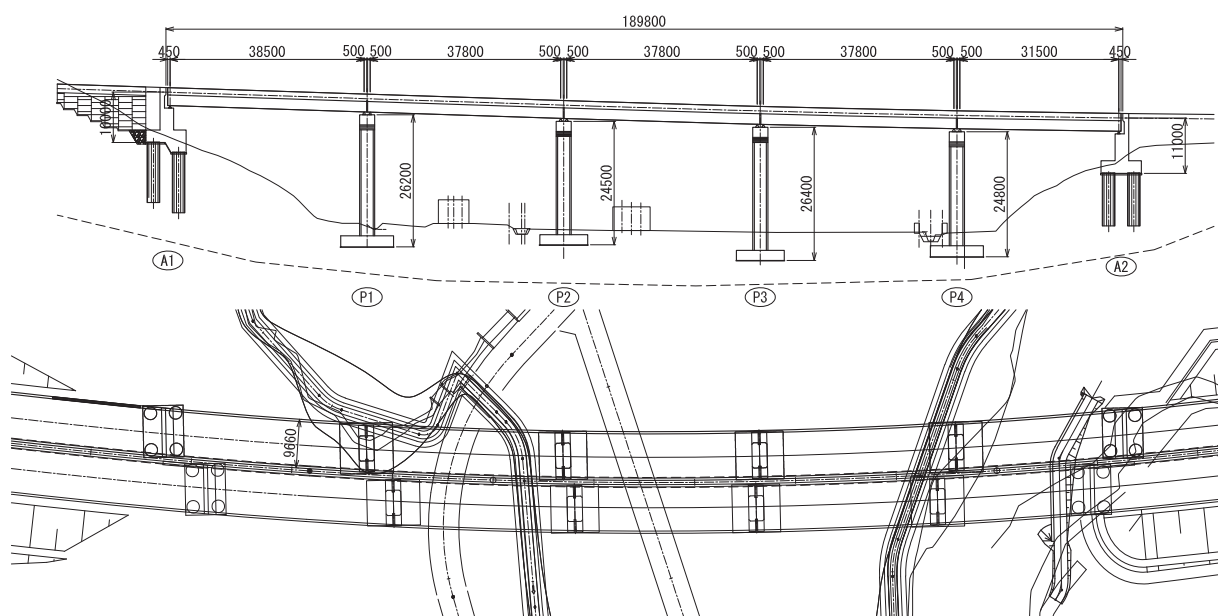
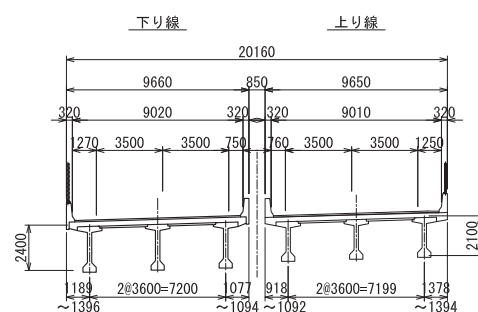
- 形 式：単純箱桁橋
- 橋 長：(上り線) 67.200 m, (下り線) 57.200 m
- 支 間 割：(上り線) 65.000 m, (下り線) 55.000 m
- 幅 員：(上り線) 13.025~10.301 m
(下り線) 12.858~12.850 m
- 定着工法：フレシナー
- 発 注：函館開発建設部
- 設 計：構研エンジニアリング
- 施 工：ドーピー建設工業
- 完成年度：平成 29 年度
- 所 在 地：函館市



ひがし やま おお はし くだ せん
東 山 大 橋 (下り線)



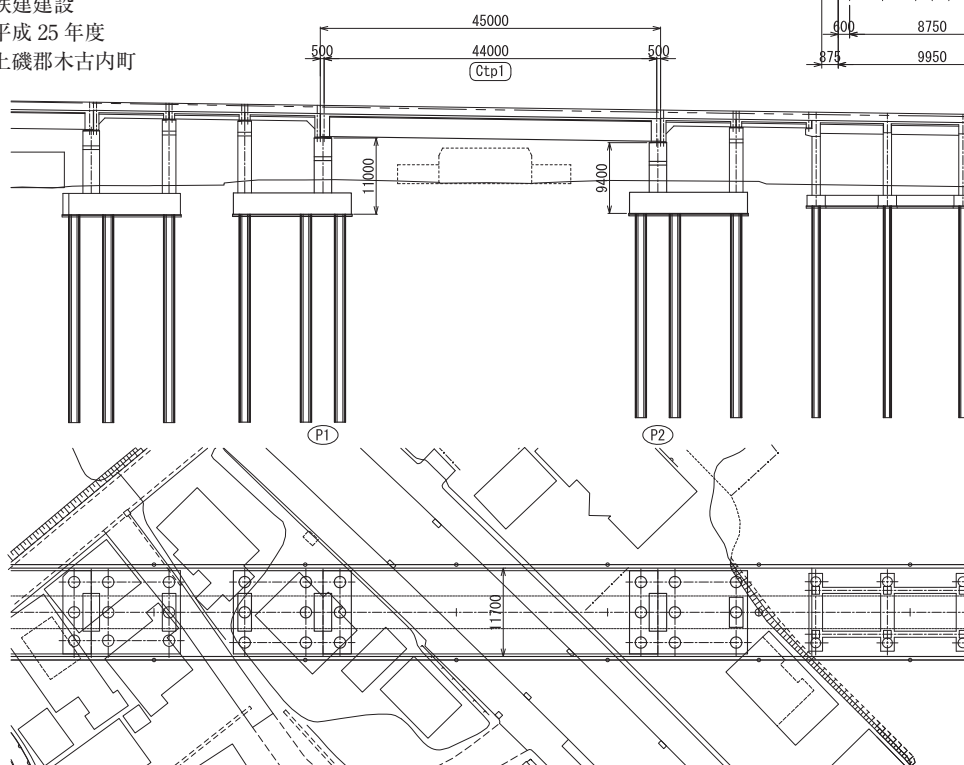
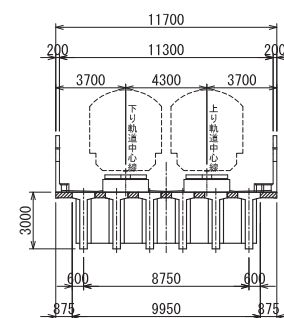
- 形 式：5 径間連結コンボ橋
- 橋 長：189.800 m
- 支 間 割：38.500 + 3@37.800 + 31.500 m
- 幅 員：9.020 m
- 定着工法：フレシナー
- 発 注：函館開発建設部
- 設 計：構研エンジニアリング
- 施 工：日本高圧コンクリート
- 完成年度：平成 29 年度
- 所 在 地：函館市



木古内 Bv (Ctp 1)



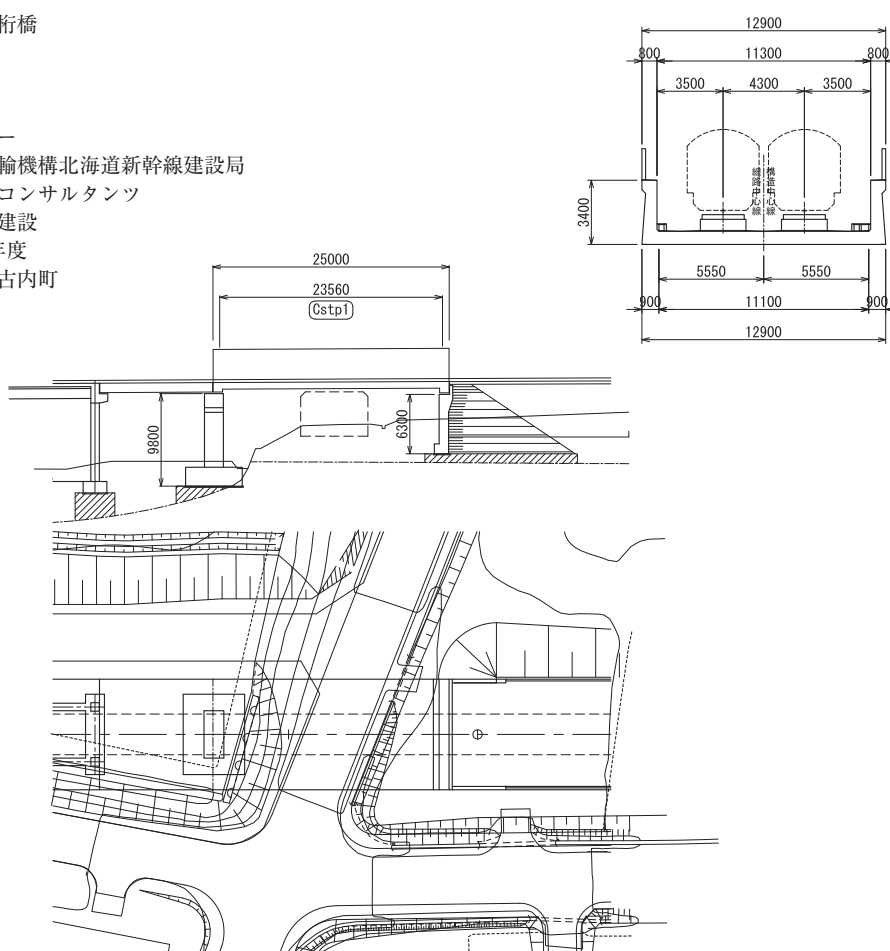
- 形 式：単純 T 桁橋
- 橋 長：45.000 m
- 支 間 割：44.000 m
- 施工基面幅：11.300 m
- 定着工法：フレシネー
- 発 注：鉄道・運輸機構北海道新幹線建設局
- 設 計：中央復建コンサルタンツ
- 施 工：鉄建建設
- 完成年度：平成 25 年度
- 所 在 地：上磯郡木古内町



まご しち 孫 七 Bv (Cstp 1)



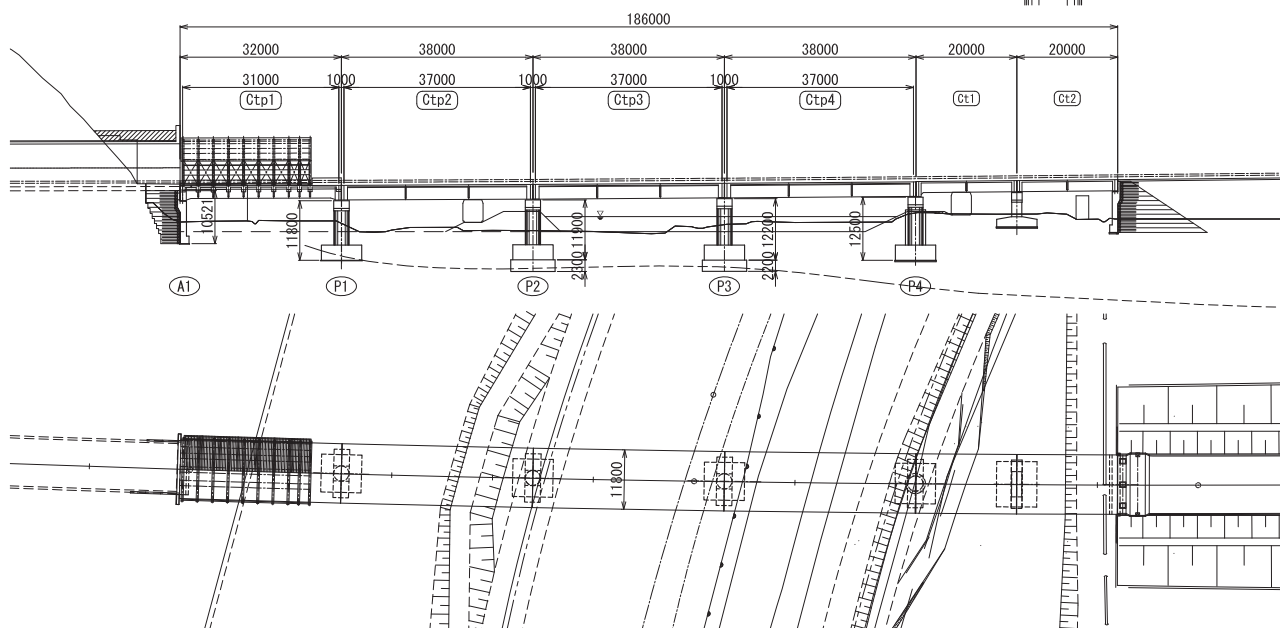
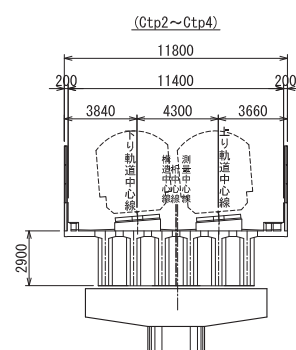
- 形 式：単純下路桁橋
- 橋 長：25.000 m
- 支 間 割：23.560 m
- 施工基面幅：11.300 m
- 定着工法：フレシネー
- 発 注：鉄道・運輸機構北海道新幹線建設局
- 設 計：中央復建コンサルタンツ
- 施 工：三井住友建設
- 完成年度：平成 24 年度
- 所 在 地：上磯郡木古内町



もへじがわ 茂辺地川 B (Ctp 1~Ctp 4)



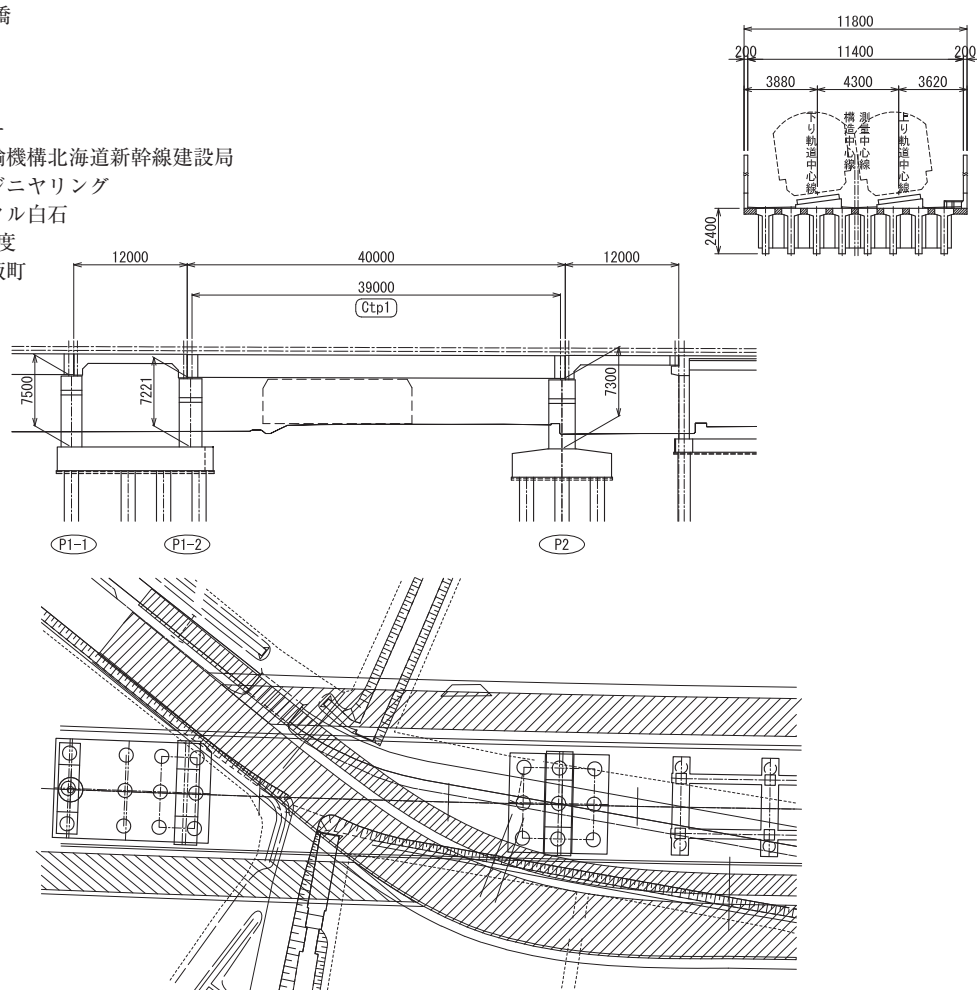
- 形 式：単純 T 桁橋
- 橋 長：186.000 m
- 支 間 割：31.000 + 37.000 + 37.000 + 37.000 m (Ctp1~Ctp4)
- 施工基面幅：12.600 m (Ctp1), 11.400 m (Ctp2~Ctp4)
- 定着工法：フレシネー
- 発 注：鉄道・運輸機構北海道新幹線建設局
- 設 計：日本交通技術
- 施 工：大林・宮坂・松本 JV
- 完成年度：平成 25 年度
- 所 在 地：北斗市



第1 鶴野2号線 Bv (Ctp1)



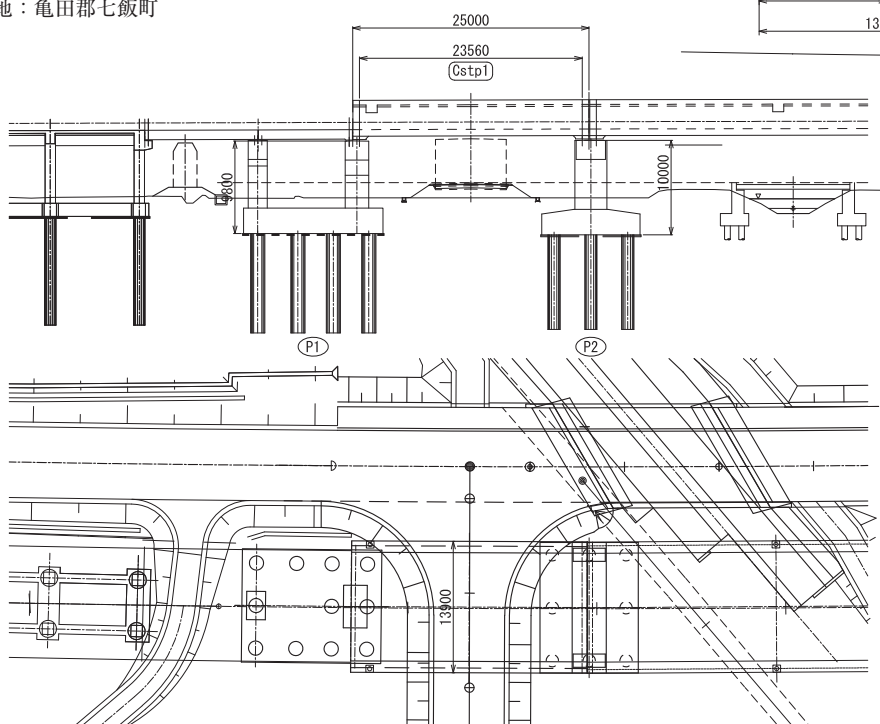
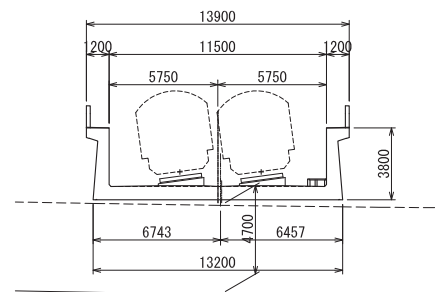
- 形 式：単純T桁橋
- 橋 長：40.000 m
- 支 間 割：39.000 m
- 施工基面幅：11.400 m
- 定着工法：フレシナー
- 発 注：鉄道・運輸機構北海道新幹線建設局
- 設 計：復建エンジニアリング
- 施 工：オリエンタル白石
- 完成年度：平成 25 年度
- 所 在 地：亀田郡七飯町



ほん ちょう こう せん
本町 16 号線 Bv (Cstp 1)



- 形 式：単純下路桁橋
- 橋 長：25.000 m
- 支 間 割：23.560 m
- 施工基面幅：11.500 m
- 定着工法：フレシネー
- 発 注：鉄道・運輸機構北海道新幹線建設局
- 設 計：トーニチコンサルタント
- 施 工：前田・西武・森川 JV
- 完成年度：平成 24 年度
- 所 在 地：亀田郡七飯町



しも や ふ らい がわ ばし 下 矢 不 来 川 橋



形式：2 径間連続ラーメン箱桁橋，橋長：115.000 m，支間割：2@56.500 m，幅員：10.500 m，定着工法：フレシネー，発注：函館開発建設部，設計：ドーコン，施工：日本高压コンクリート，完成年度：平成 22 年度，所在地：北斗市

11 こう きょう 号 橋



形式：2 径間連続中空床版橋，橋長：55.500 m，支間割：2@27.000 m，幅員：6.500 m，定着工法：フレシネー，発注：東神楽町，設計：アサヒ建設コンサルタント・及川土木 JV，施工：柳沼・ピース三菱 JV，完成年度：平成 22 年度，所在地：上川郡東神楽町

ぼう
望

きょうの
郷

はし
橋



形式：6 径間連続箱桁橋，橋長：490.000 m，支間割：54.000+4@95.000+54.000 m，幅員：8.000+2.500 m，定着工法：フレシネー，発注：札幌建設管理部，設計：シビテック，施工：ドーピー・北英・西江 JV，完成年度：平成 22 年度，所在地：石狩郡当別町

ポニ々志別橋



形式：単純ポータルラーメン中空床版橋，橋長：29.500 m，支間割：24.500 m，幅員：9.500 m，定着工法：フレシネー，発注：釧路開発建設部，設計：長大，施工：ドーピー建設工業，完成年度：平成 22 年度，所在地：阿寒郡阿寒町

茂 辺 地 こ 線 橋



形式：3 径間連続中空床版橋，橋長：89.500 m，支間割：3@29.200 m，幅員：8.000 m，定着工法：フレシネー，発注：函館建設管理部，設計：シー・イー・サービス，施工：日本高压コンクリート，完成年度：平成 22 年度，所在地：北斗市

夕 張 き ぼ う 橋



形式：4 径間連続箱桁橋，橋長：193.000 m，支間割：36.700+70.000+45.000+39.200 m，幅員：10.510 m，定着工法：SEEE，発注：NEXCO 東日本北海道支社，設計：（基本）建設技術研究所/（詳細）日本高压コンクリート，施工：日本高压コンクリート，完成年度：平成 22 年度，所在地：夕張市

りん
臨

かい
海

ばし
橋



形式：単純コンポ橋，橋長：36.900 m，支間割：36.000 m，幅員：11.500+3.500 m，定着工法：フレシネー，発注：室蘭開発建設部，設計：日本工営，施工：ドーピー建設工業，完成年度：平成 22 年度，所在地：白老郡白老町

きぬ
絹

おか
丘

ばし
橋



形式：単純中空床版橋，橋長：32.300 m，支間割：31.400 m，幅員：3.450 m，定着工法：フレシネー，発注：小樽建設管理部，設計：アイネス，施工：瀬尾建設工業（ドーピー），完成年度：平成 23 年度，所在地：虻田郡ニセコ町

^{しの}^{のめ}^{あい}^{おい}^こ^{せん}^{きょう} 東 雲 相 生 跨 線 橋



形式：4 径間連続中空床版橋，橋長：110.050 m，支間割：27.100+2@27.300+27.100 m，幅員：8.500+2 * 3.000 m，定着工法：フレシネー，発注：函館建設管理部，設計：北海道土木設計，施工：日本高压コンクリート，完成年度：平成 23 年度，所在地：二海郡八雲町

^{じゅっ}^{けん}^{はし} 十 間 橋



形式：2 径間連続中空床版橋，橋長：57.300 m，支間割：2@28.000 m，幅員：8.000 m，定着工法：フレシネー，発注：留萌建設管理部，設計：ダイシン設計，施工：石山・ドーピー JV，完成年度：平成 23 年度，所在地：苫前郡初山別村

縫 別 跨 道 橋



形式：2 径間連続中空床版橋，橋長：67.400 m，支間割：2@33.000 m，幅員：8.500 m，定着工法：フレシネー，発注：釧路開発建設部，設計：構研エンジニアリング，施工：日本高压コンクリート，完成年度：平成 23 年度，所在地：白糠郡白糠町

望 来 川 橋



形式：単純バイプレホロー桁橋，橋長：44.100 m，支間割：43.000 m，幅員：11.000 + (2.500 + 3.500) m，定着工法：フレシネー，発注：札幌開発建設部，設計：構研エンジニアリング，施工：日本高压コンクリート，完成年度：平成 23 年度，所在地：石狩市

こ
古

たん
潭

はし
橋



形式：2 径間連結コンボ橋，橋長：72.700 m，支間割：34.100+36.400 m，幅員：7.500 m，定着工法：フレシネー，発注：清水町，設計：北王コンサルタント，施工：日本高压コンクリート/清水開発・日本高压特定 JV，完成年度：平成 24 年度，所在地：上川郡清水町

しか
鹿

べ
部

こう
公

えん
園

はし
橋



形式：単純 2 室箱桁橋，橋長：47.000 m，支間割：45.000 m，幅員：9.000+3.000 m，定着工法：フレシネー，発注：函館開発建設部，設計：中央コンサルタント，施工：日本高压コンクリート，完成年度：平成 24 年度，所在地：茅部郡鹿部町

新 トムラウシ 橋



形式：2 径間連結 T 桁橋，橋長：62.600 m，支間割：2@30.200 m，幅員：6.000 m，定着工法：フレシネー，発注：十勝総合振興局 産業振興部，設計：アース設計，施工：日本高压・萩原経常 JV，完成年度：平成 24 年度，所在地：上川郡新得町

にしき 錦

はし 橋



形式：3 径間連続中空床版橋，橋長：63.200 m，支間割：19.000+24.000+19.000 m，幅員：10.000+2*4.000 m，定着工法：フレシネー，発注：室蘭建設管理部，設計：北武コンサルタント，施工：日本高压・ドーピー・丸成成田経常 JV，完成年度：平成 24 年度，所在地：伊達市

ふこ
畚

つべ
部

ばし
橋



形式：単純パイプレ中空床版橋，橋長：27.900 m，支間割：27.000 m，幅員：9.500+2.000 m，定着工法：ディビダーク，発注：小樽開発建設部，設計：メイセイエンジニアリング，施工：ドーピー建設工業，完成年度：平成 24 年度，所在地：余市郡余市町

ふる
古

かわ
川

ばし
橋



形式：単純中空床版橋，橋長：27.200 m，支間割：26.400 m，幅員：7.500 m，定着工法：フレシネー，発注：十勝総合振興局産業振興部，設計：北王コンサルタント，施工：ドーピー・西江 JV，完成年度：平成 24 年度，所在地：河西郡芽室町

あか がわ I C きょう 赤 川 I C 橋



形式：単純バルブ T 桁橋，橋長：41.200 m，支間割：40.000 m，幅員：20.500 m，定着工法：フレシネー，発注：函館開発建設部，設計：開発工営社，施工：ドービー建設工業，完成年度：平成 25 年度，所在地：函館市

かめ お ぼし 亀 尾 橋



形式：2 径間連続中空床版橋，橋長：56.900 m，支間割：2@27.500 m，幅員：9.000 + 2 * 2.500 m，定着工法：フレシネー，発注：函館建設管理部，設計：パブリックコンサルタント，施工：日本高圧・高木・斉藤特定 JV，完成年度：平成 25 年度，所在地：函館市

かめ だ なか の こ どう きょう 亀 田 中 野 跨 道 橋



形式：斜材付きπ型ラーメン橋，橋長：45.000 m，支間割：9.500+26.000+9.500 m，幅員：5.500 m，定着工法：フレシネー，
発注：函館開発建設部，設計：構研エンジニアリング，施工：日本高圧コンクリート，完成年度：平成 25 年度，所在地：函館
市

ほう りょう ばし 豊 漁 橋



形式：2 径間連結 T 桁橋，橋長：53.400 m，支間割：2@25.700 m，幅員：9.000+2.500 m，定着工法：フレシネー，発注：
留萌開発建設部，設計：中央コンサルタンツ，施工：ドーピー建設工業，完成年度：平成 25 年度，所在地：苫前郡初山別村

こう
港

えい
栄

ばし
橋



形式：3 径間連結ホロー桁橋，橋長：61.500 m，支間割：16.600+29.800+16.600 m，幅員：9.500+3.500 m，定着工法：フレシネー，発注：留萌開発建設部，設計：ドーコン，施工：ドーピー建設工業，完成年度：平成 26 年度，所在地：留萌市

ふ
富
ら
良
の
野
きた
北
I
C
きょう
橋



形式：単純箱桁橋，橋長：49.200 m，支間割：47.000 m，幅員：16.270～20.520 m，定着工法：フレシネー，発注：旭川開発建設部，設計：構研エンジニアリング，施工：日本高圧コンクリート，完成年度：平成 26 年度，所在地：富良野市

むこうが丘橋



形式：単純中空床版橋，橋長：25.500 m，支間割：24.700 m，幅員：5.500 m，定着工法：フレシネー，発注：小樽建設管理部，設計：アイネス，施工：中村・西村 JV（ドーピー），完成年度：平成 26 年度，所在地：余市郡余市町

よんせんがわ橋



形式：5 径間連続箱桁橋，橋長：200.000 m，支間割：3@44.000+41.000+25.000 m，幅員：15.250～11.750 m，定着工法：フレシネー，発注：旭川開発建設部，設計：アジア航測，施工：ドーピー建設工業，完成年度：平成 26 年度，所在地：富良野市

おち
落

あい
合

はし
橋



形式：2 径間連続中空床版橋，橋長：65.500 m，支間割：29.900+34.200 m，幅員：8.000 m，定着工法：フレシネー，発注：大空町，設計：中神土木設計事務所，施工：吉井・日本高压特定 JV，完成年度：平成 27 年度，所在地：網走郡大空町

かや
茅

ぬま
沼

はし
橋



形式：単純 T 桁橋，橋長：30.900 m，支間割：29.800 m，幅員：9.000 m，定着工法：フレシネー，発注：小樽開発建設部，設計：近代設計，施工：ドーピー建設工業，完成年度：平成 27 年度，所在地：古宇郡泊村

慶^け能^の舞^{まい}川^{がわ}橋^{ばし}



形式：2 径間連続中空床版橋，橋長：63.000 m，支間割：2@30.500 m，幅員：10.500 m，定着工法：フレシネー，発注：室蘭開発建設部，設計：メイセイ・エンジニアリング，施工：ドービー建設工業，完成年度：平成 27 年度，所在地：沙流郡日高町

太^た刀^ち別^{べつ}橋^{ばし}



形式：単純コンボ橋，橋長：28.600 m，支間割：27.500 m，幅員：8.000 m，定着工法：フレシネー，発注：札幌建設管理部，設計：北海道土木設計，施工：日本高圧コンクリート，完成年度：平成 27 年度，所在地：雨竜郡沼田町

ちょう
長

めい
命

はし
橋



形式：単純コンポ橋，橋長：33.100 m，支間割：31.900 m，幅員：8.500 m，定着工法：フレシネー，発注：帯広建設管理部，設計：北海道土木設計，施工：日本高圧・野田経常JV，完成年度：平成 27 年度，所在地：中川郡本別町

ふく
福

い
移

はし
橋



形式：単純パイプ中空床版橋，橋長：28.800 m，支間割：28.000 m，幅員：9.500 m，定着工法：フレシネー，発注：札幌開発建設部，設計：構研エンジニアリング，施工：日本高圧コンクリート，完成年度：平成 27 年度，所在地：札幌市

平成かもめ橋



形式：3 径間連続中空床版橋，橋長：86.000 m，支間割：26.000+32.000+26.000 m，幅員：8.000+2.500 m，定着工法：フレシネー，発注：帯広建設管理部，設計：ドーコン，施工：日本高压・野田経常 JV，完成年度：平成 27 年度，所在地：十勝郡浦幌町

見晴橋



形式：単純コンボ橋，橋長：31.100 m，支間割：30.000 m，幅員：12.000 m，定着工法：フレシネー，発注：函館開発建設部，設計：土木技術コンサルタント，施工：ドーピー建設工業，完成年度：平成 27 年度，所在地：函館市

うた 歌 こし 越 べつ 別 ばし 橋



形式：単純 T 桁橋，橋長：31.000 m，支間割：30.000 m，幅員：8.500 m，定着工法：フレシナー，発注：留萌開発建設部，設計：構研エンジニアリング，施工：ドーピー建設工業，完成年度：平成 28 年度，所在地：天塩郡遠別町

せ と せ こ どう きょう

瀬戸瀬インター跨道橋



形式：単純ポータルラーメン中空床版橋，橋長：37.600 m，支間割：32.000 m，幅員：9.500+2.500 m，定着工法：フレシナー，発注：網走開発建設部，設計：構研エンジニアリング，施工：ドーピー建設工業，完成年度：平成 28 年度，所在地：紋別郡遠軽町

ち
千とせ
歳はし
橋

形式：2 径間連結コンポ橋，橋長：60.000 m，支間割：29.000+29.000 m，幅員：9.000+2.500 m，定着工法：フレシネー，
発注：釧路開発建設部，設計：アイネス，施工：日本高压コンクリート，完成年度：平成 28 年度，所在地：野付郡別海町

とき
常わ
盤ばし
橋

形式：単純バルブ T 桁橋，橋長：48.000 m，支間割：46.800 m，幅員：12.000 m，定着工法：フレシネー，発注：網走開発建設部，
設計：長大，施工：日本高压コンクリート，完成年度：平成 28 年度，所在地：常呂郡訓子府町

弁財天大橋



形式：4 径間連結コンポ桁橋，橋長：140.000 m，支間割：33.600+2@33.700+33.600 m，幅員：10.510 m，定着工法：フレシネー，発注：函館開発建設部，設計：開発工営社，施工：日本高压コンクリート，完成年度：平成 28 年度，所在地：上磯郡木古内町

山の神大橋



形式：5 径間連結コンポ橋，橋長：241.000 m，支間割：6@38.800 m，幅員：10.510 m，定着工法：フレシネー，発注：函館開発建設部，設計：ドーコン，施工：安部日鋼工業，完成年度：平成 28 年度，所在地：上磯郡木古内町

きゅう せん ばし
九 線 橋 ▼一部を復旧



▼一部復旧：単純 T 桁橋（2 連）のうち，A1～P1 の 1 連

形式：単純 T 桁橋（1 連），橋長：58.700 m のうち 29.350 m，支間割：28.500 m，幅員：7.500+2.000 m，定着工法：フレシネー，発注：美瑛町，設計：アサヒ建設コンサルタント，施工：日本高圧コンクリート，完成年度：平成 29 年度，所在地：上川郡美瑛町

15 こ ぎょう
号 橋



形式：単純コンボ橋，橋長：40.500 m，支間割：39.500 m，幅員：12.890 m，定着工法：フレシネー，発注：旭川開発建設部，設計：近代設計，施工：ドーピー建設工業，完成年度：平成 29 年度，所在地：士別市

陣^{じん}川^{かわ}跨^こ道^{どう}橋^{きょう}



形式：単純箱桁橋，橋長：47.400 m，支間割：46.000 m，幅員：5.500 m，定着工法：フレシネー，発注：函館開発建設部，設計：北未来技研，施工：ドーピー建設工業，完成年度：平成 29 年度，所在地：函館市

チブタシナイ沢^{さわ}川^{がわ}橋^{ばし}



形式：5 径間連続箱桁橋，橋長：234.000 m，支間割：40.500+3@50.000+40.500 m，幅員：10.510 m，定着工法：VSL，発注：NEXCO 東日本北海道支社，設計：（基本）ドゥユー大地／（詳細）川田建設，施工：川田建設，完成年度：平成 29 年度，所在地：小樽市

にし がみ ばし 西 上 橋 ▼一部を復旧



▼一部復旧：単純 T 桁橋（5 連）のうち、P3～P4～A2 の 2 連

形式：単純 T 桁橋（2 連），橋長：196.200 m のうち 78.490 m，支間割：38.400 + 38.400 m，幅員：7.500 m，定着工法：フレッシュネー，発注：士幌町，設計：ダイシン設計，施工：平田・ネクスス JV，完成年度：平成 29 年度，所在地：河東郡士幌町

にし め むろ ばし 西 芽 室 橋 ▼一部を復旧



▼一部復旧：単純 T 桁橋（4 連）のうち、P2～P3～A2 の 2 連

形式：単純 T 桁橋（2 連），橋長：98.000 m のうち 48.900 m，支間割：23.800 + 23.800 m，幅員：6.000 m，定着工法：フレッシュネー，発注：芽室町，設計：開発工営社，施工：丹野建設，完成年度：平成 29 年度，所在地：河西郡芽室町

にっ 日 進 橋 ばし ▼一部を復旧



▼一部復旧：単純 T 桁橋（3 連）のうち，P1～P2～A2 の 2 連

形式：単純 T 桁橋（2 連），橋長：70.440 m のうち 46.900 m，支間割：22.600+22.600 m，幅員：5.000 m，定着工法：フレシネー，発注：芽室町，設計：開発工営社，施工：村上・日本高压 JV，完成年度：平成 29 年度，所在地：河西郡芽室町

はぎ が おか 萩 ヶ 丘 橋 ばし ▼一部を復旧



▼一部復旧：単純 T 桁橋（5 連）のうち，A1～P1～P2 の 2 連

形式：単純 T 桁橋（2 連），橋長：198.400 m のうち 79.400 m，支間割：38.660+38.660 m，幅員：5.500 m，定着工法：フレシネー，発注：上士幌町，設計：土木技術コンサルタント，施工：川村・田西 JV，完成年度：平成 29 年度，所在地：河東郡上士幌町

ひがし やま はし じょう げ せん 東 山 橋 (上下線)



形式：単純ポータルラーメン中空床版橋，橋長：(上) 18.200 m/(下) 21.600 m，支間割：(上) 13.000 m/(下) 17.000 m，幅員：9.500 m，定着工法：フレシネー，発注：函館開発建設部，設計：構研エンジニアリング，施工：日本高圧コンクリート，完成年度：平成 29 年度，所在地：函館市

ぶ とく 1 号 橋 武 徳 1 号 橋



形式：単純ポータルラーメン中空床版橋，橋長：23.000 m，支間割：19.000 m，幅員：12.000 m，定着工法：フレシネー，発注：旭川開発建設部，設計：ドーコン，施工：ドーピー建設工業，完成年度：平成 29 年度，所在地：士別市

文 治 沢 川 橋



形式：単純ポータルラーメン3主版桁橋，橋長：49.500 m，支間割：44.500 m，幅員：10.500 m，定着工法：SEEE，発注：NEXCO 東日本北海道支社，設計：（基本）いであ／（詳細）ピーエス三菱，施工：ピーエス三菱，完成年度：平成 29 年度，所在地：小樽市

墓 園 通 跨 道 橋



形式：単純箱桁橋，橋長：37.800 m，支間割：36.000 m，幅員：6.500+2.500 m，定着工法：フレシネー，発注：函館開発建設部，設計：田宮設計事務所，施工：ドーピー建設工業，完成年度：平成 29 年度，所在地：函館市

桃^{もも}内^{ない}川^{がわ}橋^{ばし}



形式：4 径間連続ラーメン箱桁橋，橋長：377.800 m，支間割：97.800+112.000+107.000+57.800 m，幅員：10.510 m，定着工法：VSL，発注：NEXCO 東日本北海道支社，設計：（基本）日本構造橋梁研究所/（詳細）川田建設，施工：川田建設，完成年度：平成 29 年度，所在地：小樽市

恩^{おん}根^ね内^{ない}川^{がわ}橋^{ばし}



形式：単純ポータルラーメン橋，橋長：48.000 m，支間割：38.000 m，幅員：11.200 m，定着工法：SM，発注：NEXCO 東日本北海道支社，設計：いであ，施工：三井住友建設，完成年度：平成 30 年度，所在地：小樽市

新 光 架 道 橋



形式：斜材付き π 型ラーメン橋，橋長：57.000 m，支間割：9.500+38.000+9.500 m，幅員：4.000 m，定着工法：SM，発注：NEXCO 東日本北海道支社，設計：日本構造橋梁研究所，施工：三井住友建設，完成年度：平成 30 年度，所在地：小樽市

木^き古^こ内^{ない} Bi (Ctp 1)



形式：単純 T 桁橋，橋長：30.000 m，支間割：29.000 m，施工基面幅：11.300 m，定着工法：フレシネー，発注：（設計・製作）鉄道・運輸機構北海道新幹線建設局，（架設）JR 北海道，設計：中央復建コンサルタンツ，施工：鉄建建設，完成年度：平成 25 年度，所在地：上磯郡木古内町

流^{りゅう}溪^{けい}川^{がわ} B (Ctp 1)



形式：単純 T 桁橋，橋長：47.000 m，支間割：45.500 m，施工基面幅：11.400 m，定着工法：フレシネー，発注：鉄道・運輸機構北海道新幹線建設局，設計：トーニチコンサルタンツ，施工：西松・中山・新太平洋・和工 JV，完成年度：平成 25 年度，所在地：北斗市

なが さか せん 長坂線 Bv (Ctp 1)



形式：単純 T 桁橋，橋長：25.000 m，支間割：24.000 m，施工基面幅：11.300 m，定着工法：フレシネー，発注：鉄道・運輸機構北海道新幹線建設局，設計：日本交通技術，施工：日本高压コンクリート，完成年度：平成 25 年度，所在地：北斗市

だい しん かわ はい すい ろ 第 2 新川排水路 B (Cstp 1)



形式：単純下路桁橋，橋長：40.000 m，支間割：38.500 m，施工基面幅：11.500 m，定着工法：フレシネー，発注：鉄道・運輸機構北海道新幹線建設局，設計：トーニチコンサルタント，施工：オリエンタル白石，完成年度：平成 25 年度，所在地：亀田郡七飯町

付表[1/2]・北海道の

年度	橋 名	橋名（ふりがな）	形 式	橋 間 長 割	幅 員 (車道+歩道)	定着工法
平22	宇 遠 別 川 橋	うえんべつがわはし	単純ポータルラーメン中空床版橋	36.100 31.700	12.01	フレッシュナー
平22	占 冠 中 央 橋	しむかつぶちゅうおうばし	10径間連続箱桁橋	353.000 36.400+2@39.750 +5@35.400+30.000 +27.900	10.56	SEEE
平22	下 矢 不 来 川 橋	しもやふらいがわはし	2径間連続ラーメン箱桁橋	115.000 2@56.500	10.50	フレッシュナー
平22	11 号 橋	じゅういちごうきょう	2径間連続中空床版橋	55.500 2@27.000	6.50	フレッシュナー
平22	新 橋	しんばし	3径間連続中空床版橋	54.600 17.7+17.9+17.7	8.50+2.50	フレッシュナー
平22	新 瑪 瑙 橋	しんめのうばし	4径間連結コンボ橋	148.800 3@40.400+22.400	8.50	BBRV
平22	第 2 無 加 川 B	だいにむかがわ	下路単純桁橋	104.500 1*34.360, 1*33.260, 1*33.760	6.70	フレッシュナー
平22	望 郷 橋	ぼうきょうのはし	6径間連続箱桁橋	490.000 54.0+4@95.0+54.0	8.00+2.50	フレッシュナー
平22	ボ ン 仁 々 志 別 橋	ぼんににしべつはし	単純ポータルラーメン中空床版橋	29.500 24.500	9.50	フレッシュナー
平22	茂 辺 地 こ 線 橋	もへじこせんきょう	3径間連続中空床版橋	89.500 3@29.200	8.00	フレッシュナー
平22	夕 張 き ぼ う 橋	ゆうばりきほうばし	4径間連続箱桁橋	193.000 36.7+70.0+45.0+39.2	10.51	SEEE
平22	夕 張 み ら い 橋	ゆうばりみらいばし	7径間連続ラーメン箱桁橋	399.000 36.3+71.0+75.5 +3@56.5+44.3	10.51	SEEE
平22	ラ ン ト 橋	らんとばし	2径間連続ラーメン箱桁橋	115.000 64.10+49.10	7.50+2.50	フレッシュナー
平22	臨 海 橋	りんかいばし	単純コンボ橋	36.900 36.000	11.50+3.50	フレッシュナー
平23	黄 金 大 橋	おうごんおおはし	3径間連続プレビーム合成桁橋	87.600 27.5+31.0+27.5	9.00	プレビーム
平23	加 藤 の 沢 川 橋	かとうのさわがわはし	単純中空床版橋	31.500 30.300	12.00	フレッシュナー
平23	絹 丘 橋	きぬおかばし	単純中空床版橋	32.300 31.400	3.45	フレッシュナー
平23	九 線 橋	きゅうせんはし	2径間単純T桁橋	58.700 28.5+28.5	7.50+2.50	フレッシュナー
平23	毛 根 中 島 橋	けねなかじまばし	3径間連続箱桁橋	149.600 51.8+51.8+44.3	7.50	フレッシュナー
平23	江 竜 橋	こうりゅうはし	8径間連続箱桁橋	801.000 79.5+4@106.5 +2@109.0+74.5	9.50+3.50	フレッシュナー
平23	里 音 別 川 橋	さとおんべつがわはし	8径間連続ラーメン箱桁橋	623.000 54.800+6@86.000 +49.800	10.51	ディビダーク
平23	東 雲 相 生 跨 線 橋	しのめあいおいこせんきょう	4径間連続中空床版橋	110.050 27.1+2@27.3+27.1	8.50+2*3.00	フレッシュナー

コンクリート橋資料

ケーブル (主)	ケーブル (横)	活荷重	発 注	設 計	施 工	所 在 地	路 線 名	交 差 物 件
12S12.7	—	B活荷重	釧路開建	パブリックコンサル タント	日本高圧コンクリート	釧路市	北海道横断自動 車道	林道ウエンベツ 線、ウエンベツ川
19S15.2	1S28.6	B活荷重	NEXCO東日本 北海道支社	(基本)サンライズ (詳細)ピーエス三菱	ピーエス三菱	勇払郡占冠 村	北海道横断自動 車道	双珠別川、一般国 道237号線
12S12.7	1S28.6	B活荷重	函館開建	ドーコン	日本高圧コンクリート	北斗市	函館江差自動 車道	下矢不來川
12S12.7	—	B活荷重	東神楽町	アサヒ建設コンサル タント・及川土木JV	柳沼・ピーエス三菱 JV	上川郡東神 楽町	町道11号線	
12S12.7	—	A活荷重	室蘭建管	道建コンサルタント	日本高圧コンクリート	伊達市	市道駅前1号線	気門別川
12S12.7	1S21.8	B活荷重	函館開建	ピーエス三菱(設計 施工一括方式)	ピーエス三菱	瀬棚郡今金 町	一般国道230号	後志利別川
12S12.7	1S28.6	EA-15	JR北海道	ジェイアール北海道 エンジニアリング	札建工業	北見市	石北線	無加川
12S12.7	1S28.6	B活荷重	札幌建管	シビテック	ドービー・北英・西 江JV	石狩郡当別 町	道道当別浜益港 線	当別川
12S12.7	—	B活荷重	釧路開建	長大	ドービー建設工業	阿寒郡阿寒 町	一般国道274号	ポン仁々志別川
12S12.7	—	B活荷重	函館建管	シー・イー・サービ ス	日本高圧コンクリート	北斗市	道道上磯厚沢部 線	JR江差線、茂辺地 15号線、茂辺地25 号線
(外) 19S15.2 (内) 12S15.2	1S21.8	B活荷重	NEXCO東日本 北海道支社	(基本)建設技術研究 所 (詳細)日本高圧コン クリート	日本高圧コンクリート	夕張市	北海道横断自動 車道	国道274号、ホル カクルキ川
(外) 19S15.2 (内) 12S15.2	1S21.8	B活荷重	NEXCO東日本 北海道支社	(基本)日本構造橋梁 研究所 (詳細)日本高圧コン クリート	日本高圧コンクリート	夕張市	北海道横断自動 車道	JR石勝線、国道 274号、ホルカク ルキ川、市道楓登 川線
12S12.7	1S21.8	B活荷重	函館建管	シー・イー・サービ ス	日本高圧コンクリート	奥尻郡奥尻 町	道道奥尻島線	ラント川
12S12.7	1S21.8	B活荷重	室蘭開建	日本工営	ドービー建設工業	白老郡白老 町	一般国道37号	ボンアヨロ川
—	—	B活荷重	小樽開建	近代設計	日本高圧コンクリート	積丹郡積丹 町		美国川
12S12.7	—	B活荷重	旭川開建	パシフィックコンサル タント	日本高圧コンクリート	中川郡音威 子府村	一般国道40号	加藤の沢川
12S12.7	—	TL-14	小樽建管	アイネス	瀬尾建設工業(ドー ビー)	虻田郡ニセ コ町	町道西十二号線	ルベシベ川
12S12.4	1S19.3	TL-20	美瑛町	アサヒ建設コンサル タント	日本高圧コンクリート	上川郡美瑛 町	朗根内上俵真布 線	辺別川
12S15.2	1S19.3	A活荷重	十勝総合振興局 産業振興部	帝国設計事務所	日本高圧・宮坂経常 JV	河西郡芽室 町	町道中島線	芽室川
12S12.7	1S21.8	B活荷重	札幌建管	シビテック	日本高圧・ドービー 特定JV、日本高圧・ 山田特定JV	滝川市江部 乙町～雨竜 郡雨竜町	道道江部乙雨竜 線	石狩川
12S15.2 19S15.2	1S21.8	B活荷重	釧路開建	(基本)大日本コンサル タント (詳細)三井住友建設	三井住友建設	釧路市	北海道横断自動 車道	道東林道
12S12.7	—	B活荷重	函館建管	北海道土木設計	日本高圧コンクリート	二世郡八雲 町	道道八雲北檜山 線	町道東雲1号線、 道道八雲松山線

年度	橋 名	橋名(ふりがな)	形 式	橋 支 間 割	幅 員 (車道+歩道)	定着工法
平23	十 間 橋	じゅっけんはし	2 径間連続中空床版橋	57.300 2@28.000	8.00	フレッシュナー
平23	清 流 橋	せいりゅうはし	単純コンボ橋	29.100 28.200	8.00	フレッシュナー
平23	宿 内 川 橋	そこないかわはし	2 径間連結プレテンホロー 桁橋	31.500 15.0+15.0	14.00+2.50	プレテン
平23	月 見 橋	つきみばし	3 径間連続箱桁橋	144.800 47.0+52.0+44.0	8.50	フレッシュナー
平23	当 別 大 橋	とうべつおおはし	2 径間連続ラーメン箱桁橋	220.000 2@109.00	10.51	フレッシュナー
平23	常 盤 川 橋 (上り線)	ときわがわばし	単純ポータルラーメン中空 床版橋	36.200 31.000	9.25	フレッシュナー
平23	常 盤 川 橋 (下り線)	ときわがわばし	単純ポータルラーメン中空 床版橋	36.200 31.000	9.25	フレッシュナー
平23	中 の 川 橋	なかのかわはし	単純コンボ橋	31.400 30.400	14.00+2.50	フレッシュナー
平23	虹 色 橋	にじいろはし	単純コンボ橋	40.100 38.700	8.00	フレッシュナー
平23	縫 別 跨 道 橋	ぬいべつこどうきょう	2 径間連続中空床版橋	67.400 2@33.00	8.50	フレッシュナー
平23	豊 楽 橋	ほうらくはし	単純中空床版橋	29.800 28.800	6.50	フレッシュナー
平23	丸 山 石 別 大 橋	まるやまいしべつおおはし	3 径間連続ラーメン箱桁橋	216.000 54.2+92.0+67.2	10.50	フレッシュナー
平23	南 6 条 通 横 断 橋	みなみろくじょうどおり おうだんきょう	斜材付 π 型ラーメン中空床 版橋	65.000 15.5+34.0+15.5	8.00	フレッシュナー
平23	望 来 川 橋	もうらいかわはし	単純バイプレホロー桁橋	44.100 43.000	11.00+(2.50+ 3.50)	フレッシュナー
平23	大 和 橋	やまとはし	2 径間連続バイプレ中空床 版橋	57.100 2@27.85	9.00+2*3.50	フレッシュナー
平24	大 平 跨 線 橋	おおひらこせんきょう	3 径間連続ラーメン中空床 版橋	85.900 25.4+29.1+30.0	9.0~11.1	フレッシュナー
平24	開 成 橋	かいせいばし	2 径間連続ラーメン箱桁橋	148.000 2@73.000	10.51	フレッシュナー
平24	ク リ ス タ ル 橋	くりすたるばし	4 径間連続ラーメン箱桁橋	191.000 39.0+55.5+55.5+39.0	2*(8.00+4.00)	フレッシュナー SM
平24	古 潭 橋	こたんはし	2 径間連結コンボ橋	72.700 34.1+36.4	7.50	フレッシュナー
平24	鹿 部 公 園 橋	しかべこうえんはし	単純2室箱桁橋	47.000 45.000	9.00+3.00	フレッシュナー
平24	新 千 歳 空 港 I C 橋	しんちとせくこういん たーちえんじきょう	2 径間連続バイプレホロー 桁橋	53.000 22.0+30.0	12.64	SEEE
平24	新 ト ム ラ ウ シ 橋	しんとむらうしはし	2 径間連結T桁橋	62.600 2@30.20	6.00	フレッシュナー
平24	瀬 戸 瀬 跨 道 橋	せとせこどうきょう	単純箱桁橋	39.200 38.000	5.50	フレッシュナー
平24	第 2 富 良 野 川 B	だいにふらのがわ	下路単純桁橋	77.700 24.66+24.66+24.66	6.20	フレッシュナー
平24	常 川 上 と こ ろ 橋	つねかわかみところはし	3 径間連続箱桁橋	179.000 37.5+81.0+58.5	10.51	フレッシュナー

ケーブル (主)	ケーブル (横)	活荷重	発 注	設 計	施 工	所 在 地	路 線 名	交 差 物 件
12S12.7	—	B活荷重	留萌建管	ダイシン設計	石山・ドービーJV	苫前郡初山別村	道道千代田初山別停車場線	初山別川
12S12.7	1S19.3	B活荷重	稚内建管	北海道土木設計	日本高压・富田経常JV	稚内市	道道稚内猿払線	イチャンナイ川右支流無名川
1S15.2	1S21.8	B活荷重	小樽開建	東洋技研コンサルタント	日本高压コンクリート	岩内郡共和町	一般国道276号	宿内川
12S12.7	1S21.8	B活荷重	小樽開建	近代設計	日本高压コンクリート	余市郡赤井川村	一般国道393号	余市川
(外) 19S15.2 (内) 12S15.2	1S28.6	B活荷重	函館開建	構研エンジニアリング	日本高压コンクリート	北斗市	函館江差自動車道	当別川
12S12.7	—	B活荷重	函館開建	構研エンジニアリング	日本高压コンクリート	函館市	函館新外環状道路	常盤川
12S12.7	—	B活荷重	函館開建	構研エンジニアリング	日本高压コンクリート	函館市	函館新外環状道路	常盤川
12S12.7	1S21.8	B活荷重	小樽開建	パブリックコンサルタント	日本高压コンクリート	岩内郡共和町	一般国道276号	中の川
12S15.2	1S21.8	B活荷重	稚内建管	ドーコン	日本高压・富田経常JV	稚内市	道道稚内猿払線	イチャンナイ川
12S12.7	—	B活荷重	釧路開建	構研エンジニアリング	日本高压コンクリート	白糠郡白糠町	一般国道392号	北海道横断自動車道
12S12.7	—	A活荷重	旭川建管	北海道土木設計	丹野・日本高压経常JV	上川郡東神楽町	町道12号線	ボン川
12S12.7	1S28.6	B活荷重	函館開建	ドーコン	三井住友建設	北斗市	函館江差自動車道	上石別川
12S15.2	(斜材) 1S21.8	群集	旭川市	ドーコン・富士JV	タカハタ・日本高压特定JV	旭川市		南6条通
12S12.7 φ32	1S21.8	B活荷重	札幌開建	構研エンジニアリング	日本高压コンクリート	石狩市	一般国道231号	望来川
12S12.7 φ32	—	B活荷重	札幌建管	構研エンジニアリング	日本高压・ドービー特定JV	岩見沢市	道道栗沢工業団地大和線	利根別川
12S12.7	—	B活荷重	函館開建	構研エンジニアリング	日本高压コンクリート	上磯郡木古内町	木古内ICインター線	北海道新幹線、町道大平2線、道南いさりび鉄道
12S15.2	1S28.6	B活荷重	網走開建	オリエンタル白石・萩原 乙型経常JV (設計施工一括方式)	オリエンタル白石・萩原 乙型経常JV	常呂郡訓子府町	北海道横断自動車道	林道
12S12.7	1S28.6	B活荷重	旭川市	ドーコン・ダイイチJV	生駒・ドービー・タカハタJV	旭川市	3・3・14昭和通	忠別川
12S12.7	1S21.8	A活荷重	清水町	北王コンサルタント	日本高压コンクリート、清水開発・日本高压特定JV	上川郡清水町	清水第1線道路	佐幌川
12S15.2	—	B活荷重	函館開建	中央コンサルタンツ	日本高压コンクリート	茅部郡鹿部町	一般国道278号	鹿部川
12S12.7 φ32	1S28.6	B活荷重	[設計] 札幌建設管理部 [工事] NEXCO 東日本北海道支社	(基本) ドーコン (詳細) 日本高压コンクリート	日本高压コンクリート	千歳市	道道新千歳空港インター線	道央自動車道
12S12.7	1S19.3	A活荷重	十勝総合振興局産業振興部	アース設計	日本高压・萩原経常JV	上川郡新得町	町道チカベツ第1幹線	十勝川
12S15.2	—	A活荷重	網走開建	シビテック	日本高压コンクリート	紋別郡遠軽町	町道瀬戸瀬湯の里道路	旭川紋別自動車道
12S12.7	1S28.6	EA-17	JR北海道	ジェイアール北海道エンジニアリング	鉄建建設	空知郡中富良野町	富良野線	富良野川
12S12.7	1S28.6	B活荷重	網走開建	ドーコン	日本高压コンクリート	北見市	北海道横断自動車道	常呂川

年度	橋 名	橋名(ふりがな)	形 式	橋 長 支 間 割	幅 員 (車道+歩道)	定着工法
平24	床 丹 3 号 線 跨 道 橋	とこたんさんごうせんこ どうきょう	斜材付π型ラーメン箱桁橋	71.000 17.0+37.0+17.0	6.00	フレシネー
平24	錦 橋	にしきはし	3 径間連続中空床版橋	63.200 19.0+24.0+19.0	10.00+2*4.00	フレシネー
平24	畚 部 橋	ふごっぺばし	単純バイブル中空床版橋	27.900 27.000	9.50+2.00	ディビダーク
平24	古 川 橋	ふるかわばし	単純中空床版橋	27.200 26.400	7.50	フレシネー
平25	赤 川 I C 橋	あかがわあいしーきょう	単純バルブT桁橋	41.200 40.000	20.50	フレシネー
平25	赤 川 跨 道 橋	あかがわこどうきょう	単純2室箱桁橋	39.500 38.000	13.00~14.07	SEEE
平25	鬼 泊 橋	おにとまりはし	単純T桁橋	38.000 37.000	9.00	フレシネー
平25	亀 尾 橋	かめおばし	2 径間連続中空床版橋	56.900 2@27.500	9.00+2*2.50	フレシネー
平25	亀 田 中 野 跨 道 橋	かめだなかのこどうきょう	斜材付きπ型ラーメン橋	45.000 9.5+26.0+9.5	5.50	フレシネー
平25	白 銀 橋	しろがねばし	5 径間連続コンボ橋+6 径 間連続ラーメン橋	170.000+417.000 A 橋 : 30.000 + 2@39.000 + 30.150+30.000 B 橋 : 53.700+4@77.000 + 53.700	5.00	フレシネー
平25	新 小 谷 地 川 B	しんこやちがわ	下路単純桁橋	17.900 14.000	6.84	フレシネー
平25	高 滝 ノ 沢 橋	たかたきのさわばし	上路式RC固定アーチ橋	163.000 アーチ支間112.0	8.50	フレシネー
平25	豊 漁 橋	ほうりょうばし	2 径間連続T桁橋	53.400 2@25.70	9.00+2.50	フレシネー
平25	吉 田 橋	よしだはし	3 径間連続プレビーム合成 桁橋	125.900 37.0+47.0+40.0	10.00+2.00	プレビーム
平26	港 栄 橋	こうえいばし	3 径間連続ホロー桁橋	61.500 16.6+29.8+16.6	9.50+3.50	フレシネー
平26	第 2 湖 口 橋	だいにここうばし	3 径間連続フィンバック箱 桁橋+ 3 径間連続RC床版橋	233.500 47.5+88.5+47.5 15.0+16.0+15.0	4.00	フレシネー
平26	滝 江 5 号 B	たきえごごう	I型単純桁橋	21.580 20.500	10.11	フレシネー
平26	当 別 跨 道 橋	とうべつこどうきょう	斜材付π型ラーメン中空床 版橋	42.000 8.50+25.00+8.50	4.00	フレシネー
平26	東 山 跨 道 橋	ひがしやまこどうきょう	斜材付π型ラーメン中空床 版橋	54.000 11.7+30.5+11.7	5.50	フレシネー
平26	富 良 野 北 I C 橋	ふらのきたあいしーきょう	単純箱桁橋	49.200 47.000	16.27~20.52	フレシネー
平26	豊 栄 橋	ほうえいはし	5 径間連続コンボ橋	180.800 5@34.900	7.50+2.00	フレシネー
平26	美 園 橋	みそのばし	2 径間連続ラーメン箱桁橋	135.000 2@66.500	10.51	フレシネー
平26	向 ケ 丘 橋	むこうがおかばし	単純中空床版橋	25.500 24.700	5.50	フレシネー
平26	四 線 川 橋	よんせんがわばし	5 径間連続箱桁橋	200.000 3@44.0+41.0+25.0	15.25~11.75	フレシネー
平26	蘭 栄 橋	らんえいばし	4 径間連続プレビーム合成 桁橋	128.000 31.15+2@32.0+31.15	6.50	プレビーム
平27	稲 荷 大 橋	いなりおおはし	3 径間連続ラーメン箱桁橋	298.000 77.0+136.0+83.0	10.50	フレシネー

ケーブル (主)	ケーブル (横)	活荷重	発 注	設 計	施 工	所 在 地	路 線 名	交 差 物 件
12S12.7, φ32	—	A活荷重	釧路開建	構造技研	日本高压コンクリート	釧路郡釧路町	町道床丹3号線	釧路外環状道路
12S12.7	—	B活荷重	室蘭建管	北武コンサルタント	日本高压・ドービー・丸成成田経常JV	伊達市	道道南黄金長和線	気門別川
12S12.7	1S21.8	B活荷重	小樽開建	メイセイエンジニアリング	ドービー建設工業	余市郡余市町	一般国道5号	春部川
12S12.7	—	A活荷重	十勝総合振興局 産業振興部	北王コンサルタント	ドービー・西江JV	河西郡芽室町	町道中島線	御影川
12S15.2	1S21.8	B活荷重	函館開建	開発工営社	ドービー建設工業	函館市	函館新外環状道路	道道赤川函館線
12S15.2	1S21.8	A活荷重	函館開建	ドボク管理	日本高压コンクリート	函館市	市道赤川亀田中野線	函館新外環状道路
12S12.7	1S21.8	B活荷重	留萌開建	長大	日本高压コンクリート	留萌郡小平町	一般国道232号	鬼泊川
12S12.7	—	B活荷重	函館建管	パブリックコンサル タント	日本高压・高木・斉藤特定JV	函館市	道道函館南茅部線	汐泊川
12S12.7	—	A活荷重	函館開建	構研エンジニアリング	日本高压コンクリート	函館市	市道石川7号線	函館新外環状道路
A橋： 12S12.7 B橋： 12S12.7	A橋： 1S21.8 B橋： 1S28.6	A活荷重	札幌開建	日本工営・北海道河川防災研究センター	ピーエス三菱	夕張市	夕張市道奥鹿島線	シューバロ湖
12S12.7	7S12.7	EA-17	JR北海道	ジェイアール北海道 エンジニアリング	伊藤組土建	函館市	江差線	小谷地川
12S12.7	—	B活荷重	函館開建	ドーコン	三井住友建設	二世郡八雲町	国道277号	
12S12.7	1S21.8	B活荷重	留萌開建	中央コンサルタンツ	ドービー建設工業	苫前郡初山別村	一般国道232号	初山別川
—	—	B活荷重	函館開建	中央コンサルタンツ	日本高压コンクリート、田中組	松前郡福島町	一般国道228号	福島川
12S12.7	1S21.8	B活荷重	留萌開建	ドーコン	ドービー建設工業	留萌市	一般国道231号	留萌港
12S15.2	—	A活荷重	網走開建	ドーコン	三井住友建設	北見市		サロマ湖第2湖口
12S12.7	1S21.8	EA-17	JR北海道	日本交通技術	大林組	滝川市	函館線	ラウネ川
12S12.7	—	A活荷重	函館開建	メイセイ・エンジニアリング	日本高压コンクリート	北斗市	市道当別11号線	函館江差自動車道
12S12.7	—	A活荷重	函館開建	パシフィックコンサル タンツ	日本高压コンクリート	函館市	市道東山1号線	函館新外環状道路
12S15.2	1S28.6	B活荷重	旭川開建	構研エンジニアリング	日本高压コンクリート	富良野市	旭川十勝道路	一般国道38号
12S12.7	1S21.8	B活荷重	帯広建管	北海道土木設計	日本高压・野田経常JV、日本高压コンクリート	足寄郡足寄町	町道足寄原野線	利別川
12S12.7	1S28.6	B活荷重	網走開建	構研エンジニアリング	日本高压コンクリート	常呂郡訓子府町	北海道横断自動車道	ボンケトナイ川支線
12S12.7	—	TL-14	小樽建管	アイネス	中村・西村JV(ドービー)	余市郡余市町	町道向ヶ丘線	春部川
12S15.2 19S15.2	1S28.6	B活荷重	旭川開建	アジア航測	ドービー建設工業	富良野市	旭川十勝道路	四線川
—	—	A活荷重	網走開建	中神土木設計事務所	日本高压コンクリート	北見市	市道北光・南丘間道路	常呂川
12S12.7	1S28.6	B活荷重	函館開建	構研エンジニアリング	ドービー建設工業	上磯郡木古内町	函館江差自動車道	大釜谷川、町道大釜谷1線

年度	橋 名	橋名(ふりがな)	形 式	橋 長 支 間 割	幅 員 (車道+歩道)	定着工法
平27	落 合 橋	おちあいはし	2 径間連続中空床版橋	65.500 29.90+34.20	8.00	フレシネー
平27	オ ビ ラ シ ケ 川 橋	おびらしけがわばし	5 径間連続ラーメン箱桁橋	394.600 40.000+88.000+136.000 +88.000+40.000	10.51	フレシネー
平27	茅 沼 橋	かやぬまばし	単純T桁橋	30.900 29.800	9.00	フレシネー
平27	慶 能 舞 川 橋	けのまいがわばし	2 径間連続中空床版橋	63.000 2@30.5	10.50	フレシネー
平27	琴 平 4 号 橋	ことひらよんごうきょう	単純コンボ橋	31.900 31.000	15.75	フレシネー
平27	第一ポCKETナイ川橋	だいいちぼんけとないかわはし	2 径間連続Tラーメン箱桁橋	192.000 90.000+99.000	10.51~10.56	VSL
平27	大 正 橋	たいしょうはし	4 径間連続箱桁橋	155.100 32.9+45.0+42.85+31.7	8.00+2.50	フレシネー
平27	太 刀 別 橋	たちべつばし	単純コンボ橋	28.600 27.500	8.00	フレシネー
平27	長 命 橋	ちょうめいはし	単純コンボ橋	33.100 31.900	8.50	フレシネー
平27	福 移 橋	ふくいはし	単純バイブル中空床版橋	28.800 28.000	9.50	フレシネー
平27	平 成 か も め 橋	へいせいかもめばし	3 径間連続中空床版橋	86.000 26.0+32.0+26.0	8.00+2.50	フレシネー
平27	港 町 ふ 頭 こ 線 橋	みなとまちふとうこせんきょう	2 径間連結プレテンホロー桁橋	45.900 2@22.000	9.00	プレテン
平27	見 晴 橋	みはらしばし	単純コンボ橋	31.100 30.000	12.00	フレシネー
平28	歌 越 別 橋	うたこしべつばし	単純T桁橋	31.000 30.000	8.50	フレシネー
平28	瀬戸瀬インター跨道橋	せとせいんたーこどうきょう	単純ポータルラーメン中空床版橋	37.600 32.000	9.50+2.50	フレシネー
平28	築 別 橋	ちくべつばし	4 径間連結T桁橋	178.200 4@43.225	8.50	フレシネー
平28	千 歳 橋	ちとせはし	2 径間連結コンボ橋	60.000 29.0+29.0	9.00+2.50	フレシネー
平28	常 盤 橋	ときわばし	単純バルブT桁橋	48.000 46.800	12.00	フレシネー
平28	フ ゴ ッ ペ 川 橋	ふごっぺがわばし	4 径間連続箱桁橋	228.000 41.900+84.500+63.000 +36.400	10.51	SEEE
平28	弁 財 天 大 橋	べんざいてんおおはし	4 径間連結コンボ桁橋	140.000 33.600+2@33.700+33.600	10.51	フレシネー
平28	モ チ ヤ 沢 川 橋	もちやさわがわばし	2 径間連続Tラーメン箱桁橋	88.900 49.500+38.000	10.51	SEEE
平28	山 の 神 大 橋	やまのかみおおはし	5 径間連結コンボ橋	241.000 6@38.800	10.51	フレシネー
平29	朝 里 川 温 泉 橋	あさがわおんせんばし	8 径間連続ラーメン箱桁橋	615.500 45.8+90.0+3@92.0 +103.0+71.0+27.3	12.56	SEEE CCL
平29	吾 妻 橋	あづまばし	2 径間連続プレビーム合成桁橋	63.400 2@31.000	8.50+2.50	プレビーム
平29	泉 郷 跨 道 橋	いずみさとこどうきょう	単純コンボ橋	28.000 27.000	18.50	フレシネー
平29	カ カ リ 石 橋	かかりいしばし	単純T桁橋	38.000 37.000	8.00+2.50	フレシネー

ケーブル (主)	ケーブル (横)	活荷重	発 注	設 計	施 工	所 在 地	路 線 名	交 差 物 件
12S12.7	—	B活荷重	大空町	中神土木設計事務所	吉井・日本高圧特定 JV	網走郡大空 町	町道開陽中央線	女満別川
12S15.2	1S28.6	B活荷重	釧路開建	中央コンサルタンツ	オリエンタル白石	釧路郡釧路 町	一般国道44号	オビラシケ川 道道遠野別保線
12S24.4	1S21.8	B活荷重	小樽開建	近代設計	ドービー建設工業	古宇郡泊村	一般国道229号	玉川
12S12.7	—	B活荷重	室蘭開建	メイセイ・エンジ アリング	ドービー建設工業	沙流郡日高 町	日高自動車道	慶能舞川
12S12.7	1S21.8	B活荷重	旭川開建	メイセイ・エンジ アリング	日本高圧コンクリート	中川郡中川 町	一般国道40号	琴平川
12S 15.2	1S28.6	B活荷重	網走開建	長大	大成建設	常呂郡訓子 府町	北海道横断自動 車道	道道143号, ポ ン ケ ト ナ イ 川
12S15.2	1S28.6	B活荷重	小樽建管	ダイシン設計	吉本・日本高圧JV, 吉本・日本高圧・工 藤JV	余市郡赤井 川村	道道仁木赤井川 線	余市川
12S12.7	1S19.3	B活荷重	札幌建管	北海道土木設計	日本高圧コンクリート	雨竜郡沼田 町	道道達布石狩沼 田停車場線	太刀別川
12S12.7	1S21.8	B活荷重	帯広建管	北海道土木設計	日本高圧・野田経 常JV	中川郡本別 町	道道本別士幌線	押帯川
12S12.7 φ32	—	B活荷重	札幌開建	構研エンジニアリング	日本高圧コンクリート	札幌市	一般国道337号	福移堤内川
12S15.2	—	B活荷重	帯広建管	ドーコン	日本高圧・野田経 常JV	十勝郡浦幌 町	道道直別共栄線	厚内川
1S15.2	1S19.3	B活荷重	函館開建	構研エンジニアリング	日本高圧コンクリート	函館市	函館港幹線臨港 道路	
12S12.7	1S21.8	B活荷重	函館開建	土木技術コンサル タント	ドービー建設工業	函館市	函館新外環状道 路	湯の川
12S12.7	1S21.8	B活荷重	留萌開建	構研エンジニアリング	ドービー建設工業	天塩郡遠別 町	一般国道232号	オコタンベツ川
12S12.7	—	B活荷重	網走開建	構研エンジニアリング	ドービー建設工業	紋別郡遠軽 町	道道奥瀬戸瀬瀬 戸瀬(停)線	旭川紋別自動車道
12S15.2	1S21.8	B活荷重	留萌開建	開発工営社	オリエンタル白石	苫前郡羽幌 町	一般国道232号	築別川
12S12.7	1S21.8	B活荷重	釧路開建	アイネス	日本高圧コンクリート	野付郡別海 町	一般国道243号	西別川
12S15.2	1S21.8	B活荷重	網走開建	長大	日本高圧コンクリート	常呂郡訓子 府町	北海道横断自動 車道	
12S15.2	1S21.8S	B活荷重	NEXCO東日本 北海道支社	(基本)大日本コン サルタント (詳細)ピーエス三菱	ピーエス三菱	余市郡余市 町	後志自動車道	フゴッベ川, 道道 栄町温泉通線
12S12.7	1S21.8	B活荷重	函館開建	開発工営社	日本高圧コンクリート	上磯郡木古 内町	函館江差自動車 道	大坪沢川
19S15.2	1S21.8	B活荷重	NEXCO東日本 北海道支社	(基本)千代田コン サルタント (詳細)ピーエス三菱	ピーエス三菱	小樽市	後志自動車道	モチヤ沢川, 市道 餅屋沢通線
12S15.2	1S21.8	B活荷重	函館開建	ドーコン	安部日鋼工業	上磯郡木古 内町	函館江差自動車 道	橋呉川, 町道橋呉 線
(外) 19S15.2 (内) 12S15.2	1S21.8	B活荷重	NEXCO東日本 北海道支社	(基本)八千代エン ジ ヤリング (詳細)ピーエス三菱	ピーエス三菱	小樽市	後志自動車道	朝里川, 道道小樽 定山溪線
—	—	B活荷重	札幌建管	北海道土木設計	日本高圧コンクリート	空知郡奈井 江町	道道奈井江浦白 線	奈井江川
12S12.7	1S21.8	B活荷重	札幌開建	土木技術コンサル タント	日本高圧コンクリート	千歳市	道央圏連絡道路	一般国道337号線
12S12.7	1S19.3	B活荷重	函館建管	シーイーサービス	海老原・日本高圧 経 常JV	奥尻郡奥尻 町	道道奥尻島線	7号沢

年度	橋 名	橋名(ふりがな)	形 式	橋 支 間 長 割	幅 員 (車道+歩道)	定着工法
平29	桂 沢 ダ ム 8 号 橋	かつらざわだむはちごうきょう	4 径間連続箱桁橋	416.000 81.9+2@125.0+81.9	8.00+3.00	フレシネー
平29	九 線 橋	きゅうせんばし	単純T桁橋(1 連)	29.350 28.500	7.50+2.00	フレシネー
平29	清 見 橋	きよみばし	2 径間連結中空床版(プレキャストセグメント桁)橋	50.200 2@24.000	8.00+2*2.00	フレシネー
平29	小 林 橋	こばやしばし	2 径間連結中空床版(プレキャストセグメント桁)橋	74.600 2@36.000	8.00+2.00	フレシネー
平29	笹 流 橋 (上り線)	ささながればし	単純箱桁橋	67.200 65.000	13.025~10.301	フレシネー
平29	笹 流 橋 (下り線)	ささながればし	単純箱桁橋	57.200 55.000	12.858~12.850	フレシネー
平29	15 号 橋	じゅうごごうきょう	単純コンボ橋	40.500 39.500	12.89	フレシネー
平29	陣 川 跨 道 橋	じんかわこどうきょう	単純箱桁橋	47.400 46.000	5.50	フレシネー
平29	チ プ タ シ ナ イ 沢 川 橋	ちぶたしなさいさわがわばし	5 径間連続箱桁橋	234.000 40.500+3@50.000 +40.500	10.51	VSL
平29	西 上 橋	にしがみばし	単純T桁橋(2 連)	78.490 38.400+38.400	7.50	フレシネー
平29	西 芽 室 橋	にしめむろばし	単純T桁橋(2 連)	48.900 23.800+23.800	6.00	フレシネー
平29	日 進 橋	にっしんばし	単純T桁橋(2 連)	46.900 22.600+22.600	5.00	フレシネー
平29	萩 ケ 丘 橋	はぎがおかばし	単純T桁橋(2 連)	79.400 38.660+38.660	5.50	フレシネー
平29	東 山 大 橋 (下り線)	ひがしやまおおはし	5 径間連結コンボ橋	189.800 38.5+3@37.8+31.5	9.02	フレシネー
平29	東 山 橋 (上り線)	ひがしやまはし	単純ポータルラーメン中空床版橋	18.200 13.000	9.50	フレシネー
平29	東 山 橋 (下り線)	ひがしやまはし	単純ポータルラーメン中空床版橋	21.600 17.000	9.50	フレシネー
平29	武 徳 1 号 橋	ぶとくいちごうきょう	単純ポータルラーメン中空床版橋	23.000 19.000	12.00	フレシネー
平29	文 治 沢 川 橋	ぶんじさわがわばし	単純ポータルラーメン3 主版桁橋	49.500 44.500	10.50	SEEE
平29	別 当 大 橋	べっとうおおはし	6 径間連続ラーメン箱桁橋	473.000 53.5+91+2@92+91 +50.5	10.50	フレシネー
平29	墓 園 通 跨 道 橋	ぼえんどおりこどうきょう	単純箱桁橋	37.800 36.000	6.50+2.50	フレシネー
平29	見 晴 公 園 橋 (R橋)	みはらしこうえんばし	2 径間連結コンボ橋	52.200 2@25.000	8.76	フレシネー
平29	桃 内 川 橋	ももないがわばし	4 径間連続ラーメン箱桁橋	377.800 97.800+112.000+107.000 +57.800	10.51	VSL
平30	岩 瀬 橋	いわせばし	2 径間連結コンボ橋	64.600 2@31.0	8.50	フレシネー
平30	渡 島 当 別 大 橋	おしまとうべつおおはし	3 径間連続ラーメン箱桁橋	296.000 81.5+130.0+81.5	10.51	フレシネー
平30	恩 根 内 川 橋	おんねないがわばし	単純ポータルラーメン橋	48.000 38.000	11.20	SM
平30	陣 川 大 橋 (下り)	じんかわおおはし	3 径間連結コンボ橋	127.600 41.000+41.000+41.035	8.76	フレシネー

ケーブル (主)	ケーブル (横)	活荷重	発 注	設 計	施 工	所 在 地	路 線 名	交 差 物 件
12S12.7	1S28.6	B活荷重	札幌開建	ドーコン	清水建設	三笠市	一般国道452号	桂沢ダム湖
12S12.4	1S19.3	TL-20	美瑛町	アサヒ建設コンサル タント	日本高压コンクリート	上川郡美瑛 町	朗根内上俣真布 線	辺別川
12S12.7	1S21.8	B活荷重	帯広開建	長大	ドービー建設工業	上川郡清水 町	一般国道38号	ベケレベツ川
12S12.7	1S21.8	B活荷重	帯広開建	長大	オリエンタル白石	上川郡清水 町	一般国道38号	小林川
12S15.2	1S28.6	B活荷重	函館開建	構研エンジニアリング	ドービー建設工業	函館市	函館新外環状道 路	亀田川, 函館市企 業局管理用通路
12S15.2	1S28.6	B活荷重	函館開建	構研エンジニアリング	ドービー建設工業	函館市	函館新外環状道 路	亀田川, 函館市企 業局管理用通路
12S15.2	1S21.8	B活荷重	旭川開建	近代設計	ドービー建設工業	士別市	北海道縦貫自動 車道	ワッカウエンナイ 川
12S15.2	1S21.8	A活荷重	函館開建	北未来技研	ドービー建設工業	函館市	市道神山陣川線	函館新外環状道路
12S15.2 19S15.2	1S21.8	B活荷重	NEXCO東日本 北海道支社	(基本) ドーユー大地 (詳細) 川田建設	川田建設	小樽市	後志自動車道	市道ツブタシ沢通 線, チブタシナイ 沢川, 市道塩谷蘭 島山手通線
12S12.7	1S21.8	TL-20	士幌町	ダイシン設計	平田・ネクススJV	河東郡士幌 町	士幌上音更線	音更川
7S12.7	1S19.3	TL-14	芽室町	開発工営社	丹野建設	河西郡芽室 町	町道西芽室三十 号線	芽室川
7S12.7	1S19.3	TL-14	芽室町	開発工営社	村上・日本高压JV	河西郡芽室 町	町道日進線	芽室川
12S12.7	1S21.8	TL-14	上士幌町	土木技術コンサル タント	川村組・田西JV	河東郡上士 幌町	勢多鉦山線	音更川
12S15.2	1S21.8	B活荷重	函館開建	構研エンジニアリング	日本高压コンクリート	函館市	函館新外環状道 路	市道東山中央線, 市道東山3-19号 線, 自衛隊沢川, 七五郎沢川
1S28.6	—	B活荷重	函館開建	構研エンジニアリング	日本高压コンクリート	函館市	函館新外環状道 路	市道山の手東山線
1S28.6	—	B活荷重	函館開建	構研エンジニアリング	日本高压コンクリート	函館市	函館新外環状道 路	市道山の手東山線
12S12.7	—	B活荷重	旭川開建	ドーコン	ドービー建設工業	士別市	北海道縦貫自動 車道	排水路
12S15.2	1S19.3	B活荷重	NEXCO東日本 北海道支社	(基本) いであ (詳細) ピーエス三菱	ピーエス三菱	小樽市	後志自動車道	文治沢川
12S12.7	1S21.8	B活荷重	函館開建	ドーコン	清水建設	上磯郡木古 内町	函館江差自動 車道	亀川, 町道亀川1 号線
12S15.2	1S21.8	A活荷重	函館開建	田宮設計事務所	ドービー建設工業	函館市	市道東山陣川線	函館新外環状道路
12S12.7	—	B活荷重	函館開建	パシフィックコン サルタント	日本高压コンクリート	函館市	函館新外環状道 路	湯の川, 市道滝沢 9号線
12S15.2 19S15.2	1S19.3 1S21.8 1S28.6	B活荷重	NEXCO東日本 北海道支社	(基本) 日本構造橋梁 研究所 (詳細) 川田建設	川田建設	小樽市	後志自動車道	市道落ちの下通 線, 桃内川
12S12.7	1S21.8	B活荷重	室蘭開建	ドーコン	ドービー建設工業・ 幌村建設	沙流郡日高 町	一般国道274号	沙流川
12S12.7	1S28.6	B活荷重	函館開建	ドーコン	ピーエス三菱	北斗市	函館江差自動 車道	大当別川, 林道大 当別線
1S28.6	1S21.8	B活荷重	NEXCO東日本 北海道支社	いであ	三井住友建設	小樽市	後志自動車道	恩根内川
12S15.2	1S21.8	B活荷重	函館開建	パシフィックコン サルタント	日本高压コンクリート	函館市	函館新外環状道 路	陣川

年度	橋 名	橋名（ふりがな）	形 式	橋 支 間 長 割	幅 員 (車道+歩道)	定着工法
平30	新 光 架 道 橋	しんこうかどうきょう	斜材付きπ型ラーメン橋	57.000 9.500+38.000+9.500	4.00	SM
平30	大 颯 橋	だいたいばし	2 径間連結コンボ橋	66.700 2@32.0	8.50	フレシネー
平30	千 呂 露 橋	ちろろばし	3 径間連結コンボ橋	120.900 3@39.00	8.50+2.00	フレシネー
平30	天 神 大 橋	てんじんおおはし	9 径間連続ラーメン箱桁橋	681.000 41.100+2@75.000 +80.000+4@90.000 +47.100	12.51	ディビダーク
平30	見 晴 大 橋	みはらしおおはし	8 径間連続箱桁橋	527.000 43.1+58.0+78.0+114.0 +78.0+56.0+56.0+41.1	8.00+3.00	フレシネー
平30	茂 辺 地 こ 道 橋	もへじこどうきょう	斜材付π型ラーメン中空床版橋	60.000 12.0+37.5+10.5	4.00	フレシネー
平30	四 稜 郭 跨 道 橋	しりょうかくこどうきょう	単純中空床版橋	34.300 33.000	8.50+2*3.00	フレシネー

ケーブル (主)	ケーブル (横)	活荷重	発 注	設 計	施 工	所 在 地	路 線 名	交 差 物 件
1S28.6 1S21.8	—	A活荷重	NEXCO東日本 北海道支社	日本構造橋梁研究所	三井住友建設	小樽市		後志自動車道
12S12.7	1S28.6	B活荷重	室蘭開建	開発工営社	ドービー建設工業・ 遠藤組	沙流郡日高 町	一般国道274号	沙流川
12S15.2	1S21.8	B活荷重	室蘭開建	構研エンジニアリング	日本高圧コンクリー ト・勝幸辰建設	沙流郡日高 町	一般国道274号	沙流川
12S15.2 19S15.7	1S21.8	B活荷重	NEXCO東日本 北海道支社	(基本)ドユー大地 (詳細)三井住友建設	三井住友建設	小樽市	後志自動車道	勝内川, 道道天神 南小樽停車場線
12S12.7	1S28.6	B活荷重	網走建管	ドーコン	日本高圧・渡辺・松 谷JV, ドービー・タ カハタ・早水JV, ドービー・タカハ タ・五十嵐JV	北見市	道道北見美幌線	常呂川
12S15.2, 1S28.6	—	A活荷重	函館開建	中央コンサルタンツ	日本高圧コンクリート	北斗市	茂辺地木古内道 路	函館江差自動車道
12S15.2	—	A活荷重	函館開建	アイネス	日本高圧コンクリート	函館市	市道神山四陵郭 線	函館新外環状道路

付表[2/2]・北海道の

年度	管理キロ程		橋 名	橋名（ふりがな）	形 式	橋 長 支間割	施工基面幅
平25	112 km 176 m 000	112 km 201 m 000	町道大谷地2号線Bv (Ctp 1)	ちょうどうおおやちにごうせんBv	単純T桁橋	25.000 24.000	11.30
平25	112 km 235 m 000	112 km 260 m 000	町道大谷地Bv (Ctp 2)	ちょうどうおおやちBv	単純T桁橋	25.000 24.000	11.30
平25	112 km 307 m 000	112 km 337 m 000	木 古 内 Bi (Ctp 1)	きこないBi	単純T桁橋	30.000 29.000	11.30
平25	112 km 337 m 000	112 km 367 m 000	鶴 岡 Bv (Ctp 1)	つるおかBv	単純T桁橋	30.000 29.000	11.30
平25	112 km 377 m 000	112 km 412 m 000	鶴 岡 Bv (Ctp 2)	つるおかBv	単純T桁橋	35.000 34.000	11.30
平25	112 km 442 m 000	112 km 487 m 000	木 古 内 Bv (Ctp 1)	きこないBv	単純T桁橋	45.000 44.000	11.30
平25	112 km 615 m 000	112 km 662 m 000	木 古 内 川 B (Ctp 1)	きこないがわB	単純T桁橋	47.000 46.000	11.30
平25	112 km 662 m 000	112 km 709 m 000	木 古 内 川 B (Ctp 2)	きこないがわB	単純T桁橋	47.000 46.000	11.30
平25	112 km 709 m 000	112 km 745 m 000	木 古 内 川 B (Ctp 3)	きこないがわB	単純T桁橋	36.000 35.000	11.30
平25	112 km 860 m 000	112 km 895 m 000	新 栄 Bv (Cstp 1)	しんえいBv	単純下路桁橋	35.000 33.660	11.30
平25	112 km 903 m 000	112 km 938 m 000	新 栄 Bv (Cstp 2)	しんえいBv	単純下路桁橋	35.000 33.660	11.30
平25	113 km 052 m 000	113 km 092 m 000	木古内駅(中)BL (Ctp 1)	きこないえき(なか)BL	単純T桁橋	40.000 39.000	12.59
平25	113 km 460 m 000	113 km 500 m 000	佐 女 川 B (Ctp 1)	さめがわB	単純T桁橋	40.000 39.000	16.62
平25	113 km 500 m 000	113 km 556 m 000	佐 女 川 Bv (C2bp 1)	さめがわBv	馬桁一体型2径間 連続箱桁	56.000 2 @27.00	15.41
平24	114 km 882 m 000	114 km 912 m 000	大 平 川 B (Ctp 1)	おおひらかわB	単純T桁橋	30.000 29.000	11.30
平24	115 km 272 m 000	115 km 297 m 000	孫 七 Bv (Cstp 1)	まごしちBv	単純下路桁橋	25.000 23.560	11.30
平24	115 km 860 m 000	115 km 890 m 000	蛇 内 川 B (Ctp 1)	へびないがわB	単純T桁橋	30.000 29.000	11.30
平24	115 km 928 m 000	115 km 953 m 000	萩 愛 Bv (Cstp 1)	しゅうあいBv	単純下路桁橋	25.000 23.560	11.30
平24	115 km 953 m 000	115 km 988 m 000	萩 愛 Bv (Cstp 2)	しゅうあいBv	単純下路桁橋	35.000 33.560	11.30
平24	117 km 895 m 000	117 km 919 m 000	幸 連 川 BL (Ctp 1)	こうれんがわBL	単純T桁橋	24.000 23.000	11.30
平25	121 km 518 m 000	121 km 548 m 000	亀 川 B (Ctp 1)	かめかわB	単純T桁橋	30.000 29.000	11.40
平25	129 km 698 m 000	129 km 730 m 000	茂 辺 地 川 B (Ctp 1)	もへじがわB	単純T桁橋	32.000 31.000	12.60
平25	129 km 730 m 000	129 km 768 m 000	茂 辺 地 川 B (Ctp 2)	もへじがわB	単純T桁橋	38.000 37.000	11.40
平25	129 km 768 m 000	129 km 806 m 000	茂 辺 地 川 B (Ctp 3)	もへじがわB	単純T桁橋	38.000 37.000	11.40
平25	129 km 806 m 000	129 km 844 m 000	茂 辺 地 川 B (Ctp 4)	もへじがわB	単純T桁橋	38.000 37.000	11.40
平25	135 km 456 m 000	135 km 503 m 000	流 溪 川 B (Ctp 1)	りゅうけいがわB	単純T桁橋	47.000 45.500	11.40

※表中の橋名におけるローマ字表記 B：河川橋，Bv：架道橋，Bi：線路橋(跨線線路橋)，BL：高架橋

コンクリート橋資料

定着工法	ケーブル (主)	ケーブル (横)	活荷重	発 注	設 計	施 工	所 在 地	路 線 名	交 差 物 件
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	日本交通技術	鉄建建設	上磯郡木古 内町	北海道新幹線	町道大谷地2号 線
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	日本交通技術	鉄建建設	上磯郡木古 内町	北海道新幹線	町道大谷地線
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	(設計・製作) 鉄道・運 輸機構北海道新幹線 建設局 (架設) JR北海道	中央復建コンサ ルタンツ	鉄建建設	上磯郡木古 内町	北海道新幹線	旧JR江差線
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	中央復建コンサ ルタンツ	鉄建建設	上磯郡木古 内町	北海道新幹線	都計道3・4・ 3号線環状線
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	中央復建コンサ ルタンツ	鉄建建設	上磯郡木古 内町	北海道新幹線	町道大谷地線
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	中央復建コンサ ルタンツ	鉄建建設	上磯郡木古 内町	北海道新幹線	道道江差木古内 線
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	復建エンジニア リング	フジタ・大日本・ 高橋JV	上磯郡木古 内町	北海道新幹線	木古内川
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	復建エンジニア リング	フジタ・大日本・ 高橋JV	上磯郡木古 内町	北海道新幹線	木古内川
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	復建エンジニア リング	フジタ・大日本・ 高橋JV	上磯郡木古 内町	北海道新幹線	木古内川
フレッシュナー	12S15.2	12S12.7	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	復建エンジニア リング	鉄建建設	上磯郡木古 内町	北海道新幹線	道道中野木古内 停車場線
フレッシュナー	12S15.2	12S12.7	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	復建エンジニア リング	鉄建建設	上磯郡木古 内町	北海道新幹線	道道中野木古内 停車場線
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	復建エンジニア リング	鉄建建設	上磯郡木古 内町	北海道新幹線	町道山崎1号線
ディビダー グ	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	復建エンジニア リング	大林・伊藤・菱中・ 坂本JV	上磯郡木古 内町	北海道新幹線	佐女川
フレッシュナー	12S15.2 12S12.7	1S28.6	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	復建エンジニア リング	大林・伊藤・菱中・ 坂本JV	上磯郡木古 内町	北海道新幹線	町道佐女川1線
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	中央復建コンサ ルタンツ	三井住友建設	上磯郡木古 内町	北海道新幹線	大平川
フレッシュナー	12S12.7	12S12.7	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	中央復建コンサ ルタンツ	三井住友建設	上磯郡木古 内町	北海道新幹線	町道孫七線
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	中央復建コンサ ルタンツ	三井住友建設	上磯郡木古 内町	北海道新幹線	蛇内川
フレッシュナー	12S15.2 12S12.7	12S12.7	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	中央復建コンサ ルタンツ	三井住友建設	上磯郡木古 内町	北海道新幹線	町道萩愛線
フレッシュナー	12S15.2 12S12.7	12S12.7	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	中央復建コンサ ルタンツ	三井住友建設	上磯郡木古 内町	北海道新幹線	町道蛇内線
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	中央復建コンサ ルタンツ	間・田中・丸彦渡 辺JV	上磯郡木古 内町	北海道新幹線	幸連川
エスイー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	中央復建コンサ ルタンツ	飛島・梅林・齊藤 JV	上磯郡木古 内町	北海道新幹線	亀川
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	日本交通技術	大林・宮坂・松本 JV	北斗市	北海道新幹線	茂辺地川
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	日本交通技術	大林・宮坂・松本 JV	北斗市	北海道新幹線	茂辺地川
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	日本交通技術	大林・宮坂・松本 JV	北斗市	北海道新幹線	茂辺地川
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	日本交通技術	大林・宮坂・松本 JV	北斗市	北海道新幹線	茂辺地川
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	トーニチコンサ ルタント	西松・中山・新太 平洋・和工JV	北斗市	北海道新幹線	湊流川

年度	管理キロ程		橋 名	橋名 (ふりがな)	形 式	橋 長 支間割	施工基面幅
平25	135 km 729 m 000	135 km 755 m 000	大 小 股 線 Bv (Ctp 1)	おおこまたせんBv	単純T桁橋	26.000 25.000	11.40
平25	135 km 755 m 000	135 km 837 m 000	桜岱17号線Bv (C2bp 1)	さくらたいじゅうななごうせんBv	馬桁一体型2径間 連続箱桁	82.000 40.250 + 40.250	11.40
平25	136 km 400 m 000	136 km 445 m 000	桜岱16号線Bv (Ctp 1)	さくらたいじゅうろくごうせんBv	単純T桁橋	45.000 44.000	11.40
平25	136 km 579 m 000	136 km 604 m 000	宗 山 川 B (Ctp 1)	そうやまがわB	単純T桁橋	25.000 24.000	11.30
平25	136 km 767 m 000	136 km 792 m 000	峯 朗 線 Bv (Ctp 1)	がろうせんBv	単純T桁橋	25.000 24.000	11.30
平25	137 km 209 m 000	137 km 234 m 000	押上 9 号 線 Bv (Ctp 1)	おしあげきゅうごうせん Bv	単純T桁橋	25.000 24.000	11.30
平25	137 km 550 m 000	137 km 575 m 000	長 坂 線 Bv (Ctp 1)	ながさかせんBv	単純T桁橋	25.000 24.000	11.30
平25	137 km 706 m 000	137 km 736 m 000	第 1 大工川 BL (Ctp 1)	だいいちだいくがわBL	単純T桁橋	30.000 29.000	11.30
平25	138 km 153 m 000	138 km 311 m 000	戸 切 地 川 B (Cbp 1)	へきりちがわB	2 径間連続箱桁橋	158.000 2 @78.2	11.30
平25	138 km 522 m 000	138 km 554 m 000	中 野 Bv (Ctp 1)	なかのBv	単純T桁橋	32.000 31.000	11.30
平25	138 km 832 m 000	138 km 864 m 000	中野 1 号 線 Bv (Ctp 1)	なかのいちごうせんBv	単純T桁橋	32.000 31.000	11.30
平24	139 km 816 m 000	139 km 860 m 000	大 野 川 B (Ctp 1)	おおのがわB	単純T桁橋	44.000 43.000	11.30
平24	139 km 860 m 000	139 km 898 m 000	大 野 川 B (Ctp 2)	おおのがわB	単純T桁橋	38.000 37.000	11.30
平24	139 km 898 m 000	139 km 936 m 000	大 野 川 B (Ctp 3)	おおのがわB	単純T桁橋	38.000 37.000	11.30
平24	139 km 936 m 000	139 km 980 m 000	大 野 川 B (Ctp 4)	おおのがわB	単純T桁橋	44.000 43.000	11.30
平25	141 km 385 m 000	141 km 430 m 000	清水川千代田字界線Bv (Ctp 1)	しみずかわちよだあざかいせんBv	単純T桁橋	45.000 44.000	11.40
平25	141 km 682 m 000	171 km 732 m 000	大 野 新 道 Bv (Cbp)	おおのしんどうBv	単純箱桁橋	50.000 48.400	11.40
平25	141 km 777 m 000	141 km 822 m 000	第 1 新川排水路B (Ctp 1)	だいいちしんかわはいす いろB	単純T桁橋	45.000 44.000	11.40
平25	142 km 090 m 000	142 km 130 m 000	第 2 千代田 1 号 線 Bv (Ctp 1)	だいにちよだいちごうせん Bv	単純T桁橋	40.000 39.000	11.40
平25	142 km 182 m 000	142 km 217 m 000	開 発 通 線 Bv (Ctp 1)	かいはつどおりせんBv	単純T桁橋	35.000 34.000	11.40
平25	142 km 314 m 000	142 km 344 m 000	開 発 4 号 線 Bv (Ctp 1)	かいはつよんごうせん Bv	単純T桁橋	30.000 29.000	11.40
平25	143 km 280 m 000	143 km 320 m 000	開 発 Bv (Ctp 1)	かいはつBv	単純T桁橋	40.000 39.000	11.40
平25	143 km 812 m 000	143 km 852 m 000	第 1 鶴野 2 号 線 Bv (Ctp 1)	だいいちつるのにごうせん Bv	単純T桁橋	40.000 39.000	11.40
平25	144 km 535 m 000	144 km 575 m 000	第 2 鶴野 2 号 線 Bv (Ctp 1)	だいにつるのにごうせん Bv	単純T桁橋	40.000 39.000	11.40
平25	145 km 478 m 000	145 km 508 m 000	白 川 Bv (Cstp 1)	しらかわBv	単純下路桁橋	30.000 28.960	11.50
平24	146 km 414 m 000	146 km 439 m 000	本町16号線Bv (Cstp 1)	ほんちょうじゅうろくごう せんBv	単純下路桁橋	25.000 23.560	11.50
平25	146 km 439 m 000	146 km 479 m 000	第 2 新川排水路B (Cstp 1)	だいにしんかわはいす いろB	単純下路桁橋	40.000 38.500	11.50
平25	147 km 690 m 000	147 km 758 m 000	出区回送線Bi (C2bp1)	しゅっくかいそうせんBi	2 径間連続箱桁橋	68.000 66.500	11.40

※表中の橋名におけるローマ字表記 B：河川橋, Bv：架道橋, Bi：線路橋(跨線線路橋), BL：高架橋

定着工法	ケーブル (主)	ケーブル (横)	活荷重	発 注	設 計	施 工	所 在 地	路 線 名	交 差 物 件
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	トーニチコンサル タント	日本高圧コンク リート	北斗市	北海道新幹線	市道水無1号線、 (町道大小股線)
フレッシュナー	12S15.2	1S19.3	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	トーニチコンサル タント	西松・中山・新太 平洋・和工JV	北斗市	北海道新幹線	市道桜岱17号線
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	日本交通技術	日本高圧コンク リート	北斗市	北海道新幹線	市道桜岱線
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	日本交通技術	日本高圧コンク リート	北斗市	北海道新幹線	宗山川
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	日本交通技術	日本高圧コンク リート	北斗市	北海道新幹線	市道戔朗線
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	日本交通技術	日本高圧コンク リート	北斗市	北海道新幹線	市道押上9号線
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	日本交通技術	日本高圧コンク リート	北斗市	北海道新幹線	市道長坂線
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	日本交通技術	日本高圧コンク リート	北斗市	北海道新幹線	水路、農業用バ イブライン
フレッシュナー	12S15.2	1S28.6	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	日本交通技術	鴻池・本間・北土・ 工藤JV	北斗市	北海道新幹線	戸切地川
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	中央復建コンサル タント	日本高圧コンク リート	北斗市	北海道新幹線	道道上磯峠下線
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	中央復建コンサル タント	日本高圧コンク リート	北斗市	北海道新幹線	町道中野1号線
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	中央復建コンサル タント	鉄建・りんかい日 産・吉川JV	北斗市	北海道新幹線	大野川
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	中央復建コンサル タント	鉄建・りんかい日 産・吉川JV	北斗市	北海道新幹線	大野川
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	中央復建コンサル タント	鉄建・りんかい日 産・吉川JV	北斗市	北海道新幹線	大野川
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	中央復建コンサル タント	鉄建・りんかい日 産・吉川JV	北斗市	北海道新幹線	大野川
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	復建調査設計	オリエンタル白石	北斗市	北海道新幹線	清水川千代田字 界線
フレッシュナー	12S15.2	1S28.6	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	復建調査設計	東急・株木・泰進・ 廣野JV	北斗市	北海道新幹線	国道227号線
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	復建調査設計	オリエンタル白石	北斗市	北海道新幹線	第1新川排水路
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	復建調査設計	オリエンタル白石	北斗市	北海道新幹線	町道千代田第1 号線
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	復建調査設計	オリエンタル白石	北斗市	北海道新幹線	町道開発通線
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	復建調査設計	オリエンタル白石	北斗市	北海道新幹線	町道開発第4号 線
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	復建エンジニア リング	オリエンタル白石	亀田郡七飯 町	北海道新幹線	道道大野・大中 山線
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	復建エンジニア リング	オリエンタル白石	亀田郡七飯 町	北海道新幹線	鶴野2号線
フレッシュナー	12S12.7	1S21.8	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	復建エンジニア リング	オリエンタル白石	亀田郡七飯 町	北海道新幹線	鶴野2号線
フレッシュナー	12S15.2	12S12.7	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	トーニチコンサル タント	オリエンタル白石	北斗市	北海道新幹線	道道七飯・大野 線
フレッシュナー	12S12.7	12S12.7	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	トーニチコンサル タント	前田・西武・森川 JV	亀田郡七飯 町	北海道新幹線	本町16号線
フレッシュナー	12S15.2	12S12.7	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	トーニチコンサル タント	オリエンタル白石	亀田郡七飯 町	北海道新幹線	第2新川排水路
フレッシュナー	12S15.2	1S28.6	P-16	鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局	パシフィックコ ンサルタント	奥村・株木・山田 JV	北斗市	北海道新幹線	北海道新幹線

【あ】

赤川 I C 橋 (あかがわあいしーきょう) ……	75・100
赤川 跨道 橋 (あかがわこどうきょう) ……	100
朝里川 温泉 橋 (あさがわおんせんばし) ……	20・102
吾妻 橋 (あづまばし) ……	102

【い】

泉郷 跨道 橋 (いずみさとこどうきょう) ……	102
稲荷 大 橋 (いなりおおはし) ……	23・100
岩瀬 橋 (いわせばし) ……	34・104

【う】

宇遠 別川 橋 (うえんべつがわはし) ……	36・96
歌越 別 橋 (うたこしべつばし) ……	83・102

【お】

黄金 大 橋 (おうごんおおはし) ……	96
大 小 股 線 Bv (おおこまたせん Bv Ctp 1) ……	110
大 野 川 B (おおのがわ B Ctp 1～Ctp4) ……	31・110
大 野 新 道 Bv (おおのしんどう Bv Cbp) ……	31・110
大 平 川 B (おおひらかわ B Ctp 1) ……	108
大 平 跨 線 橋 (おおひらこせんきょう) ……	25・98
押上 9 号 線 Bv (おしあげきゅうごうせん Bv Ctp 1) ……	110
渡島 当 別 大 橋 (おしまとうべつおおはし) ……	23・104
落 合 橋 (おちあいはし) ……	79・102
鬼 泊 橋 (おにとまりはし) ……	100
オビラシケ川 橋 (おびらしけがわばし) ……	56・102
恩 根 内 川 橋 (おんねないがわばし) ……	92・104

【か】

開 成 橋 (かいせいばし) ……	47・98
開 発 Bv (かいはつ Bv Ctp 1) ……	110
開 発 通 線 Bv (かいはつどおりせん Bv Ctp 1) ……	110
開 発 4 号 線 Bv (かいはつよんごうせん Bv Ctp 1) ……	110
カ カ リ 石 橋 (かかりいしばし) ……	102
桂沢ダム 8 号 橋 (かつらざわだむはちごうきょう) ……	12・104
加藤の沢川 橋 (かとうのさわがわばし) ……	96
亀 尾 橋 (かめおばし) ……	75・100
亀 川 B (かめかわ B Ctp 1) ……	108
亀田中野 跨道 橋 (かめだなかのこどうきょう) ……	76・100
茅 沼 橋 (かやぬまばし) ……	79・102
我 朗 線 Bv (がろうせん Bv Ctp 1) ……	110

【き】

木 古 内 Bi (きこない Bi Ctp 1) ……	94・108
木 古 内 Bv (きこない Bv Ctp 1) ……	61・108

木 古 内 駅 (中) BL (きこないえき (なか) BL Ctp 1) ……	108
木 古 内 川 B (きこないがわ B Ctp 1～Ctp3) ……	28・108
絹 丘 橋 (きぬおかばし) ……	69・96
九 線 橋 (きゅうせんはし) ……	96
九 線 橋 (きゅうせんはし) ……	86・104
清 見 橋 (きよみばし) ……	33・104

【く】

ク リ ス タ ル 橋 (くりすたるばし) ……	18・98
--------------------------	-------

【け】

毛 根 中 島 橋 (けねなかじまばし) ……	41・96
慶 能 舞 川 橋 (けのまいがわばし) ……	80・102

【こ】

港 栄 橋 (こうえいばし) ……	77・100
江 竜 橋 (こうりゅうはし) ……	14・96
幸 連 川 B L (こうれんがわ BL Ctp 1) ……	108
古 潭 橋 (こたんはし) ……	72・98
琴 平 4 号 橋 (ことひらよんごうきょう) ……	102
小 林 橋 (こばやしはし) ……	32・104

【さ】

桜 岱 17 号 線 Bv (さくらたいじゅうななごうせん Bv C2bp1) ……	29・110
桜 岱 16 号 線 Bv (さくらたいじゅうろくごうせん Bv Ctp 1) ……	30・110
笹 流 橋 (上 り 線) (ささながればし) ……	59・104
笹 流 橋 (下 り 線) (ささながればし) ……	59・104
里 音 別 川 橋 (さとおんべつがわばし) ……	42・96
佐 女 川 B (さめがわ B Ctp 1) ……	108
佐 女 川 Bv (さめがわ Bv C2bp1) ……	108

【し】

鹿 部 公 園 橋 (しかべこうえんはし) ……	72・98
東 雲 相 生 跨 線 橋 (しのめあいおいこせんきょう) ……	70・96
清水川千代田字界線 Bv (しみずかわちよだあざかいせん Bv Ctp 1) ……	110
占 冠 中 央 橋 (しむかつぶちゅうおうばし) ……	37・96
下 矢 不 来 川 橋 (しもやふらいがわばし) ……	66・96
萩 愛 Bv (しゅうあい Bv Cstp 1～Cstp 2) ……	29・108
11 号 橋 (じゅういちごうきょう) ……	66・96
15 号 橋 (じゅうごごうきょう) ……	86・104
出 区 回 送 線 Bi (しゅっかいそうせん Bi C2bp1) ……	110
十 間 橋 (じゅっけんはし) ……	70・98
白 川 Bv (しらかわ Bv Cstp 1) ……	110

四稜郭跨道橋(しりょうかくこうきょう)	106
白銀橋(しろがねばし)	51・100
新栄Bv(しんえいBv Cstp 1~Cstp 2)	108
陣川大橋(下り)(じんかわおおはし)	104
陣川跨道橋(じんかわこうきょう)	87・104
新光架道橋(しんこうかどうきょう)	93・106
新小谷地川B(しんこやちがわB)	52・100
新千歳空港IC橋(しんちとせくこういんたーちえんじきょう)	48・98
新トムラウシ橋(しんとむらうしはし)	73・98
新橋(しんばし)	96
新瑪瑙橋(しんめのうばし)	38・96

【せ】

清流橋(せいりゅうはし)	98
瀬戸瀬インター跨道橋(せとせいんたーこうきょう)	83・102
瀬戸瀬跨道橋(せとせこうきょう)	98

【そ】

宗山川B(そうやまがわB Ctp 1)	110
宿内川橋(そこないかわはし)	98

【た】

第1新川排水路B(だいいちしんかわはいすいろB Ctp 1)	110
第1大工川BL(だいいちだいくがわBL Ctp 1)	110
第1鶴野2号線Bv(だいいちつるのにごうせんBv Ctp 1)	64・110
第一ポンケトナイ川橋(だいいちばんけとないかわはし) ...	57・102
大正橋(たいしょうはし)	58・102
大颯橋(だいたいばし)	34・106
第2湖口橋(だいにここうばし)	6・100
第2新川排水路B(だいにしんかわはいすいろB Cstp 1)	95・110
第2千代田1号線Bv(だいにちよだいちごうせんBv Ctp 1) ...	110
第2鶴野2号線Bv(だいにつるのにごうせんBv Ctp 1)	110
第2富良野川B(だいにふらのがわB)	49・98
第2無加川B(だいにむかがわB)	39・96
高滝ノ沢橋(たかたきのさわばし)	4・100
滝江5号B(たきえごごうB)	53・100
太刀別橋(たちべつばし)	80・102

【ち】

築別橋(ちくべつばし)	10・102
千歳橋(ちとせはし)	84・102
チブタシナイ沢川橋(ちぶたしないさわがわばし)	87・104
町道大谷地Bv(ちやうどうおおやちBv Ctp 2)	108
町道大谷地2号線Bv(ちやうどうおおやちにごうせんBv Ctp 1)	108

長命橋(ちょうめいはし)	81・102
千呂露橋(ちろろばし)	35・106

【つ】

月見橋(つきみばし)	43・98
常川上ところ橋(つねかわかみところはし)	50・98
鶴岡Bv(つるおかBv Ctp 1~Ctp 2)	108

【て】

天神大橋(てんじんおおはし)	26・106
----------------------	--------

【と】

当別大橋(とうべつおおはし)	8・98
当別跨道橋(とうべつこうきょう)	100
常盤川橋(上り線)(ときわがわばし)	44・98
常盤川橋(下り線)(ときわがわばし)	44・98
常盤橋(ときわばし)	84・102
床丹3号線跨道橋(とこたんさんごうせんこうきょう) ...	100

【な】

長坂線Bv(ながさかせんBv Ctp 1)	95・110
中野Bv(なかのBv Ctp 1)	110
中野1号線Bv(なかのいちごうせんBv Ctp 1)	110
中の川橋(なかのかわはし)	98

【に】

虹色橋(にじいろはし)	98
西上橋(にしがみばし)	88・104
錦橋(にしきはし)	73・100
西芽室橋(にしめむろばし)	88・104
日進橋(にっしんばし)	89・104

【ぬ】

縫別跨道橋(ぬいべつこうきょう)	71・98
------------------------	-------

【は】

萩ヶ丘橋(はぎがおかばし)	89・104
---------------------	--------

【ひ】

東山大橋(下り線)(ひがしやまおおはし)	60・104
東山跨道橋(ひがしやまこうきょう)	100
東山橋(上り線)(ひがしやまはし)	90・104
東山橋(下り線)(ひがしやまはし)	90・104

【ふ】

福移橋(ふくいはし)	81・102
フゴッペ川橋(ふごっぺがわばし)	27・102
畚部橋(ふごっぺばし)	74・100
武徳1号橋(ぶとくいちごうきょう)	90・104

富良野北 I C 橋 (ふらのきたあいしーきょう)	77・100
古川橋 (ふるかわばし)	74・100
文治沢川橋 (ぶんじさわがわばし)	91・104

【へ】

平成かもめ橋 (へいせいかもめばし)	82・102
戸切地川 B (へきりちがわ B Cbp 1)	30・110
別当大橋 (べっとうおおはし)	24・104
蛇内川 B (へびないがわ B Ctp 1)	108
弁財天大橋 (べんざいてんおおはし)	85・102

【ほ】

豊栄橋 (ほうえいはし)	54・100
望郷橋 (ぼうきょうのはし)	67・96
豊楽橋 (ほうらくはし)	98
豊漁橋 (ほうりょうばし)	76・100
墓園通跨道橋 (ぼえんどおりこどうきょう)	91・104
本町 16 号線 Bv (ほんちょうじゅうろくごうせん Bv Cstp 1)	65・110
ボン仁々志別橋 (ぼんににしべつはし)	67・96

【ま】

孫七 Bv (まごしち Bv Cstp 1)	62・108
丸山石別大橋 (まるやまいしべつおおはし)	22・98

【み】

美園橋 (みそのばし)	55・100
港町ふ頭こ線橋 (みなとまちふとうこせんきょう)	102
南 6 条通横断橋 (みなみろくじょうどおりおうだんきょう)	45・98
見晴大橋 (みはらしおおはし)	16・106
見晴公園橋 (R 橋) (みはらしこうえんばし)	104
見晴橋 (みはらしばし)	82・102

【む】

向ヶ丘橋 (むこうがおかばし)	78・100
-----------------------	--------

【も】

望来川橋 (もうらいかわはし)	71・98
モチヤ沢川橋 (もちやさわがわばし)	27・102
茂辺地川 B (もへじがわ B Ctp 1~Ctp 4)	63・108
茂辺地こ線橋 (もへじこせんきょう)	68・96
茂辺地こ道橋 (もへじこどうきょう)	106
桃内川橋 (ももないがわばし)	92・104

【や】

大和橋 (やまとはし)	46・98
山の神大橋 (やまのかみおおはし)	85・102

【ゆ】

夕張きぼう橋 (ゆうばりきぼうばし)	68・96
夕張みらい橋 (ゆうばりみらいばし)	40・96

【よ】

吉田橋 (よしだはし)	100
四線川橋 (よんせんがわばし)	78・100

【ら】

蘭栄橋 (らんえいはし)	100
ラント橋 (らんとばし)	96

【り】

流溪川 B (りゅうけいがわ B Ctp 1)	94・108
臨海橋 (りんかいばし)	69・96

あ と が き

このたび「北海道のコンクリート橋（第7集）」が、皆様のご協力のもとに発刊の運びとなりました。心からお礼申し上げます。

第1集が1974年（昭和49年）に発刊されて以来、第2集は1987年（昭和62年）、第3集は1993年（平成5年）、第4集は1999年（平成11年）、第5集は2007年（平成19年）、第6集は2015年（平成27年）にそれぞれ出版されており、それに続いての発刊となります。

今回、発刊した第7集は、平成22年度から30年度にかけて竣工したコンクリート橋（橋長15m未満の橋梁および単純プレテン桁を除く）が掲載されております。この第7集でもこれまでと同様に、現在の優れた作品群をできるだけ多く後世に伝えるべく、第6集を上回る118橋の写真を掲載しております。

北海道は自然環境が厳しく、コンクリートの長期耐久性にも大きな影響を及ぼします。特に、寒冷であることの影響は大きく、凍害を受けたコンクリートを見つけることは北海道では全く珍しいことではありません。また、道路橋であれば路面の凍結防止剤として塩化物を散布することも多く、塩害も多数、見受けられます。このような地域性のある損傷に対し、技術的な工夫や施工時の細やかな配慮など、技術者の皆さんの弛まぬ努力の結果として、北海道においてコンクリート橋が成り立っているのだと思うと、それは本当に素晴らしいことであると感じております。

今後とも、我々は、積極的に新技術を導入し、更なる技術向上の努力を重ねるとともに、次世代に対する橋梁技術の伝承にも責任を感じる次第であります。

皆様のご支援により第7集が発刊でき、後世への北海道のコンクリート橋の技術の伝承に少しでも寄与できた事をよろこび、本書のあとがきにしたいと思います。

北海道土木技術会コンクリート研究委員会
コンクリート橋小委員会
委員長 岡 田 慎 哉

—— 編集担当 ——

コンクリート橋小委員会

委員長 岡田 慎 哉 (北海道開発局)
編集WG 荻部 秀 次 (ドービー建設工業(株))
編集WG 川村 幸 司 (株)構研エンジニアリング)
編集WG 熊谷 裕 司 (三井住友建設(株))
編集WG 小林 和 弘 (株)ピーエス三菱)
編集WG 塩原 龍 法 (株)開発工営社)
編集WG 高澤 昌 憲 (オリエンタル白石(株))
編集WG 田中 雄 太 (株)タナカコンサルタント)
編集WG 中田 泰 広 (株)ドーコン)
編集WG 西村 力 哉 (八千代エンジニアリング(株))
編集WG 宮越 亮 (日本高圧コンクリート(株))
市橋 俊 夫 (大成建設(株))
入山 博 志 (北海道土木設計(株))
岩橋 雅 幸 (鹿島建設(株))
小倉 正 三 (北海道建設部)
小林 暁 (北海道開発局)
定木 紳 (清水建設(株))
菅原 英 記 (ヒーロック工業(株))
大門 正 樹 (北海道開発局)
水上 善 晴 (東日本高速道路(株))
山下 和 則 (極東鋼弦コンクリート振興(株))
吉岡 憲 一 (日本高圧コンクリート(株))

編集協力

青木 正 行 (ドービー建設工業(株))
高木 隆 一 (株)ピーエス三菱)

北海道土木技術会コンクリート研究委員会資料
第163号

北海道のコンクリート橋(第7集)

平成22年度～平成30年度

発行者 北海道土木技術会コンクリート研究委員会
ISBN 978-4-938676-63-6
分類 C3051

事務局 株式会社ドーコン内
札幌市厚別区厚別中央1条5丁目4番1号
TEL (011)801-1540
FAX (011)801-1541

発行日 令和5年5月

印刷 株式会社アイワード
札幌市中央区北3条東5丁目5番地91
TEL (011)241-9341

■ 巻末付録 [CD-ROM]

- 第1集～第7集のPDFと、付録データベースおよび検索用フォームを格納した。